

東京法律学院  
講義録

保険法

馬場憲治

14  
544

(M)

035443-000-1

14-544^

保険法

馬場 憲治/述

M28?

BBO-0643



保險法

目次

第一編 總則

第一章

保險契約ノ性質

一丁

第一節

保險契約ノ定義

同丁

第二節

保險契約ノ特性

四丁

第二章

被保險利益

一八丁

第三章

保險證券

三八丁

第一節

保險證券ノ性質

同丁

第二節

保險證券ニ記載ス可キ條件

四〇丁

第三節

保險證券ノ種類

四二丁

第四節

保險證券ノ解釋

四七丁

第四章

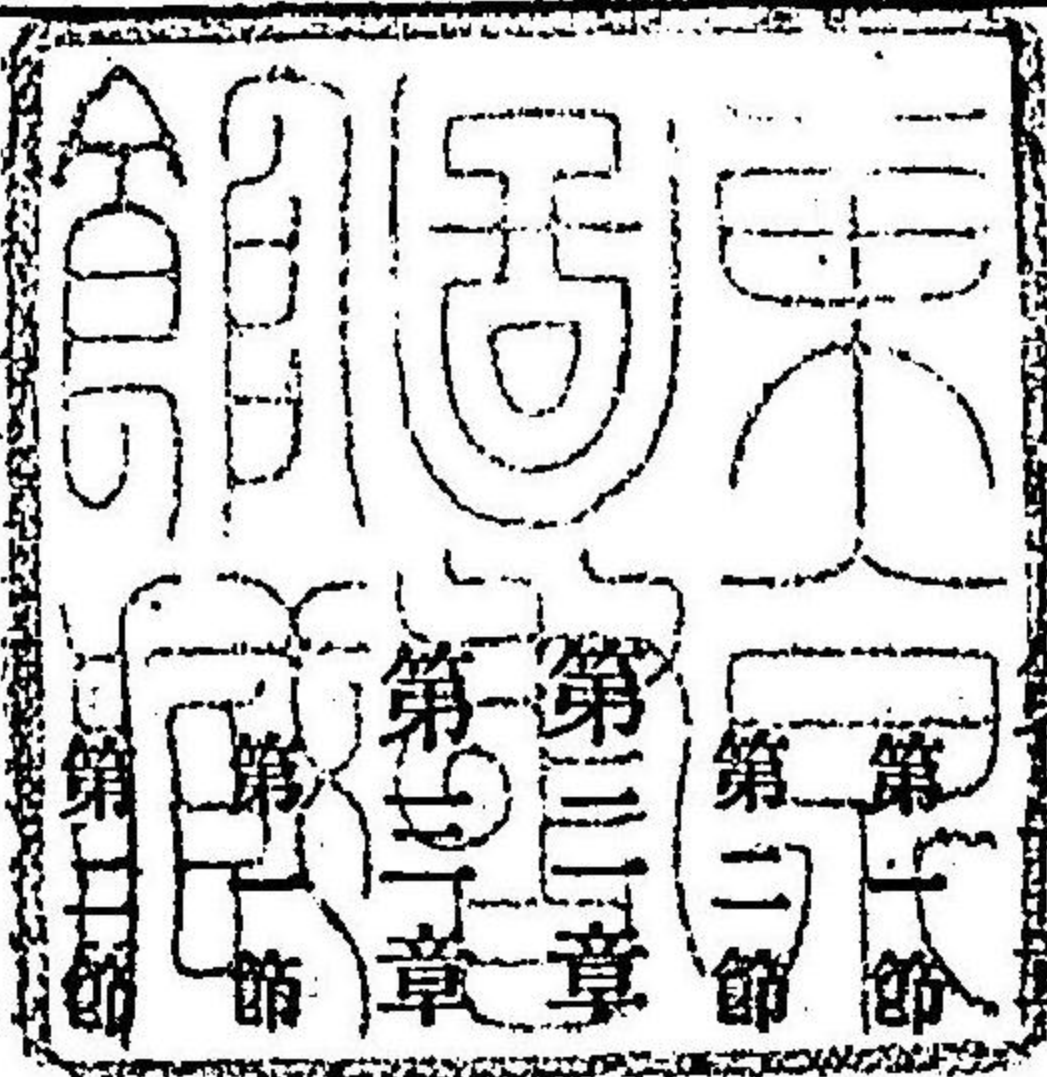
當事者及代理人

五三丁

第一節

當事者

同丁



第二節	代理人	五五丁
第五章	危險	六四丁
第一節	危險ノ性質	同丁
第二節	危險ノ範圍	六六丁
第六章	保險料	七三丁
第七章	重複保險、不足保險及超過保險	八六丁
第一節	重複保險	同丁
第二節	不足保險	八九丁
第三節	超過保險	九四丁
第八章	保險契約ノ移轉	九五丁
第九章	損失ノ賠償	一〇四丁
第十章	保險營業	一二四丁
第二編	各論	一二三丁
第一章	海上保險	同丁

第一節	保險契約ノ成立	同丁
第一款	海上保險ノ目的物	同丁
第二款	被保險物ノ價額	一三五丁
第三款	海上ノ危險	一四二丁
第二節	保險契約ノ效果	一四六丁
第一款	損失ノ補償	同丁
第二款	保險料ノ増減	一六二丁
第三款	委棄	一六四丁
第一款	委棄ノ性質	一六五丁
第二款	委棄ヲ爲シ得キ場合	一六六丁
第三款	委棄ノ效果	一七三丁
第二章	火災保險	一七五丁
第一節	總說	同丁
第二節	被保險利益	一七八丁

保險法目次終

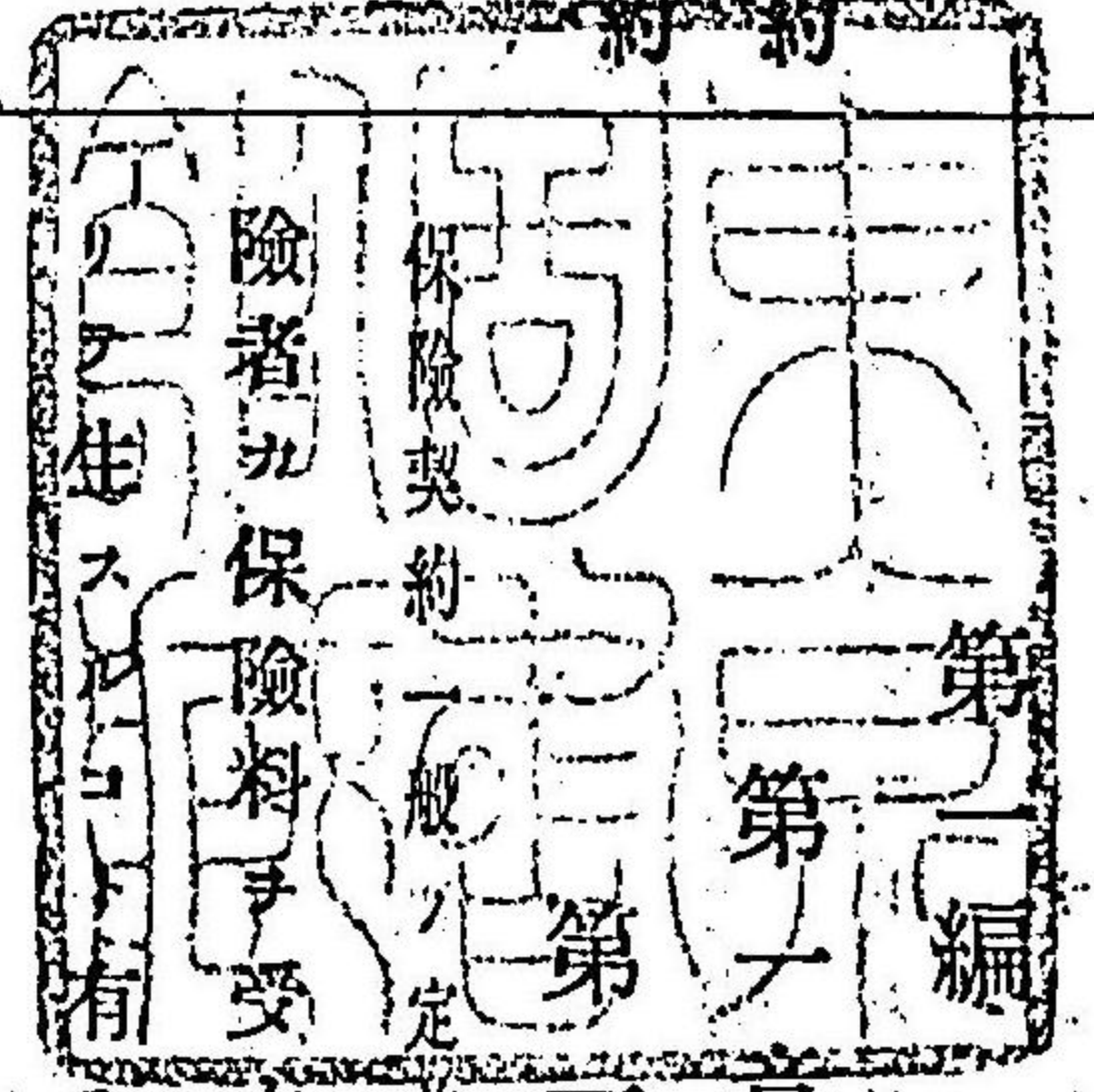
第三節 危險	一八三丁
第四節 損失ノ賠償	一八五丁
第三章 土地ノ產物ノ保險	一八八丁
第四章 運送保險	一九二丁
第五章 生命保險	一九五丁
第一節 生命保險ノ歴史	同
第二節 生命保險ノ定義	二〇〇丁
第三節 生命保險ノ性質	二〇一丁
第四節 被保險利益	二〇四丁
第五節 保險契約ノ無効及ヒ解除	二一二丁

保險法

法學士 馬場 愿 治 講義  
 卒業生 田 中 文 藏 編輯

總則

保險契約ノ性質  
 保險契約ノ定義



第一編 總則

第一章 保險契約ノ性質

第一節 保險契約ノ定義

保險契約ハ我商法第六百二十五條ニ之ヲ明揭セリ曰ク保險契約ハ保險者カ保險料ヲ受テ或ル物ニ關シ或ル時間ニ於テ不測又ハ不確定ノ事故ニ因リ生ズル損失ト有ル可キ喪失又ハ損害ニ付キ被保險者ニ賠償ヲ爲ス義務ヲ負フ契約ナリト今此定義ヲ分析スルトキハ保險契約ニハ究竟左ニ陳述スルカ如キ要素ヲ具備セサル可カラサルモノトス

(第一) 保險者及ヒ被保險者 凡ソ契約ニハ二人以上ノ當事者ナカル可カラス保險契約ハ一ノ契約ナリ故ニ保險契約ニモ亦二人ノ當事者ナカル可カラス而シ

保險法 總則 保險契約ノ性質 保險契約ノ定義

テ保險契約ニ於テ損失ノ賠償ヲ約諾スル者ヲ保險者ト云ヒ保險料ヲ支拂ヒテ  
損失賠償ノ約諾ヲ受クル者ヲ被保險者ト稱ス

(第二) 被保險利益 保險ハ有體物ニ關係スルコトアリ又無體物ニ關係スルコト  
アリ家屋ヲ保險ニ付スルカ如キハ即チ有體物ニ關係スルモノニシテ債務者ノ  
資力ヲ保險ニ付スルカ如キハ即チ無體物ニ關係スルモノナリ而シテ其有體物  
ニ關係スルト無體物ニ關係スルトナ間ハ必スヤ被保險利益ナカル可カラズ  
否ラスンハ決シテ保險契約ヲ取結フコトヲ得ス元來保險契約ナルモノハ損失  
ヲ補償スルコトヲ以テ主眼ト爲スモノナレハ其損失ス可キ利益ニシテ存在セ  
スンハ保險契約ノ成立ヲ見サルヤ敢テ論ヲ俟タス故ニ他人ノ家屋ハ之ヲ保險  
ニ付スルコトヲ得ス又債權者ニ非サル者カ債務者ノ資力ヲ保險ニ付スルコト  
ヲ得ス何トナレハ毫モ被保險利益ヲ有セサレハナリ之ヲ要スルニ普通ノ契約  
ハ普通ノ能力アレハ自由ニ之ヲ取結フコトヲ得レトモ保險契約ハ普通ノ能力  
ヲ有スルノ外尙ホ被保險利益ヲ有スル者ニ非サレハ決シテ之ヲ取結フコト能  
ハサルモノトス

(第三) 不慮ノ事故ニ因テ損失ヲ來スノ恐アルコト 抑モ保險契約ハ不慮ノ事故  
ニ因テ生スル損失ヲ賠償スルコトヲ目的トスルモノナレハ一定ノ時日ニ於テ  
必ス生ス可キ事故若クハ必ス生セサル事故ニ付テハ保險契約ヲ取結フコトヲ  
得ス從テ其事故タル必スヤ早晚起ル可キモノナルモ其起ル可キノ日不確定ナ  
ル乎若クハ其起不起ノ豫知ス可カラサルモノナルヲ要ス例ヘハ暴風雨ノ如キ  
其起ルヤ起ラサルヤ計ル可カラサルモノナリ故ニ暴風雨ニ因テ生ス可キ損害  
ハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ヘシ又人ノ死亡ノ如キ早晚免カル可カラサル所  
ナレトモ其起生ノ日時ニ至リテハ實ニ不確定ナルカ故ニ死亡ニ因リテ生ス可  
キ損失モ亦保險ニ付スルコトヲ得ヘシ

(第四) 保險料 被保險者ハ不慮ノ事故ニ因テ損失ヲ蒙ルト否トニ拘ハラズ保險  
者ニ對シテ保險料ヲ支拂ハサル可カラズ蓋シ保險料ハ保險者ノ負擔スル賠償  
義務ニ對スル報償タル可キモノナレハ若シ之ヲ欠如セハ保險契約ハ其成立ヲ  
見サルナリ

(第五) 損失賠償ノ義務 若シ不慮ノ事故ニ因テ損失ヲ生スルトキハ保險者ハ其

損失ヲ賠償セサル可カラズ何トナレハ損失ヲ賠償スルハ全ク保險ノ目的ナレ  
ハナリ此事ニ關シテハ尙ホ後ニ詳論スル所アルカ故ニ茲ニハ唯其項目ヲ示ス  
而已

第二節 保險契約ノ特性

保險契約ハ左ニ陳述スルカ如キ特性ヲ具フルモノナリ  
(第一) 補償 (Indemnity) ノ性質ヲ有スルコト

抑モ保險カ商業社會ニ發生シタルハ全ク補償ノ目的ヲ達センカ爲メニシテ社會  
カ復タ之ヲ必要欲シ可カラサルモノナリトスルモ職トシテ補償ノ性質ヲ有スル  
ニ由ラスノハ非ズ然ラバ補償トハ何ソ他ナシ實際蒙リタル損失ヲ賠償スルコト  
是ナリ故ニ保險ハ決シテ補償ノ目的以外ニ之ヲ使用スルコト能ハス否ラズノハ  
則チ保險法ノ精神ヲ蹂躪スルモノト謂ハサル可カラズ世ニ賭博ナルモノアリ保  
險ハ素ト之ニ類似ス然レトモ賭博ト保險トハ決シテ同一物ニ非ズ其間大差別ノ  
存スルモノアリ然ラバ其差別トハ何ソ他ナシ要ハ補償ノ性質ヲ具フルト否ラザ  
ルトニ在リ即チ補償ノ性質ヲ帶フルモノハ賭博ニ非ズシテ保險ナリ之ニ反シテ

補償ノ性質ヲ帶ヒサルモノハ賭博ニシテ保險ニ非サルナリ蓋シ此點ニ付テハ學  
者或ハ疑ヲ懷クモノナキニ非サルヲ以テ以下例ヲ擧ケテ之ヲ説明センニ今余カ  
他人ノ家屋ヲ火災保險ニ付シタリト假定セヨ此契約ハ果シテ保險契約ナル乎將  
タ賭博ナル乎ト云フニ保險契約ニ非ズシテ賭博ナリ何トナレハ余ハ他人ノ家屋  
ニ付テ毫モ利害ノ關係ヲ有セス從テ縱令其家屋カ火災ニ因リテ燒失スルモ余ニ  
於テ痛痒全ク相關セサルカ故ニ若シ其家屋燒失セハ若干ノ金員ヲ得ントノ契約  
ハ其性質一六丁半ト擧シモ擇フ所ナケレハナリ換言スレハ余ハ被保險物ニ付テ  
被保險利益ヲ有セス從テ其契約ハ全然補償ノ性質ヲ欠如スルカ故ニ賭博ニシテ  
保險契約ニ非サルナリ然ルニ之ニ反シ余カ自己所有ノ家屋ヲ火災保險ニ付シタ  
リト假定セヨ此場合ニ於テハ火災ノ爲メニ其家屋ノ燒失スルト否トハ余ノ利害  
ニ至大ノ關係アリ即チ若シ其家屋ニシテ燒失セハ余ハ其價額ヲ損失シ又若シ其  
家屋ニシテ燒失セサレハ此損失ヲ免カル可シ左レハ此例ニ於テハ余ハ被保險利  
益ヲ有シ從テ其契約ハ補償ノ性質ヲ帶フルカ故ニ決シテ賭博契約ニ非ズ實ニ有  
効ナル保險契約ナリトス英國ノ法理學者ホルランド氏ハ曰ク保險契約ナルモノ

ハ賭博契約ノ一種ナリ然ルニ法律カ獨リ保險契約ノミニ効力ヲ附與シ賭博契約ニハ之ヲ附與セサル所以ノモノハ他ナシ保險契約ハ公益上有益ナルモ之ニ反シテ他ノ賭博契約ハ公益上有害ナルヲ以テナリ是故ニ保險契約及ヒ賭博契約ノ區別ハ其性質上ノモノニ非スシテ單ニ社會ニ利益ヲ及ホスヤ將タ害毒ヲ流スヤテフ外形上ノモノタルニ過キスト然レトモ余ハ絶對的ニホルランド氏ノ說ニ反對シ保險契約ト賭博契約トノ區別ハ當ニ公益上有益ナルヤ將タ有害ナルヤノ點ノミニ止マラス其性質上儼乎タル區別アリト信スル者ナリ請フ左ニ少ク之ヲ説明セシ例ヘハ上野不忍池畔ノ競馬場ニ於テ競馬ノ勝敗ニ付キ金錢ノ授受ヲ約シタリトセン乎其契約ハ賭博ノ性質ヲ具フルヤ將タ保險ノ性質ヲ備フルヤト云フニ若シ其馬ニシテ自己ノ所有ニ屬セサルトキハ其契約タル猶ホ相撲ヲ見物シテ金錢ヲ賭スルト同シク全然賭博ノ性質ヲ帶フルモノタルヤ歟々ヲ俟タスシテ明カナリ然ラハ今少シク其例ヲ變シ余カ其所有ニ屬スル馬ノ勝敗ニ付キ保險契約ヲ取結ヒタルトキハ如何果シテ保險ノ性質ヲ具フルモノナルヤ將タ賭博ノ性質ヲ備フルモノナルヤト云フニ此場合ニ付テハ聊カ考慮ヲ回ラサ、ル可カラズ若

シ夫レ皮相ノ見ヲ以テセン乎余ノ馬カ幸ニシテ勝ヲ制セハ市價之カ爲メニ増加シ又不幸ニシテ敗ヲ取レハ市價之カ爲メニ減少スルカ故ニ余ハ實際余ノ馬カ競走ニ於テ敗ヲ取ルテフ不慮ノ事故ニ因リ損害ヲ蒙ルモノタリ從テ其損失ヲ償フノ契約ナレハ是レ則チ保險ノ性質ヲ帶フルモノニ非サル乎ノ觀想ヲ生ス可シ蓋シ深思熟慮スル所ナク一見以テ斷定テ下ストキハ其契約ハ寔ニ補償ノ性質即チ保險タルノ性質ヲ具備スルカ如クナルモ仔細ニ之ヲ研究スルトキハ斯ル契約モ矢張賭博契約ニシテ有効ナル保險契約ニ非サルヲ知ルナリ何ヲ以テ乎爾カ謂フ他ナシ馬カ競走ニ於テ勝ヲ制スルト敗ヲ取ルトハ一ニ其馬ノ千里ナルト否ラサルトニ因ル若シ其馬ニシテ驚駭ナラン乎競走ニ於テ敗ヲ取ルハ素ヨリ其所而已之カ爲メニ市價ノ減少スルハ眞ニ市價ノ減少スルニ非スシテ却テ其減少シタル價額コソ其馬ノ實價ナリ然ラハ則チ余ハ實際ノ損失ヲ蒙リタルモノニ非ス既ニ實際ノ損失ヲ蒙ラサラン乎他人ヨリ金錢ヲ得ントスルノ契約ハ補償ノ性質ヲ帶フルモノニ非ス既ニ補償ノ性質ヲ帶ヒサラン乎保險契約ニ非スシテ賭博契約タルヤ敢テ曉々ヲ要セサレハナリ去尙ホ勘シク其例ヲ變シ若シ余ノ馬ニシテ

競走ノ際斃死セハ金若干ヲ得ントフ契約ヲ爲シタリトセン乎是レ即チ保險契約ニシテ賭博契約ニ非サルナリ何トナレハ此契約ハ馬ノ斃死ニ因テ生ス可キ損失ヲ補償スルヲ目的トスルモノナレハナリ論シテ茲ニ至レハ賭博契約ト保險契約トノ間ニハ補償ノ性質ヲ具備スルヤ否ヤノ點ニ關スル一大區別ノ存スルモノアルコト及ヒ外形上ニ於テハ保險契約ハ賭博契約ノ一種ナルカ如ク學者モ亦爾ク論下スル者ナキニ非スト雖モ是レ實ニ正鵠ヲ失スルノ太甚シキモノナルコトヲ知ルニ足ラン若シ夫レ我商法ハ其第六百二十五條ニ於テ保險契約ノ定義ヲ下スニ方リ明カニ保險契約ハ補償ノ性質ヲ帶ヒサル可カラサルコトヲ指示シ其他歐米各國ノ法律一トシテ保險契約ニハ補償ノ性質ナカル可カラスト爲サ、ルモノナシ而シテ若シ此補償ノ性質ヲ欠如スルトキハ之ヲ賭博保險ト稱シ何レノ邦國ニ於テモ法律上効力ヲ付與セサルモノトス

(第二) 條件附帶ノ契約ナルコト  
凡ソ保險契約ハ被保險物カ實際危險ヲ冒スニ非サレハ決シテ其効力ヲ生スルモノニ非ス即チ保險契約ノ効力ハ危險ヲ冒ステフ條件ニ繫レルモノナリ今例ヲ舉

ケテ之ヲ説明センニ先ツ海上保險ノ場合ニ付テ云ヘハ若シ横濱ヨリ桑港ニ至ル船舶ノ航海ヲ保險ニ付シタリトセン乎其保險契約ハ何レノ時ヨリ其効力ヲ生ス可キヤト問フニ必スシモ其保險契約ヲ取結ヒタル時ヨリ直チニ其効力ヲ生スルモノニ非スシテ實ニ其船舶カ纜裝ヲ了リ横濱港ヲ出帆スル時ヨリ始メテ其効力ヲ生スルモノトス即チ其被保險物タル船舶カ航海ヲ開始シテ危險ヲ冒ス時ヨリ始メテ保險契約ノ効力ヲ發生スルモノトス又運送保險ノ場合ニ付テ云フモ實際其運送ス可キ貨物ヲ運送者ニ引渡シタル時ヨリ始メテ危險ヲ冒スモノニシテ其貨物カ自己ノ手元ニ在ル間ハ未ダ危險ヲ冒スモノニ非ス故ニ運送保險ノ契約ヲ締結シタルノミニテハ直チニ其効力ヲ發生スルモノニ非ス其効力ヲ發生セシメノニハ必スヤ貨物ヲ運送者ニ引渡シ以テ危險ヲ冒スコトヲ要ス蓋シ此條件タル歐米保險法ノ均シク識認スル所ナルノミナラス我商法第六百五十五條モ亦明カニ認了スル所ナリ即チ同條ニ曰ク契約ハ保險シタル危險カ被保險者ニ對シテ生ス可キニ至ラサルトキハ被保險者ヲ羈束セス(後略)ト知ル可シ被保險物カ危險ヲ冒サ、レハ保險契約ノ効力ヲ生セサルコトナ



## (第三) 誠意(Bona Fide)ヲ必要トスルコト

凡ソ契約ニハ誠意ヲ必要トセサルモノナク從テ詐欺ヲ以テ締結スルモ可ナルモノナシ乍去百般ノ契約中最モ誠意ヲ必要トスルハ保險契約ニ若クモノナシ夫ノ契約法學者ボロック氏及ヒアンソン氏等ハ保險契約又ハ保證契約ハ特別ノ契約ナリトシ且其特別ノ契約タル所以ハ誠意ヲ要スルコト最モ大ニシテ又最モ切ナルカ故ナリト論セリ然ラハ何カ故ニ保險契約ハ他ノ契約ニ比較シテ特別ニ誠意ヲ必要トスルヤト釋スルニ是レ畢竟保險契約ノ性質上ヨリ自然ニ生スル結果ナラスンハ非ス蓋シ保險契約ヲ締結スルニ付キ知了スルコトヲ必要トスル事實情況ハ多クハ被保險者ノミ之ヲ知悉シ保險者ハ大率之ヲ知了スルノ便宜ヲ有セス從テ保險者カ保險契約ヲ取結フニ付テハ一ニ被保險者ノ陳述ニ倚賴スルノ已ムヲ得サルナリ若シ夫レ賣買契約ノ如キニ在テハ賣主ハ其目的物ヲ買主ニ示シ買主モ亦自ラ之ヲ點檢シ其瑕瑾ナキヤ否ヤヲ十分ニ取調フルコトヲ得ルモ之ニ反シテ保險契約ニ在リテハ前ニ一言セル如ク保險者ハ殆ント實際ノ事實及ヒ情況ヲ知ルノ機會ヲ有セス好シヤ其機會ヲ有ストスルモノ々其事實及ヒ情況ヲ調査ス

ルトキハ極メテ迅速敏活ヲ必要トスル商業社會ノ需用ニ適セサルニ至ル可シ殊ニ海上保險ノ如キ船舶カ航海中ニ在ルトキ又ハ外國ノ港ヲ出帆スルトキニ於テ之カ契約ヲ取結フコト往々ニシテ之アリ這般ノ場合ニ在リテハ保險者ハ到底其瑕瑾ノ有無ヲ檢スルコト能ハス又生命保險ノ如キニ在リテモ醫士ハ唯被保險者ノ現在ニ於ケル健康如何ヲ診スルノミニシテ既往ニ於ケル疾病ノ有無及ヒ其血統如何ノ如キハ一ニ被保險者ノ陳述ニ憑據セサル可カラス是故ニ被保險者ノ陳述カ詐欺タル可キ場合ハ勿論縱令其陳述カ詐欺ニ非サルモ苟モ虛妄ナル以上ハ單ニ過失ニ出テタルニモ拘ハラズ法律ハ尙ホ之ヲ以テ保險契約ヲ無効タラシムルノ原因ト爲スナリ知ル可シ保險契約ニハ最上ノ誠意ヲ必要トスルコトヲ然レトモ保險契約ハ其種類多シ從テ一律ニ論下シ去ルコト能ハス即チ其種類ニ因テ誠意ヲ必要トスルノ程度ヲ異ニスルカ故ニ之ヲ甄別スルコトヲ要ス今夫レ保險契約中最モ充全ノ誠意ヲ要スルモノハ海上保險契約ニシテ之ニ次クモノハ生命保險契約ナリ其他ノモノニ至リテハ其誠意ヲ要スルノ程度總テ低シ夫レ斯ノ如ク保險契約ニ最上誠意ヲ要スルハ當ニ歐米法律ノ認ムル所ナルノミナラス我商

法第六百五十三條モ亦之ヲ認メテ即チ同條ニ曰ク保險者ハ被保險者カ契約取  
結ノ際重要ナル情況ニ付キ虛偽ノ陳述ヲ爲シ又ハ其情況ヲ默スルトキハ惡意ア  
リタルト否トヲ問ハス契約ヲ解ク權利アリ(後略)ト是レ實ニ保險契約ニハ最上誠  
意ヲ要スルコトヲ認メタルモノナリトス

(第四) 射倖契約ナルコト

佛蘭西法律ニ於テモ亦我既成民法ニ於テモ有償契約ヲ分テ二トス曰ク交換契約  
曰ク射倖契約是ナリ交換契約トハ當事者ノ一方カ爲シ又ハ與フル事物ハ他ノ一  
方カ其代リトシテ爲シ又ハ與フル事物ト法律上全ク同一ノ價值ヲ有スルモノト  
看做ス契約ヲ云フ例ヘハ余カ本院ノ建物ヲ一萬圓ニテ買受クルト假定セハ此建  
物ト一萬圓トハ法律上同一ノ價值アルモノト看做ス加之余カ夜店ニテ價值十錢  
ニ相當スル道具ヲ五十錢ニテ購求シタリトスルモ法律ノ眼光ヲ以テ之ヲ見レハ  
少クトモ余ト道具屋トノ間ニ在テハ其道具ト五十錢トハ同一ノ價值ヲ有セルモ  
ノト看做ス可シ故ニ斯ノ如キ契約ハ即チ交換契約ナリ又射倖契約トハ交換契約  
ニ對スル名稱ニシテ實際上ニ於テハ勿論法律上ニ於テモ當事者雙方カ爲シ又ハ

與フル事物ハ互ニ同一ノ價額ヲ有スルモノト看做サ、ル契約ヲ云フ從テ射倖契  
約ニ在リテハ當事者ノ一方ハ利益ヲ得他方ハ損失ヲ蒙ルノ結果ヲ來スモノナリ  
而シテ保險契約ハ射倖契約ノ一種ナリ例ヘハ余カ一ノ建物ヲ毎月五十圓ノ保險  
料ヲ以テ一箇年間一萬圓ノ保險ニ付シタリト假定セン乎若シ其建物ニシテ一箇  
年内ニ火災ニ罹ラサレハ余ハ一箇年間ノ保險料即チ六百圓ヲ損失シ保險者ハ之  
ヲ利益ス可シ又之ニ反シ一箇年ノ將サニ了ラントスルトキ其建物ニシテ火災ノ  
爲メ燒燼スルトキハ保險者ハ僅ニ六百圓ノ保險料ヲ得タルノミニテ一萬圓ヲ支  
拂フ可シ余ハ單ニ六百圓ヲ失フテ一萬圓ノ保險金ヲ得ヘシ之ヲ要スルニ火災起  
ラサレハ保險者ハ利益ヲ得テ被保險者タル余ハ損失ヲ蒙リ之ニ反シテ火災起レ  
ハ被保險者タル余ハ利益ヲ得テ保險者ハ損失ヲ蒙ル可シ而シテ法律上ヨリ論ス  
ルモ六百圓ノ保險料ト一萬圓ノ保險金トハ決シテ同一ノ價值ト看做サス知ル可  
シ保險契約ハ射倖契約ナルコトナ  
抑モ保險契約ニ於テ保險料ノ額ヲ定ムルコトハ寔ニ至困至難ノ業ニ屬ス蓋シ保  
險料ノ額ニシテ高貴ニ失セン乎決シテ保險契約ヲ取結フ所ノ被保險者勿ル可ク

又之ニ反シ保險料ノ額ニシテ低廉ニ過キン乎決シテ保險事業ノ成立ヲ見サル可シ故ニ保險料ナルモノハ必スヤ一定ノ標準ニ基テ之ヲ定メ以テ其平衡ヲ得セシムルコトヲ要ス然ラハ保險料ハ何チ標準トシテ之ヲ定ム可キヤト云フニ今例チ火災保險ニ取レハ一箇年内ニ幾回火災起リ幾何ノ家屋燒失シ幾何ノ損失ヲ醸ス可キヤチ精確ニ統計シ其統計ニ基テ保險料ノ割合ヲ定メサル可カラズ其他ノ保險ニ在リテモ亦然リ故ニ危險ノ起生ニ因テ生ス可キ損失ニ付テノ精密ナル統計ヲ得ルニ非サレハ保險ノ制度ハ克ク社會ニ行ハル可キモノニ非ス又保險料ヲ定ムルノ標準ハ一ニ損失ノ統計ニ在ルカ故ニ東京ノ如ク屢々火災ノ發生スル土地ニ於ケル保險料ハ歐米ノ如ク其家屋皆煉瓦造ニシテ火災ノ厄ニ罹ルコト少キ場所ニ於ケル保險料ト素ヨリ同一ナル能ハス即チ前者ハ後者ニ比シ勢ヒ多額ナルコトヲ免カレサル可シ

保險料ヲ定ムルノ標準夫レ斯ノ如シトセハ今若シ總般ノ保險者チ一團體トシテ之チ一方ノ當事者ト看做シ又全般ノ被保險者チ一團體トシテ之チ他ノ一方ノ當事者ト看做シ以テ兩々當事者ノ關係ヲ觀察スルトキハ所謂保險契約ナルモノハ

全ク射倂ノ性質ヲ離レ却テ純然タル交換ノ性質ヲ帶フルモノタルコトヲ發見ス可シ換言スレハ保險者ノ支拂フ保險金ト被保險者ノ支拂フ保險料トハ其額ヲ均フスルチ窺知ス可シ以是乎モルガン氏ハ謂ヘラシ保險ナルモノハ其實行ノ結果上ヨリ觀察スレハ各個人ノ財產ヲ擧ケテ社會ノ共有物ト爲スコトヲ約束セルト同一ナリト蓋シ其趣旨タル被保險者ノ多數ハ保險料ヲ支拂ヒテ保險金ヲ得サルモ其少數ハ少許ノ保險料ヲ支拂ヒテ多額ノ保險金ヲ得ルカ故ニ恰モ社會黨ノ主義ニ類スト云フニ在リテ能ク保險契約ノ性質ヲ穿テル說ナリト謂ツ可キナリ

(第五) 物約(Real contract)ノ性質ヲ具有スルコト

凡ソ契約ハ其目的物ト共ニ他ニ移轉スルト否ラサルトニ因テ之チ物約人約ノ二種ニ區別スルコトヲ得ヘシ契約ノ目的物カ他ニ移轉スレハ其契約モ亦從テ移轉スルモノハ是レ即チ物約ナリ例ヘハ期限ヲ定メテ家屋ヲ貸貸シタル場合ニ於テ其期限内ニ貸借ノ目的物タル家屋ヲ他人ニ賣却シタリトセン乎當初其家屋ノ所有者ト貸借人トノ間ニ締結シタル貸借契約ハ新所有者ニ移轉シ新所有者ト貸借人トノ間ニ於ケル契約ト爲ル可シ即チ貸借契約ハ其目的物タル家屋ト共

ニ他ニ移轉スルモノナレハ所謂物約ト稱ス可キモノナリ然ルニ之ニ反シテ人約ハ縱令其目的物カ他ニ移轉スルモ之ニ隨伴シテ移轉セス依然前ノ當事者間ニシテ其効力ヲ有スルモノナリ而シテ保險契約ナルモノハ果シテ物約ノ性質ヲ帶フルモノナル乎將タ人約ノ性質ヲ帶フルモノナル乎ト釋スルニ此點ニ付テハ我商法ノ規定ハ英米法ノ規定ト其揆ナ一ニセサルヲ見ル乍去今姑ク成文ヲ離レ專ラ法理上ヨリシテ其性質ヲ論スレハ保險契約ハ人約ニシテ物約ニ非スト信ス元來保險契約ハ其目的物ニ重キヲ置キテ取結フ所ノ契約ニ非ス或ハ家屋ヲ保險スト云ヒ或ハ船舶ヲ保險スト云フモ其實家屋若クハ船舶ニ重キヲ置クノ契約ニ非ス從テ夫ノ家屋賃賃借ノ契約トハ其性質ニ於テ大ニ異ナル所アリ然ラハ保險契約ハ如何ナルコトヲ目的トスルヤト云フニ究竟被保險物カ不幸ニシテ危險ニ遭遇シ損失ヲ生スルトキハ保險者ニ於テ其損失ヲ賠償ス可キコトヲ約束スルニ在レハ其目的ハ損失賠償ニ外ナラス然ルニ損失ヲ賠償スルコトハ全ク人ト人トノ關係ニ付テ云フモノニシテ縱令其目的物タル家屋カ他ニ移轉スルコトアルモ其保險契約ハ決シテ之ト同時ニ移轉ス可キモノニ非ス英米ノ法律カ保險契約ヲ以テ

人約ト看做ス所以ノモノ一ニ此理由ニ職因セスンハ非ス然ルニ我商法第六百四十條ヲ見ルニ保險ハ被保險物ノ讓渡其他被保險利益ノ轉付ニ因リテ當然新取得者ニ移ル但讓渡人カ利益ヲ留置キタル場合又ハ第六百五十四條ノ場合又ハ保險者カ轉付ニ付キ承諾ヲ與フル權利ヲ明示シテ留保シタル場合ハ此限ニ在ラスト規定セリ此規定ノ趣旨タル要スルニ保險契約ノミハ移轉セサル旨ノ特別ノ意思明瞭ナラサル場合ニハ保險契約ハ被保險物ト共ニ新取得者ニ移轉ス可シト云フニ在リ然ラハ即チ我商法ハ保險契約ニ與フルニ物約ノ性質ヲ以テシタルモノナルコト嗽々ヲ要セスシテ明カナリ今夫レ保險契約ハ果シテ物約ト爲ス可キモノナル乎將タ又人約ト爲ス可キモノナル乎ハ立法上須ラク詳密ナル研究ヲ遂ケサル可カラサル一大問案ナレトモ事ノ立法ニ關スルモノハ姑ク之ヲ高閣ニ束ネ單ニ保險契約ノ性質上ヨリ法理的ノ斷案ヲ下ストキハ前ニ一言セシ如ク保險契約ハ寧ロ人約ノ性質ヲ帶フルモノニシテ物約ノ性質ヲ具フルモノニ非スト云ハサル可カラス然ルニ我商法ハ前顯第六百四十條ノ法文ニ明カナル如ク之ニ物約ノ性質ヲ帶ハシメタリ是レ立法上果シテ其當ヲ得タルモノナルヤ否ヤ蓋シ立法上

孰レノ性質ヲ帶ハシム可キヤノ問題ニ至リテハ素ト其國ノ情況及ヒ人民一般ノ思想如何ニ因テ之ヲ決定セサル可カラズ若シ夫レ一般人民ニシテ保險契約ハ當然被保險物ト共ニ移轉ス可キモノナリトノ思想ヲ抱キ且其國ノ情況ニシテ之ヲ許サソ乎保險契約ハ宜シク之ヲ物約ト看做ス可ク又之ニ反シ一般人民ニシテ保險契約ハ當然被保險物ト共ニ移轉ス可キモノニ非ストノ思想ヲ懷キ且其國ノ情況ニシテ爾レ解スルヲ妥當ナリトセン乎保險契約ハ宜シク之ヲ人約ト看做ス可キナリ之ヲ要スルニ這般ノ問題ハ主トシテ立法上ノ議論ニ屬スルカ故ニ茲ニ深ク之ヲ論究スルノ必要ナシ

第二章 被保險利益 (Insurable interest)

苟モ危險ノ爲メニ損害ヲ蒙ル可キ利害ヲ有スル者ハ如何ナル物ト雖モ法律カ之ヲ禁シ若クハ一般ノ道德又ハ公益等ニ反セサル以上ハ之カ保險契約ヲ取結フコトヲ得ヘシ更ニ簡單ニ之ヲ言ヘハ被保險利益ヲ有スル者ハ保險契約ヲ取結フコトナリ同條ニ曰ク所有權債權其他ノ權利名義又ハ權利關係ニ基因スル財産上ノ

被保險利益

利益ニシテ此ニ關スル危險ノ起生ニ因リ被保險者ニ直接ニ損害ヲ加フ可キモノハ保險ニ付スルコトヲ得ル利益トスト此條文ハ太甚錯雜ニシテ簡明ヲ缺クカ故ニ法文タルノ性質ニ適セサルモノナリト雖モ要スルニ其意味ハ適法ナル財産上ノ利益ニシテ危險ノ發生ニ因リ直接ニ損害ヲ受クルノ恐アルモノハ之ヲ被保險利益トスト云フニ在リ由是觀之被保險利益タルニハ左ノ三條件ヲ具備スルコトヲ要スルモノトス

(第一) 財産上ノ利益ナルコト

(第二) 危險ノ發生ニ因テ直接ニ損害ヲ受クルコトアル可キコト

(第三) 適法ナルコト

以下右ノ三條件ニ付キ逐次論述スル所アラム

(第一) 財産上ノ利益ナルコト

財産上ノ利益トハ如何ナルコトヲ意味スル乎詳細ニ之ヲ説明センニハ勢ヒ財産ナルモノ、意味ヲ明カニセサル可カラズ然レトモ財産ノ意義ヲ明カニスルコトハ民法總論ノ範圍ニ屬スルカ故ニ余輩ハ之ヲ省略シ唯民法財産編第一條ノ明文

ヲ舉示スルニ止メシ同條ニ曰ク財産ハ各人又ハ公私ノ法人ノ資産ヲ組成スル權  
 利ナリト由是觀之財産上ノ利益トハ金錢ヲ以テ計算スルコトヲ得ル利益ヲ云フ  
 ニ外ナラサルヤ明カナリ獨逸商法中保險ノ部ニ於テハ明文ヲ以テ金錢ヲ以テ計  
 算シ得ヘキ利益ハ保險ニ付スルコトヲ得ル旨ヲ規定セリ又英米法學者ノ所說並  
 ニ英米裁判所ノ判決例ニ因ルモ被保險利益トハ金錢上ノ利益ヲ云フモノト確定  
 セリ我商法第六百二十七條ニハ前ニ明示シタル如ク單ニ財産上ノ利益トノミ  
 リテ別ニ金錢上ノ利益ナルコトヲ法定セサルモ其趣旨タル畢竟獨逸商法及ヒ英  
 米法ト同一ニシテ別ニ異ナリタル意味ヲ有スルモノニ非スト信ス故ニ被保險利  
 益ハ必ズヤ金錢ヲ以テ計算シ得ヘキモノナラサル可カラズ金錢上ノ利益ヲ有ス  
 ルモノハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ルモ金錢上ノ利益ヲ有セサルモノハ之ヲ保  
 險ニ付スルコトヲ得ス而シテ夫ノ愛情又ハ精神上ノ快樂ノ如キハ到底金錢ヲ以  
 テ評價ス可カラサルモノナリ例ヘハ親ハ子ヲ愛シ夫ハ妻ヲ愛スルモ其愛情タル  
 一万圓ノ愛情ナリトカ五千圓ノ愛情ナリトカ云々カ如ク金錢ヲ以テ計算スルコ  
 トヲ得ス又芝居ヲ見ルコトキハ精神ニ快樂ヲ感スルモ其快樂タル二十五錢ノ快樂

ナリトカ五十錢ノ快樂ナリトカ云フカ如ク金錢ヲ以テ計算スルコトヲ得ス從テ  
 斯ノ如キモノハ保險ニ付スルコト能ハス然ラハ將來得ヘキ利益ハ保險ニ付スル  
 コトヲ得ルヤ換言セハ將來得ヘキ利益ハ被保險利益ヲ組成スルモノナルヤ否ヤ  
 ト云フニ國ニ因テ其法規異ナリ又古今ニ因テ其規定ヲ異ニス現時ニ於ケル英米  
 獨ノ法律ハ將來得ヘキ利益ト雖モ之ヲ保險ニ付スルコトヲ許スト雖モ古代ニ於  
 テハ英米ノ法律ハ利益ナル語ヲ非常ニ嚴格ニ解釋シ現實ノ利益ニ非サレハ之ヲ  
 保險ニ付スルコトヲ得ストセリ又佛蘭西ノ法律ニ依レハ今日ニ於テモ尙ホ將來  
 得ヘキ利益ハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ許サス然ラハ我商法ノ規定如何ト云フニ  
 別ニ明文ヲ以テ此點ニ關スル法規ヲ設定セスト雖モ保險法一般ノ規定ヨリ之ヲ  
 觀察シ又特ニ第六百六十七條及ヒ第六百六十九條ノ規定ニ憑據スルトキハ我商  
 法モ亦將來得ヘキ利益ヲ以テ被保險利益ナリトスルコト明瞭ナリ何トナレハ右  
 ニ舉ケタル二箇ノ法條ニ依レハ未タ實ヲ結ハサル將來ノ收穫物ヲ保險ニ付スル  
 コトヲ許シタレハナリ乍去茲ニ一大注意ヲ要スル點アリ他ナシ將來ニ利益ヲ得  
 ヘキ單純ナル企望ト將來得ヘキ利益トハ之ヲ同一視ス可カラサルコト是ナリ蓋

シ將來得ヘキ利益ハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ルモ單一ナル企望ハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ス然ラハ被保險利益タル可キ所ノ將來得ヘキ利益トハ果シテ如何ナルモノナルヤト云フニ必スヤ左ニ陳述スルニ條件ヲ具備スルモノナラサル可カラス

(一) 將來利益ヲ生ス可キ物上ニ現實ノ利益ヲ有スルコト 例ヲ舉ケテ之ヲ説明セシニ茲ニ田畑アリ其田畑ニ五穀ヲ植付ケタリト假定セシ乎五穀ヲ植付ケタル田畑ハ即チ將來利益ヲ生ス可キ物タリ故ニ其物上ニ多少現實ノ利益ヲ有スルニ非サレハ被保險利益ヲ有スルモノト云フヲ得ス尤モ必スシモ其物上ニ所有權ヲ有スルノ要アルニ非ス小作權又ハ其他ノ權利ニテモ可ナリ唯歸スル所ハ現實ノ利益ヲ有セサル可カラサルニ在リ若シ夫レ田畑ニ五穀ヲ植付ケタル場合ニ於テ其田畑ニモ亦苗ニモ何等利害ノ關係ヲ有セサラン乎甚シモ現實ノ利益ヲ有セサルモノナルカ故ニ將來收穫ス可キ物ニ付キ保險契約ヲ取結フコトヲ得ス但時トシテハ將來其五穀ヲ買入ル、ノ意思アルヤ未ダ知ル可カラスト雖モ斯ノ如キハ是レ單一ノ企望ニシテ決シテ現實ノ利益タル可キモノニ非

ス是ヲ以テ如何ナル場合ニ於テモ他人ノ田畑ニ植付ケラレタル他人ノ苗ハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ス之ニ反シテ自己ノ田畑ニ植付ケタル自己ノ苗ハ未ダ收穫期ニ至ラサル前ト雖モ他日其收穫ヲ得ヘキ物ノ上ニ現實ノ利益ヲ有スルカ故ニ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ヘキナリ

(二) 保險ニ付シタル危險ニシテ發生スルニ非サレハ必ス利益ヲ取得シ得ヘキコト 前例ニ因リテ之ヲ説明セシニ單ニ田畑ヲ所有スルノミコトハ未ダ以テ收穫物上ニ利害ノ關係生セリト云フヲ得ス詳言スレハ現ニ其田畑ニ種子ヲ下シ又ハ苗ヲ植付ケ荷モ暴風雨、水難、旱魃等ノ危險發生スルニ非サル以上ハ必ス收穫ヲ得ヘキ場合ニ非サレハ決シテ被保險利益ヲ有スルモノト云フヲ得ス蓋シ田畑ニ種子ヲ下シ又ハ苗ヲ植付ケタルトキハ其自然ノ結果トシテ荷モ暴風雨、水害又ハ旱魃等之ナキ以上ハ必スヤ收穫ヲ得ルナル可シ故ニ斯ノ如キ場合ニハ被保險利益アリト云フヲ得ルナリ

以上ノ二條件ヲ具備スルニ非サレハ將來得ヘキ利益ハ決シテ保險ノ目的物タルコトヲ得サルモノトス

借我商法第六百二十七條第二項ヲ閱スルニ博奕賭事富講又ハ其他ノ意外ノ事ニ因ル僥倖ノ利益ハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得スト規定セリ乍去此規定ハ本條ノ明文ヲ俟テ始メテ知ル可キモノニ非スシテ保險契約ノ性質上當然生スル結果ニ外ナラサルナリ何トナレハ前ニ述ヘタル如ク將來得ヘキ利益タルニハ必スヤ二個ノ條件ヲ具備セサル可カラス然ルニ博奕賭事富講等ノ如キハ決シテ第二ノ條件ヲ具フルモノニ非ス再言セハ苟モ危險ニシテ發生セスンハ必ス取得シ得ヘキ利益タルモノニ非ス然ラハ即チ被保險利益ヲ組成セサルヤ炳然火ヲ覩ルヨリモ明カナレハナリ加之又博奕賭事富講等ニ因テ得ヘキ利益ノ保險ニ付シ得ヘカラスルモノナルコトハ保險自體ノ目的精神ヨリ推蔽スルモ直チニ知了シ得ヘキ所ナリ蓋シ保險ノ目的精神タルヤ實際ノ損失ヲ補償スルニ在リテ存スルカ故ニ決シテ保險ヲ以テ利益ヲ取得スルノ方法ト爲スコトヲ得ス然ルニ若シ博奕賭事富講等ノ利益ヲモ尙ホ且保險ニ付スルコトヲ許容セシ乎是レ保險ヲ以テ損失補償ノ機械ト爲スニ非スシテ實ニ利益ヲ取得スルノ手段ニ供スルモノナリ豈ニ之ヲシモ保險ノ目的精神ニ適合スルモノト云フヲ得ンヤ以是乎博奕賭事富講其他意外ノ事ニ因ル僥倖ノ利益ハ其適法ノモノナルト否トヲ問ハス總テ之ヲ保險ノ目的物ト爲スコトヲ許容セサルナリ

(第二) 危險ノ發生ニ因テ直接ニ損害ヲ受クルコトアル可キコト抑モ危險ニ因テ直接ニ損害ヲ受クルコトナキモノハ素ヨリ之ヲ保險ニ付スルノ必要ナシ從テ亦被保險利益ヲ組成スルモノニ非サルヤ知ル可キ而已今夫レ暴風雨火災洪水其他何等ノ危險ニ遭遇スルモ毫モ損害ヲ蒙ラサル物件アリトセン乎之ヲ保險ニ付スルヲ必要ナク復々之ヲ保險ニ付スルノ愚者ナカル可シ又他ノ一例ヲ假想スレハ若シ人類ニシテ千萬歳ヲ極ムト雖モ決シテ死亡セサルモノナラシ乎何ヲ苦ンテ生命保險ヲ受クルノ痴人アラシヤ知ル可シ保險ニ付スルノ要ハ危險ノ爲メ損害ヲ生スルノ恐アル場合ニ限ルモノナルコトヲ然レトモ社會ニ於ケル萬般ノ事物中如何ナル危險ニ遭遇スルモ損害ヲ生スルノ恐ナキモノハ寔ニ稀有ナリト謂ツテ可ナリ從テ保險ニ付シ得ヘキ目的物ハ其範圍極メテ廣ク到底之ヲ列記シ得ヘキモノニ非ス現ニ歐米ノ實例ニ依ルモ保險ノ種類ハ年々歲々其數ヲ増加シ將來如何ナル程度ニ達ス可キヤ殆ント其底止スル所ヲ知ラサルノ現



象ナリ惟フニ人智益々進歩シ將來生ス可キ種々ノ災害ヲ慮カルニ至ラハ保險ノ數モ亦從テ増加ス可キハ蓋シ自然ノ數ナラム

(第三) 適法ナルコト

元來保險ノ目的ハ正當ナル利益ト正當ナル事業ヲ保護スルニ在リテ存シ不正ノ利益若シハ不正ノ事業ハ素ヨリ保險法ノ保護ス可キ限ニ在ラス故ニ被保險利益ナルモノハ必スヤ法律上正當ナリトスル利益即チ適法ノ利益ナラサル可カラス夫ノ奴隸賣買ノ如キハ今日法律ノ嚴禁スル所ナレハ斯ル人身賣買ノ爲メニ資金ヲ供給シ而シテ保險ニ因テ其利益ノ保護ヲ受ケントスルモ其利益タル實ニ不適法ノモノナルカ故ニ保險法ハ決シテ之ヲ保護セサルナリ  
借又保險法ニ所謂不適法ノ利益トハ必スシモ法律ノ積極的ニ禁止セルモノ、ミチ云フニ非ス縱令法律ハ積極的ニ禁止セス又積極的ニ不正ナリト規定セサルモ苟モ一般ノ公益上道德上又ハ秩序上ヨリシテ法律ノ精神カ厭惡シ又ハ獎勵セサルモノハ亦不適法ノモノト爲シ保險法上之ヲ保護セサルナリ例ヘハ貸座敷營業者ト娼妓トノ間ニ於ケル契約ノ如キハ法律上積極的ニ不法ノ契約ナリト爲シ

ルモノナリト斷言スルヲ得サルヤ未ダ知ル可カラスト雖モ蓋シ今日ニ於ケル法律ノ精神ヨリスレハ甚シトモ之ヲ厭惡シ決シテ之ヲ獎勵セサルモノナリ是故ニ這般ノ契約ニ關シテ取結ヒタル保險ノ有効無効ニ關シテハ從來如何ナル判決例アリシヤ又向後如何ナル判決ヲ下ス可キヤ余輩之ヲ知ラスト雖モ保險法ノ精神上ヨリ推論スレハ法律ノ厭惡スルモノナルカ故ニ保護ヲ與フ可キ限ニ非スト斷言スルヲ躊躇セサルナリ

上來講述シタル三條件ヲ具備スルトキハ始メテ被保險利益ヲ組成スルモノトス而シテ余ハ以上ニ於テ被保險利益ノ何タルヤヲ説明シ了リタレハ是ヨリ被保險利益ノ價額ニ付テ聊カ講述スル所アラント欲ス

抑モ被保險利益ヲ有セサレハ保險契約ヲ取結フコト能ハサルハ既ニ前ニ述ヘタルカ如シ然レトモ被保險利益ハ縱令之ヲ有ストスルモ其被保險利益ニ超過スル賠償額ハ決シテ之ヲ請求スルヲ得ス何トナレハ保險契約ハ損失ヲ補償スルノ性質ヲ有セサル可カラサレハナリ於是乎被保險利益ノ價額ヲ論究スルノ要アリ而シテ之ヲ爲スニハ特ニ契約ヲ以テ被保險利益ノ額ヲ定メタル場合ト何等ノ特約

ヲ結ハサル場合トニ區別スルヲ便宜ナリト信ス今先ツ特約ノ存セサル場合ヨリ  
講起ス可シ

(第一) 特約ノ存セサル場合

特約ヲ以テ被保險利益ノ價額ヲ定メサル場合ニハ被保險物ノ普通價額ニ因テ其  
被保險利益ノ價額ヲ定メサル可カラス之ヲ一般ノ原則ト爲ス然ラハ更ラニ一歩  
ヲ進メ被保險物ノ普通價額ハ何チ標準トシテ算定ス可キ乎ト云フニ开ハ被保險  
物ノ種類ニ因テ多少ノ差異アリ從テ之ヲ區別シテ論セサル可カラス若シ夫レ被  
保險物ニシテ不動産ナラン乎純然タル理論上ヨリ之ヲ言ヘハ其損失ノ起リタル  
當時ノ實價ニ因テ之ヲ算定ス可キモノナリ(特リ不動産ノミニ止マラス其他ノ被  
保險物ニ付テモ亦然リ)何トナレハ保險契約ハ損失補償ノ性質ヲ帶フルモノニシ  
テ而シテ其補償ス可キ損失ハ現ニ危險ノ起リタル當時ニ於ケル實價ニ外ナラサ  
レハナリ例ヘハ一萬圓ノ價アル被保險物カ今日火災ノ爲メニ燒失シタリトスレ  
ハ保險者ハ其一萬圓ヲ賠償スレハ可ナルカ如シ然レトモ此理論上ノ算定法ハ實  
際契約ヲ取結フノ方法ヨリ論スレハ甚シク穩當ヲ缺クモノニ似タリ請フ聊カ其

理由ヲ述ヘンコ例ヘハ茲ニ一ノ家屋アリ該家屋ヲ三ケ年間毎年五百圓宛ノ保險  
料ヲ以テ火災保險ニ付シタリトセン乎此家屋ノ價ハ年々其朽敗ニ赴クニ從ヒ減  
少ス可キカ故ニ縱令家屋ノ相場ニハ變動ナシト假定スルモ今日ニ於ケル價ト三  
ケ年後ニ於ケル價トハ決シテ同一ニ非ス然ルニ其保險料ハ今日ニ於ケル家屋ノ  
價ヲ標準トシテ計算セルモノニシテ三ケ年後ニ於テモ其額ヲ同クス故ニ若シ三  
ケ年後ニ至リ火災ノ爲メ被保險物タル家屋燒失シタル場合ニ於テ單ニ其當時ノ  
價額ノ外賠償ヲ得ヘカラサルモノトセン乎今日ノ價額ヲ標準トシテ定メタル保  
險料ヲ支拂フニモ拘ハラス三ケ年後ニ於ケル減少シタル價額ノ賠償ヲ得ルニ過  
キサルコト、爲ル約言スレハ多額ノ保險料ヲ支拂フテ少額ノ賠償ヲ得ルニ過キ  
サルノ結果ヲ來タス可シ故ニ各國ノ法律皆不動産ニ付テハ實際損失ノ生シタル  
當時ノ價額ニ因ラスシテ其保險契約ヲ取結ヒタル當時ノ價額ニ因リ被保險利益  
ノ價額ヲ定ム可キモノトセリ我商法起稿者ロエスレル氏モ亦論シテ曰ク被保險  
利益ノ價額ハ保險ヲ受ケタル時ノ實價ニ因テ算定ス可キモノニシテ縱令其契約  
ノ時ト危險ノ生シタル時トノ間ニ多少價額ノ減少スルコトモ此等ノ事ハ之ヲ不

問ニ措カサル可カラスト而シテ我商法ニ於テハ不動産カ被保險物タル場合ニ於ケル價額算定方法ニ付キ一モ規定スル所ナシト雖モ而モ保險法ノ原則上ヨリ論スレハ右ニ述ヘタルカ如キ方法ニ因テ其價額ヲ算定ス可キモノナリト信ス

右ハ不動産カ被保險物タル場合ニ於ケル價額算定方法ナルカ若シ被保險物カ不動産ニ非シテ動産ナルトキハ如何ナル方法ニ因テ其被保險利益ノ價額ヲ算定ス可キモノナルヤト云フニ此場合ハ被保險物ヲ自己ノ使用ニ供スル場合ト賣買ノ目的物ト爲ス場合トニ因テ區別アリ即チ使用ニ供スル動産ニ在テハ修繕又ハ新調ノ費用ニ依リ商品ニ在テハ損害又ハ喪失ノ生シタル時及ヒ地ニ於ケル市場代價ニ依リテ其價額ヲ定ム可キモノナルコトハ我商法第六百三十條ノ明定セル所ナリ今先ツ自己ノ使用ニ供スル動産ヨリ論セヨニ抑モ動産ノ價額ナルモノハ新舊ニ依リテ一般ニ區別アル可キハ素ヨリ論テ竣タス故ニ永ク自ガラ使用シテ多少磨損シタルモノト全ク新規ノモノトハ同一ノ價額ヲ有スルモノト云フヲ得ス然ルニ前項第六百三十條ニハ修繕又ハ新調ノ費用ニ依ルトアリテ縱令古物ヲ保險ニ付スルモ若シ其物カ滅失又ハ毀損スルトキハ新規ノ物ヲ買求ムルノ費用

又ハ其毀損シタル物ヲ修繕シテ新規ノ物ヲラシムルノ費用ヲ保險者ニ對シテ請求シ得ルカ如シ第六百三十條ノ法意果シテ斯ノ如シトセハ保險法ノ精神ニ背馳スルノ太甚シキモノニ非サルナカラシ乎元來保險ハ補償ノ性質ヲ具有スルモノニシテ實際ノ利益ヲ保護スルノ外決シテ他ノ賠償ヲ許スモノニ非ス故ニ第六百三十條ニ所謂新調ノ費用云々ノ意味ハ古物ヲ保險ニ付スルモ新物ヲ買求ムルノ費用ヲ請求スルコトヲ得ヘシト云フニ非シテ唯其保險ニ付セルト同一ノ物ヲ更ニ購求スル費用ヲ請求シ得ヘシト云フニ在ルモノト解釋セサル可カラス乍去修繕ノ費用ニ至リテハ素ヨリ新タニ修繕スルノ意味ナラサル可カラス以是乎英米等ノ法律ニ於テハ新規ニ修繕ヲ加ヘタルトキハ其費用ノ中幾割ヲ減シ其殘額ヲ以テ被保險物ノ利益若シハ賠償額ト爲セリ然レトモ我商法ニ於テハ斯ノ如キ規定ナキカ故ニ苟モ修繕ヲ加フルトキハ其修繕ノ費用全部ヲ請求スルコトヲ得ヘシ蓋シ是レ保險法ノ精神並ニ保險自體ノ性質ヨリ論スレハ聊カ穩當ヲ缺クモノト謂ハサル可カラス尚ホ第六百三十條ノ法文ニ付テ勘シク注意ス可キハ同條前段ニ被保險物ノ價額トアルハ立法者ノ書キ誤リナルコト是ナリ何トナレハ若

シ該條ヲ其字句通りニ解釋スレハ被保險物ノ價額ハ修繕ノ費用ト同一ナリト云ハサル可カラスト雖モ而モ修繕ノ費用ト其修繕セラル可キ物ノ價額トハ決シテ同一ニ非サルコトハ事實ノ證明スル所タリ例ヘハ一個ノ机アリテ其價一圓ナリト假定シ會々其一本ノ足破損シタルカ爲メ之カ修繕料トシテ二十錢ヲ要ストセシテ其修繕料ト机ノ價トノ間ニハ現ニ非常ノ差アリ然ルニ若シ第六百三十條ノ明文ニ從ヒ被保險物ノ價額ハ修繕費用ト同一ナリト解セン乎其机ノ價ハ僅カニ二十錢ニ過キスト云ハサル可カラスト天下豈ニ此理アラフヤ立法者ノ真意蓋シ茲ニ在ラス專ラ被保險者カ賠償ヲ請求シ得ル額ハ其使用ニ供スル動産ニ在テハ修繕又ハ新調ノ費用ニ依ルト云フニ在ルモノナラム諸子請フ此意義ニ於テ前顯ノ法文ヲ解セヨ

右ハ使用ニ供スル動産ニ付テ論シタルモノナルモ翻テ商品ノ被保險價額ハ如何ト云フニ其損失ノ生シタル時及ヒ場所ニ於ケル市場ノ代價ニ因テ之ヲ定ム可キモノトス例ヘハ横濱ノ生絲賣込商店ニ存在スル生絲ヲ東京ニ於テ保險ニ付シタルニ一朝火災ノ爲メ烏有ニ歸シタリトセン乎此場合ニ於ケル生絲ノ被保險價額

ハ東京ノ市價ヲ以テ之ヲ定ムルモノニ非ス又其保險契約ヲ締結シタル時ノ市價ニ依リテ之ヲ定ムルモノニモ非スシテ一ニ其被保險物ノ燒失シタル時ニ於ケル横濱ノ市價ニ依リテ之ヲ定ム可キモノナルカ如シ蓋シ此規則ハ前ニ述ヘタル理論上ノ原則ニ恰當スルモノニシテ勘シモ間然スル所ナシ然リト雖モ此規則タル常ニ同一ノ場所ニ存在スル被保險物ニ對シテ適用スルコトヲ得ルニ止マリ夫ノ運送品ノ如キ終始轉輾スル物品ニ付テハ此規則ヲ適用スルコトヲ得ス何トナレハ運送品ナルモノハ或ハ深奥ナル山中ヲ運送セラル、コトアリ又或ハ渺茫タル海上ヲ運送セラル、コトアリ然ルニ偶々危險發生シ損失ヲ惹起シタル場合ニ於テ其損失ノ發生シタル時及ヒ場所ノ市價ニ因テ被保險價額ヲ算定セントスルモ山中又ハ海上ニハ市場ナルモノ之ナキカ故ニ市價ナルモノハ到底之ヲ知ルコト能ハサレハナリ於是乎陸上運送品及ヒ海上運送品ニ付テハ特別ノ設定ヲ設置セリ又保險法ノ草案ヲ閱スルニ使用ニ供スル動産又ハ商品ニ付テハ保險料、保險契約取結ノ費用其他一般ノ保護費ヲ算入シテ被保險價額ヲ定ムルコトヲ得ヘシトセルモ確定法文ニ於テハ此規定ヲ刪除セリ故ニ法律ノ精神ハ斯ル保險料其他倉

敷料等ハ之ヲ合算ス可カラストスルニ在ルモノナリト解釋セサル可カラス  
 借又債權カ被保險物タルトキハ其價額ハ如何ニ之ヲ定ム可キヤト云フニ此場合  
 ニ於テハ元本ニ利息及ヒ取立費用ヲ合算シタルモノヲ以テ其被保險利益ト爲ス  
 可キモノトス蓋シ債權ヲ保險ニ付スルト云フハ一見奇怪ナルカ如キ感アリト雖  
 モ而モ債權ナルモノハ金錢上ノ利益ナレハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ヘキヤ素  
 ヨリ論ヲ俟タサルノミナラス債權ヲ保險ニ付スルハ究竟債務者カ其債務ヲ辨濟  
 スルコト能ハサル場合ニ於テ保險者ヨリ其金額ノ辨償ヲ得ノコトヲ目的トスル  
 モノナリ換言セハ債務者ノ辨濟能力ヲ保險ニ付スルモノタリ知ル可シ債權ノ保  
 險ハ純然タル補償ノ性質ヲ有スルコトヲ今一例ヲ擧クレハ甲カ乙ニ一ケ年六朱  
 ノ利子ヲ以テ一万圓ヲ貸與セル場合ニ於テ甲カ其債權ヲ保險ニ付シタリト假定  
 セン乎其債務額一万圓ト之ニ對スル六朱ノ利子及ヒ乙カ辨濟ヲ爲サ、ルニ方リ  
 之ヲ督促スルカ爲メニ費シタル相當ノ費用アレハ之ヲモ合算シテ被保險價額ト  
 爲ス故ニ保險者ハ此等ノ總テヲ辨償セサル可カラス  
 次ニ又債權ヲ擔保スル抵當權ヲ保險ニ付スルコトアリ例ヘハ余カ此學校ノ建物

ヲ抵當ニ取リタル場合ニ於テ其抵當權ノミヲ保險ニ付スルカ如シ然ラハ此場合  
 ニ於ケル被保險利益ノ額ハ如何ニシテ之ヲ算定ス可キモノナルヤト云フニ其債  
 權ノ元利益ニ取立費用ヲ合算シタルモノト抵當物ノ價額トヲ比較シ孰レカ寡少  
 ナルモノヲ以テ被保險價額ト爲ス可キモノトス即チ債權ノ元利益ニ取立費用ヲ  
 合算セルモノハ一万圓ニシテ抵當物ノ價額ハ八千圓ナルトキハ八千圓ヲ以テ被  
 保險價額ト爲シ又之ニ反シテ抵當物ノ價額ハ九千圓ニシテ債權ノ元利益ニ取立  
 費用ヲ合算セルモノハ七千圓ナルトキハ七千圓ヲ以テ被保險價額ト爲ス然ラハ  
 何カ故ニ寡少ナル額ヲ以テ標準ト爲ス可キモノナルヤト釋ヌルニ蓋シ債權者カ  
 其抵當物ニ對シテ有スル利益ハ單ニ寡少ナル額ニ止マルモノナルヲ以テナリ即  
 チ債權ヲ擔保スル爲メノ抵當ナルカ故ニ其抵當物ノ價額ハ如何ニ鉅額ナルモ債  
 權者ノ擔保權ハ其債權額ニ止マル可シ又偶々抵當物ノ價額債權ノ額ヨリ寡少ナ  
 ルトキハ債權者ノ抵當物上ニ有スル利益ハ其寡少ナル額ニ止マル可キハ智者ヲ  
 俟テ知ル可キ所ニ非ス是レ其寡少ナル額ヲ以テ被保險價額ヲ算定セサル可カラ  
 サル所以ナリトス

(第二) 特約ノ存スル場合

當事者ハ被保險物ノ價額ヲ豫シメ明約若クハ鑑定人ノ評價ニ依リテ定ムルコトアリ例ヘハ余カ其所有ニ屬スル机ヲ保險ニ付スルニ方リ其價額ヲ一圓ト定メシコトヲ約定スルカ如シ家屋其他ノ物件ニ付テモ亦然リ斯ル場合ニ於テハ其被保險利益ノ價額ハ現ニ豫定シタル價額ニ遵據セサル可カラズ我商法第六百三十二條ハ即チ此事ヲ規定セルモノニシテ此點ニ付テハ諸國ノ法制悉ク一轍ニ出ツル所ナリ元來豫定價額ナルモノハ必スシモ實際ノ價額ト同一ナルモノニ非ス即チ前例ニ於テ余ノ所有ニ屬スル机ハ實際八十錢ノ價值アルニ過キサルモノナルヤモ未タ知ル可カラズ然レトモ當事者雙方ノ合意ヲ以テスルトキハ尙ホ之ヲ一圓ト定ムルコトヲ得ヘシ既ニ之ヲ一圓ト定メタリトセン乎必スヤ此豫定價額ニ依準セサル可カラズ例ヘハ歷史上ノ由緒アル骨董品ノ如キニ至リテハ之ヲ所有スル者又ハ之カ所有ヲ企望スル者ノ着想如何ニ因リテ其價額極メテ高貴ナルヲ致スモノニシテ凡人俗士ノ眼ヨリ見レハ一文半錢ノ價值ナシトスル物モ雅人騷客ノ眼ヨリ見レハ古色蒼然實ニ百金尙ホ低廉ナリトスルコトナキヲ保セス故ニ斯

ル物品ニ付テ保險契約ヲ締結スルニ方リ其價額ヲ百圓ト豫定シタリトセハ必スヤ其價額ニ因ラサル可カラズ而シテ此價額ヲ豫定スルニハ物品ノ原價ニ保險費用保險料其他一般ノ保護費用ヲ算入シテ之ヲ定ムルコトヲ得ヘク又其目的物カ商品ナルトキハ將來得ヘキ利得ヲモ豫測シテ被保險價額中ニ算入スルコトヲモ得ヘシ之ヲ要スルニ何レノ場合ニ於テモ其豫定シタル價額ヲ以テ被保險物ノ價額ヲ定メサル可カラズ而シテ既ニ當事者カ一旦被保險物ノ價額ヲ明定シタル以上ハ縱令實際ノ價額トハ多少ノ相違アルモ該價額タル當事者間ニ於テハ確乎不動ノモノナリ唯夫レ強暴若クハ詐欺ノ場合又ハ價額ノ著シク過當ニシテ實際詐欺ト同一視ス可キ場合ニ於テ其約定ノ價額ヲ變更スルコトヲ得ル而已故ニ若シ此等ノ場合ニ遭遇セルトキハ保險者ハ全ク被保險物ノ價額ヲ定メサリシ場合ト同一ニ看做シテ新タニ其價額ヲ定ムルコトヲ得ヘシ加之保險契約ハ本來最上誠意ヲ必要トスルモノナルカ故ニ右等ノ場合ニ於テハ保險者ハ其保險契約自體ヲ取消スコトヲ得ヘシ蓋シ其何レノ方法ニ因ルヤハ全ク保險者ノ撰擇ニ一任スルモノトス

第三章 保險證券

第一節 保險證券ノ性質

保險契約ヲ記載スル證書ヲ保險證券ト稱ス然ラハ保險證券ト保險契約トノ關係如何ト云フニ我法律ニ依レハ保險契約ハ諾成契約即チ承諾ノミヲ以テ成立スル契約ニシテ要式契約即チ方式ヲ要スル契約ニ非サルカ故ニ縱令保險證券ヲ作成セサルモ尙ホ且保險契約ハ有効ニ成立ス可シ夫ノ佛蘭西及ヒ英米ノ法律ニ依レハ海上保險契約ハ必スヤ證券ヲ以テ之ヲ證明スルコトヲ要ストセルカ故ニ證券ナクハ以テ保險契約ノ成立ヲ證明スルニ由ナシ從テ其結果證券ノ作成ヲ以テ保險契約成立ノ一條件ト爲シタルト同一轍ニ歸着ス我法律ニ於テハ斯ル規定アルコトナシ乍去特ニ我法律ノ規定セルモノアリテ存スルカ故ニ左ニ聊カ之ヲ述ヘム

(第一) 保險者ハ總テノ場合ニ於テ契約取結ノ後即時ニ保險證券ヲ作りテ之ヲ被保險者ニ交付スルヲ義務アリ若シ此手續ヲ盡サズ又ハ交付ヲ遲延シタルカ爲メニ損害ヲ生シタルトキハ被保險者ニ對シテ賠償ノ責任ヲ負ハサル可カラス

是レ即チ我商法第六百四十二條ノ規定セル所ナリ乍去本條ハ單ニ被保險者ヲ保護スルノ目的ヲ以テ制定セラレタルモノナリ詳言セハ保險契約上ノ權利關係ヲ明白ニシ且保險契約ノ移轉ヲ容易ナラシムルカ爲メ被保險者ヲ保護スルノ目的ヲ以テ制定セラレタルモノナリ故ニ被保險者ニシテ承諾スル以上ハ保險者ハ此手續ヲ爲スノ義務ナシ乃チ知ル本條ハ素ヨリ保險證券ノ作成ヲ以テ保險契約成立ノ一要件ト爲シタルモノニ非サルコトナリ

(第二) 商法第六百四十九條ニ依レハ保險契約ノ旨趣ニ係ル證據ハ若シ保險證券又ハ附屬書類ノ存在スルトキハ此等ノ書類ヲ以テノミ之ヲ舉クルコトヲ得ヘキモノトセリ元來證據ニハ等級アリ即チ最モ信用シ得ルモノト又差程信用シ得サルモノトアリ若シ最モ信用シ得ル證據ト其他ノ證據ト并ヒ存在スルトキハ最モ信用シ得ル證據ヲ舉ケサル可カラサルコトハ實ニ證據法上ノ原則ナリ例ヘハ英法ニ於テハ一等證據二等證據ノ區別アリテ一等證據アル場合ニハ二等證據ヲ舉クルコトヲ許サズ一等證據ナキ場合ニ於テ始メテ二等證據ヲ舉クルコトヲ許スガ如シ前項商法第六百四十九條モ亦此原則ヲ明揭シタルニ過キ

ス故ニ保險證券又ハ附屬書類カ既ニ消滅セルカ又ハ保險者カ始メヨリ之ヲ交付セサリシコト明カナルトキハ一般ノ證據ヲ以テ保險契約ノ存在ヲ證明シ得ヘキヤ敢テ喋々ノ辯明ヲ要セサルナリ

第二節 保險證券ニ記載ス可キ條件

保險證券ニ記載ス可キ條件

我商法第六百四十六條ニ依レハ保險證券ニ記載ス可キ條件左ノ如シ

(第一) 契約取結ノ年月日

(第二) 保險者若クハ其代人ノ署名捺印

(第三) 保險ノ初日及ヒ其期間

(第四) 被保險物ノ十分精密ナル記載

(第五) 被保險額 被保險額トハ被保險物ニ喪失又ハ損害ノ生ジタル場合ニ於テ保險者ノ辨償ス可キ金額ヲ云フ

(第六) 保險料ノ額

(第七) 保險シタル危険

(第八) 保險申込人ノ氏名及ヒ被保險者ノ指示 保險申込人トハ保險者ト被保

險者トノ間ニ在リテ保險契約取結ノ媒介ヲ爲ス者ヲ云フ又被保險者ノ指示トアルカ故ニ必スヤ被保險者ノ何人ナルヤヲ明示セサル可カラス

(第九) 保險ノ旨趣ニ重要ナル影響ヲ及ホス事情及ヒ契約ノ特別ナル條款アラハ其條款 保險ノ旨趣ニ重要ナル影響ヲ及ホス事情トハ例ヘハ特ニ保險シタル危険ヲ増加ス可キ事情又ハ其被保險物ノ性質上特ニ此危険ヲ増加ス可キ事情等ヲ云フ蓋シ此等ノ事情ハ保險契約ヲ取結フニ付テ最モ必要ナルモノナレハ若シ這般ノ事情アルトキハ必ス之ヲ保險證券ニ記載セサル可カラヌ又契約ノ特別ナル條款トハ其種類數多アル可シト雖モ今其一例ヲ示セハ夫ノ破損シ易キ物又ハ漏泄シ易キ物ニ付テハ豫シメ特別ノ條款ヲ設ケ其損害ノ幾割ニ付テハ保險者ニ於テ賠償ノ責任ヲ負荷セサルコトヲ契約スルコト往々ニシテ是アリ斯ル場合ニ於テハ其條款ヲ保險證券ニ記載ス可キモノトス

立法者カ斯ノ如キ規定ヲ設置シタル所以ノモノハ別ニ深遠ナル理由アルニ非ス究竟被保險物カ消滅シ又ハ幾多ノ星霜ヲ閱シタル後ニ於テモ其契約ノ旨趣ヲ明



カニシ因テ以テ其權義關係ヲ明確ナラシムルカ爲メト其保險契約ノ讓渡ヲ容易ナラシムル爲メトニ職由セスンハ非サルナリ

保險證券ノ種類

第三節 保險證券ノ種類

第一、記價保險證券及ヒ不記價保險證券  
記價保險證券トハ價ニ被保險額ヲ記載セルノミノ證券ヲ云フニ非ス蓋シ被保險額ハ總テノ保險證券ニ之ヲ記載セサル可カラス然ラハ記價保險證券トハ如何ナルモノヲ云フヤト問フニ其文字ノ示ス如シ當事者ノ合意ヲ以テ被保險物ノ價額ヲ定メ之ヲ記載シタル證券ヲ云フ之ニ反シテ不記價保險證券トハ其證券面ニ被保險物ノ價額ヲ明記セサルモノヲ云フ而シテ記價保險證券ノ場合ニ於テハ若シ其保險シタル危險發生シテ被保險物上ニ損害ヲ來タシタルトキハ保險者ハ其證券面ニ記載セル價額ニ準據シテ賠償ヲ爲スハ責任ヲ有スルモノナリ即チ被保險物ノ全部損失セハ其價額ノ全部ヲ賠償ス可ク又單ニ一分ノ損失セハ其割合ニ應シ證券面ニ記載セル價額ニ準據シテ賠償ヲ爲ス可キモノナリ故ニ此場合ニ於テハ後日ニ至リテ被保險物ノ價額ヲ定ムルノ煩累ナシ又之ヲ證明スルノ必要ナシ

シ從テ當事者雙方ノ爲メ極メテ便利ナリ然リト雖モ被保險物ノ價額ヲ豫定スルコトハ常ニ實行シ得ヘキ所ニ非ス蓋シ之ヲ定ムルニハ或ハ被保險物ヲ検査セサル可カラサルコトアラン或ハ又評價人ヲシテ之ヲ評價セシムルノ要アルコトアラン然ルニ保險契約ノ取結ハ往々ニシテ迅速敏活ヲ要スルモノナルカ故ニ勢ヒ其價額ヲ定メ之ヲ保險證券ニ記載スルノ違ナキコトアレハナリ今夫レ後ノ場合ニ於テ危險發生シ被保險物上ニ損失ヲ來タシタリトセン乎被保險者ハ其價額ヲ證明スルノ責任アリ而シテ之ヲ證明スルニハ苟モ適法ナル證據方法ナル以上ハ如何ナル證據ニ依ルモ毫モ妨クル所ニ非ス且又其損害ノ額ニ付キ當事者雙方間ノ協議調ハサルトキハ素ヨリ裁判所ニ於テ評價人ヲシテ之ヲ評價セシメ因テ以テ其額ヲ定ム可キモノトス

第二、利益保險證券及ヒ賭博保險證券

利益保險證券トハ其證券面ニ於テ被保險者ハ被保險物ニ付キ利害ノ關係ヲ有スルコトヲ記載スル證券ヲ云フ但利害ノ關係ヲ有スルコトヲ明記セサルモ實際被保險者ニ於テ利害ノ關係ヲ有スルコトヲ證明スルトキハ其保險契約ハ素ヨリ有

効タル可キモノナリ又賭博保險證券トハ被保險者カ何等ノ利害ヲモ有セサル物  
 ナ保險ニ付シタル場合ニ於テ其契約ヲ記載シタル證券ヲ云フ英國法律ニ依レハ  
 賭博保險ナルコトヲ記載セサルモノハ一應利益保險證券ト看做ス可キモノトセ  
 リ是レ其當ヲ得タルモノナリ畢竟スルニ賭博保險證券トハ特ニ被保險者カ被保  
 險物ニ付キ何等ノ利害ヲモ有セサル旨ヲ記載セル證券ヲ意味スルニ外ナラス而  
 シテ利益保險證券ハ有効ナルモ賭博保險證券ハ無効ナルモノトス尤モ英國海上  
 法ニ於テハ一ノ例外ヲ認メタリ即チ外國ノ船舶ニ付テハ賭博保險證券ヲ以テ保  
 險契約ヲ取結フモ有効ナリトスルコト是ナリ然レトモ此事タル單ニ古來ノ慣例  
 ニ基クモノタルニ過キスシテ今日ニ在リテハ素ヨリ斯ル例外ヲ認ムルノ必要ナ  
 シ否ナ保險法ノ精神ヨリシテ論スルトキハ決シテ斯ル例外ヲ認ム可キニ非サル  
 ナリ

第三、指圖式保險證券及ヒ無記名式保險證券

指圖式保險證券トハ其文字自體ノ示スカ如ク保險者カ被保險者若クハ其指圖人  
 ニ對シテ契約上ノ義務ヲ履行セシムコトヲ記載シタル證券ヲ云フ故ニ此證券ニ依

テ履行ヲ求ムルコトヲ得ル者ハ獨リ契約者タル被保險者其人ノミニ止マラズ被  
 保險者ノ指圖シタル人モ亦之カ履行ヲ求ムルコトヲ得ヘシ又無記名式保險證券  
 トハ裏書ナクシテ轉帳スルコトヲ得ヘシ且其證券ヲ現有スル者ニ於テ契約上ノ  
 權利ヲ實行シ得ヘキモノヲ云フ乍去保險證券ハ白地ニテ(Blank)之ヲ發行スル  
 コトヲ得ズ蓋シ白地ニテ發行スルトハ被保險者ノ氏名ヲ書セシテ發行スルヲ  
 云フモノニシテ此場合ニ於テハ何人ニテモ此證券ヲ所持スル者ニ對シテ契約上  
 ノ義務ヲ履行ス可キコトヲ約束スルモノナリ之ヲ稱シテ白地式保險證券ト云フ  
 今夫レ何カ故ニ保險證券ハ白地ニテ之ヲ發行スルコトヲ得サルヤト云フニ要ハ  
 保險契約ハ補償ノ性質ヲ有スルモノナルト最上ノ誠意ヲ必要トスルモノナルト  
 ノ性質上ヨリ來ルモノナリ若シ假リニ被保險者ノ何人タルコトヲ記載セス即チ  
 白地ニテ保險證券ヲ發行スルコトヲ許ストセン乎果シテ何人カ其被保險物ノ所  
 有者ナルヤヲ知ルコト能ハス從テ其契約ハ果シテ補償ノ性質ヲ帶フルモノナル  
 ヤ否ヤモ亦分明ナラス且又詐欺者アリ密封シタル箱中ニ貴重ナル金銀寶石類ヲ  
 填充シタルモノナリト稱シ其實瓦礫鉛鐵ノ類ヲ充實シテ保險ニ付セル場合ニ於

テモ其詐欺ヲ行ヒタル者ハ果シテ何人ナルヤヲ知ルコト能ハス爲メニ斯ル詐欺者ヲ所罰シ因テ以テ這般ノ不法行爲ヲ防遏セシメコトヲ目的トシタル法律規定ヲシテ死文徒法タルニ終ハラシム可シ於是乎我商法ニ於テモ亦保險證券ニ記載ス可キ一條件トシテ被保險者ヲ指示ス可キモノトセリ知ル可シ保險契約ノ性質上ヨリ考察スルトキハ白地ニテ保險證券ヲ發行スルコトハ到底許容ス可カラサルモノナルコトナ

第四、航期保險證券、時期保險證券及ヒ混同保險證券

此區別ハ海上保險證券ニノミ適用セラル、モノナリ先ツ第一ニ航期保險證券トハ證券面ニ明カニ航海ノ開始スル場所ト其終了スル場所トヲ記載シ以テ其危険ニ制限ヲ措クモノナ云フ又第二ニ時期保險證券トハ場所ヲ以テ危険ヲ制限スルニ非スシテ時日ヲ以テ之ヲ制限スル證券ナ云フ例ハ明治二十七年十一月二十日ヨリ明治二十八年一月一日迄ノ海上危険ヲ保險ニ付スル旨ヲ記載シタル證券ノ如シ又第三ニ混同保險證券トハ時期保險證券ト航期保險證券ノ二性質ヲ具有スル證券ナ云フ詳言セハ時日ト航海トノ二點ヲ以テ危険ニ制限ヲ立テタル證券

ナ云フ例ハ明治二十七年十一月二十日ヨリ明治二十八年一月三十一日迄横濱ヨリ佛蘭西馬耳塞ヲ經テ墨西哥迄ノ海上危険ヲ保險ニ付スル旨ヲ記載シタル證券ノ如シ蓋シ斯ル證券ハ時日ト航海トノ二點ニ於テ制限セラレタルモノナルカ故ニ保險者タルモノハ其期限經過スルモ又ハ其航海終了スルモ俱ニ其責任ヲ免カル、モノナリ即チ前例ニ於テ佛蘭西馬耳塞ニ達セルノ時既ニ其期間經過セハ其以後ノ海上危険ニ付テハ其責任ナカル可ク又既ニ墨西哥ニ到達スレハ縱令未タ其期間ヲ經過セサルモ其以後ノ海上危険ニ付テハ責任ナカル可シ是レ則チ混同保險證券ノ性質ナリトス

第五、終身保險證券及ヒ年期保險證券

此區別ハ生命保險、病傷保險及ヒ年金保險ニ適用セラル、モノナリ而シテ終身保險證券トハ被保險者ノ終身ヲ以テ期限トスル證券ナ云ヒ之ニ反シテ年期保險證券トハ或ル年限ヲ以テ期限トスル證券ナ云フ

第四節 保險證券ノ解釋

抑モ契約ノ旨趣ハ當事者ノ眞實ニシテ且確定セル共通ノ意思ニ依リテ之ヲ定ム

保險證券ノ解釋

可キモノナリ蓋シ契約ハ合意ニ出ツルモノナルカ故ニ當事者共通ノ意思ニ依リテ之ヲ定メサル可カラサルノミナラス又其意思タルヤ眞實ニシテ且確定セルモノナラサル可カラサルハ素ヨリ論明ヲ要セサル所ナリ(商法第二百七十五條參看)而シテ保險契約ヲ解釋スルニハ概畧左ニ記載スル原則ニ依ラサル可カラサルモノトス

(第一) 商人タル者ノ當然ノ思考ニ依ラサル可カラス 此事ニ付テハ別ニ説明ヲ要セス

(第二) 保險契約ノ旨趣ハ保險證券又ハ附屬書類ニ依リテノミ解釋セサル可カラス 然レトモ保險證券又ハ附屬書類ノ既ニ消滅セル場合又ハ之ヲ作成セサル場合ニ於テハ一般ノ立證方法ニ因テ其契約ノ旨趣ヲ證明スルコトヲ許ス故ニ此場合ニ於テハ各種ノ證據ニ因テ其契約ノ旨趣ヲ解釋スルコトヲ得ヘシ(商法第六百四十九條)

(第三) 商業上確定セル慣習ニ依ラサル可カラス 抑モ商慣習ナルモノハ苟モ反對ノ意思明カナラサル以上ハ一應保險證券ノ一部分ヲ構成セルモノト看做ス

コトヲ得ヘシ換言スレハ該商慣習ニ基テ保險契約ヲ取結ヒタルモノト看做ス  
コトヲ得ヘシ故ニ保險契約ノ旨趣ヲ解釋スルニハ商慣習ヲ參酌ス可キモノトス

(第四) 特別ナル商慣習ハ一般ノ商慣習ヨリモ優等ノ力ヲ有スルモノトス 故ニ特別ノ商慣習ト一般ノ商慣習ト相抵觸スルトキハ特別ナル商慣習ヲ參照シテ保險契約ヲ解釋ス可キモノトス

(第五) 法律上効力ヲ附ス可キ慣習ハ一般ニ認了セラル、モノニシテ且明白ナルモノナラサル可カラス 故ニ疑ハシキモノ又ハ單ニ一二ノ人ノミニ因テ認了セラル、モノハ素ヨリ法律上効力ヲ有スルモノニ非ス尤モ一般ニ認了セラル、ト云フハ必スシモ商業社會ニ於ケル總テノ人カ之ヲ認了スルヲ要スルトノ意味ニ非スシテ商業社會ノ多數者カ之ヲ確認スレハ可ナルモノトス而シテ又一般ニ認了セラル、慣習ナルモ若シ該慣習タルヤ法理上不正又ハ不當ノモノナルトキハ素ヨリ法律上其効力ヲ有スルコトナシ之ヲ要スルニ法律上効力ヲ有ス可キ慣習タルニハ一般ニ確認セラレ且正當ノモノナルコトヲ要スルモノ

(第六) 保險證券ニ記載セル意味ニシテ表面上兩義ニ涉ル乎又ハ不明瞭ナルトキハ保險證券及ヒ附屬書類以外ノ狀況殊ニ商慣習ニ因テ其意味ヲ補充説明スルコトヲ得ヘシ 此原則ハ實ニ解釋法上ノ一大原理ニシテ何レノ國ノ商法ニ於テモ之ヲ確認セサルハナシ今此原則ヲ裏面ヨリ觀察スレハ究竟商慣習ハ兩義ニ涉ル意味又ハ不明瞭ナル意味ヲ補充説明スル爲メニハ之ヲ援用スルコトヲ得ヘシト雖モ書面上ノ意味ヲ變更スル爲メニハ之ヲ引用スルコトヲ得スト云フニ在リ然ルニ茲ニ我商法ニ付キ太甚疑訝ノ念ニ堪ヘサルモノアリ他ナラス同法第六百四十七條ハ此原則ニ反スル規則ヲ設定シタルモノニ非サルナキ乎ノ點是ナリ今同條ヲ見ルニ曰ク保險證券ノ旨趣ハ商慣習又ハ附屬書類其他ノ證書ヲ以テ之ヲ更正シ説明シ補充シ又ハ變更スルコトヲ得ト此規定中保險證券ノ旨趣ハ商慣習又ハ附屬書類其他ノ證書ヲ以テ之ヲ説明シ補充スルコトヲ得ルトノ點ニ付キテハ別ニ疑ヲ容ル可キモノナシト雖モ其商慣習ヲ以テ保險證券ノ旨趣ヲ更正シ又ハ變更スルコトヲ得ルトノ點ニ至リテハ大ニ疑ヲ容レ

サル可カラス若シ夫レ此條文ヲ其字句通りニ解釋セシムル儼然保險證券ヲ以テ契約ノ旨趣ヲ定ムルモ其旨趣ニシテ商慣習ニ反スルトキハ該商慣習ノ爲メニ更正セラレ又ハ變更セラルモノト云ハサル可ガラス豈ニ不條理ノ規定ニ非スヤ抑モ特別ノ合意ヲ以テスルトキハ商慣習ニ反スル契約ヲ締結スルコトヲ得ヘキハ契約自由ノ原則ヨリシテ生スル當然ノ結果ナリ然ルニ右ノ條文ニ依ルトキハ斯ル商慣習ニ反スル契約ハ特約ヲ以テスルモ尙ホ之ヲ締結スルコト能ハサルノ不都合ヲ惹起ス可シ惟フニ我商法ノ精神トスル所ハ茲ニ在ラサルモノナラム畢竟スルニ右ノ法文ハ其字句ノ排列順序其當ヲ得サルカ爲メ遂ニ斯ノ如キ不都合ヲ惹起スルニ至リタルモノナリ故ニ此條文ヲ解釋スルニ方リテハ宜シク慎重ナル注意ヲ加ヘサル可カラス而シテ余ハ此條文ヲ解釋シテ言ハントス附屬書類其他ノ證書ヲ以テスルトキハ保險證券ノ旨趣ヲ更正シ説明シ補充シ又ハ變更スルコトヲ得ヘシト雖モ商慣習ヲ以テシテハ單ニ保險證券ノ旨趣ヲ説明シ又ハ補充スルコトヲ得ルニ過キサルモノナリト蓋シ此説明ハ正鵠ヲ得タルモノナルニ庶幾カラノ乎

(第七) 手書シタル條項ハ印刷シタル條項ニ優ルモノトス 保險證券ノ如キハ通例之ヲ印刷ニ付シ置キ多クノ申込人ノ求メニ應シテ必要ナル部分ニ指定ノ記入ヲ爲シ保險證券ヲ作成スルモノナリ故ニ往々ニシテ其印刷シタル條項ノ意味ト手書シタル條項ノ意味ト相抵觸スルコトアルヲ免カレズ此場合ニ於テハ如何ニ之ヲ解釋ス可キモノナルヤト云フニ一般ニ手書シタル條項ニ依ル可キモノトス何トナレハ手書シタル條項ハ當事者ノ特別ニ注意シテ記入シタルモノト認ムルコトヲ得ルモ之ニ反シテ印刷セル部分ハ素ト一般ノ申込人ニ適用スルカ爲メ作りタルモノニシテ當事者ノ特別ニ注意シテ記入シタルモノト認ムルコトヲ得サレハナリ

(第八) 保險者ノ利益ノ爲メ特ニ記入セラレタル約款ノ意味カ二様ニ涉ルトキハ被保險者ノ利益ニ解釋センヨリモ寧ロ保險者ノ利益ニ解釋ス可キモノトス例ハ陶器又ハ玻璃類ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ二割以下ノ損害ハ保險者ニ於テ之ヲ賠償スルノ責任ナシテ約款ヲ設ケタリトセン乎其約款ハ專ラ保險者ノ利益ニ解釋セサル可カラサルガ如シ

當事者及  
ヒ代理人  
當事者

第四章 當事者及ヒ代理人

第一節 當事者

保險契約モ亦一種ノ契約ナレハ之カ當事者タルモノハ必スヤ普通ノ契約ヲ締結シ得ヘキ能力ヲ有セサル可カラサルヤ敢テ論ヲ俟タズ而シテ此點ニ關シテハ一般ノ能力ニ關スル規則ノ外別ニ保險法ニ特別ナル法規アルコトナシ唯保險契約ナルモノハ補償ノ性質ヲ具有スルモノナレハ被保險者ハ必スヤ其被保險物上ニ被保險利益ヲ握有セサル可カラサル而已今ヤ眼ヲ轉シテ古來歐米諸國ニ於ケル保險事業ヲ案スルニ時昔ニ在リテハ該事業ハ全ク一個人ノ手裡ニ屬セリ然ルニ社會漸ク進步スルニ迫ンテヤ一私人ノ手裡ヲ離レテ會社ノ掌中ニ歸スルニ至レリ現ニ米國ニ於テハ保險事業ハ渾然會社ノ手裡ニ屬スルモノト斷言スルモ敢テ過言ニ非ス加之歐洲諸國ニ於テモ亦同一ノ傾向ヲ來タセリ蓋シ保險ノ事業ハ其區域ヲ擴張シ極メテ數多ノ保險契約ヲ締結スルニ非スンハ以テ克ク自他ヲ利スルコト能ハス且其營業ノ性質ハ永久ヲ期スルモノナレハ一個人カ此營業ヲ行ハノヨリモ寧ロ數多ノ資本ヲ有シ永久繼續ス可キ性質ヲ有スル會社事業ニ屬セシ

ムヲ以テ最モ適當ナリトスルカ故ニ斯ル趨向ヲ呈スルモノナラム本邦ニ於テモ亦陸續保險營業ニ從事スルモノアレトモ悉ク會社組織ニ依ルモノニシテ未ダ一個人的事業ト爲スモノアルヲ聞カサルナリ

尙ホ茲ニ説明ス可キハ英國ニ於テ「ロイド」ノ保險營業ト稱スルモノ是ナリ今ヤ古代ニ溯テ其沿革ヲ閱スルニウイリアム三世及ヒ女王アンノ時代ニ於テハ倫敦ノ「コッフィー、ハウス」茶店ハ衆人ノ遊樂場ナリシ而シテ甲ノ「コッフィー、ハウス」ハ文學者ノ遊樂場ニシテ乙ノ「コッフィー、ハウス」ハ音樂者ノ遊樂場ナリト云フカ如ク各類ヲ以テ集リ種々ノ會談ヲ試ミテ歡ヲ取リタリシカ偶々倫敦ノロンバードストリートニ在ル「ロイド」ト稱スル「コッフィー、ハウス」ハ遠洋航海ニ從事スル者ノ遊樂場ナリシ而シテ該「コッフィー、ハウス」ノ所在ハ屢々移轉シタルモ依然「ロイド」ト稱シ且數多ノ變遷ヲ經タル末遂ニ倫敦ノ保險營業者ノ集會スル場所ト爲リ是等保險營業者ハ皆該場所ニ於テ保險事業ニ從事スルニ至レリ斯クノ如クニシテ「ロイド」ノ保險事業ハ今日ニ於テハ英國ハ勿論殆ント歐洲ニ於ケル保險ノ中心ト稱スルモ敢テ誣言ニ非サルノ現象ヲ呈シ此保險營業所ヨリ各國ノ湊港ニ役員ヲ派出シ其役員ヨリ船舶

ノ發着及ヒ事變ノ有無其他保險ニ關スル總テノ必要ナル事項ヲ報告セシムル方策ヲ採リ其報告常ニ絡繹旁午シ時々刻々絶ヘサルコト恰モ縷ノ如キ盛況ナリト云フ故ニ「ロイド」ノ保險營業者ハ居乍ラニシテ各地ニ於ケル船舶ノ發着及ヒ其危難ニ遭遇セルヤ否ヲ知了スルコトヲ得ヘシ夫レ斯ノ如ク「ロイド」ノ保險事業ハ非常ノ旺盛ヲ極ムルモノナリト雖モ而モ其營業者ハ相集合シテ會社若クハ組合ヲ組織シ以テ其營業ニ從事スルモノニ非ス實ニ各別ニ保險契約ヲ締結スルモノニシテ全然一個人ノ營業ナリ既ニ一個人ノ營業タリ然ルニ其盛大ヲ極ムルコト斯ノ如シ寧ロ怪訝ニ堪ヘサルノ感ナクシハ非ス然リト雖モ熟々其實況ヲ審案スルニ其組織タルヤ殆ント會社のニシテ徹頭徹尾獨立ノ營業ヲ爲スモノニ非ス即チ共同ノ利益ニ關スルコトハ總テ共同シテ之ヲ爲スカ故ニ能ク斯ノ如キ盛大ヲ極ムルコトヲ得タルモノニシテ復タ他故アルニ非サルナリ

## 代理人

### 第二節 代理人

保險法上代理人ニ關シテハ普通代理法ノ規則ヲ適用スルモノナリ即チ保險契約ハ代理人ヲ以テ之ヲ取結フコトヲ得ヘシ又代理人ヲ任命スル方法ノ如キモ尙ホ

普通ノ場合ニ於ケルト同ク或ハ之ヲ明任スルコトヲ得ヘシ或ハ之ヲ默任スルコトヲ得ヘシ加之追認ノ方法ニ依リテモ亦他人ノ取結ヒタル保險契約ヲ有効ナラシムルコトヲ得ヘキモノトス今夫レ代理人ヲ明任セル場合ニハ其代理人ノ權限ハ總テ委任者ニ因テ明示セラル、モノナレハ毫末モ困難ナル問題ヲ惹起スルコトナシト雖モ之ニ反シテ默任ノ場合ニ於テハ代理人ノ權限ヲ定ムルコト太甚困難ナリ然ラハ如何ナル場合ニ於テ默任存在スルモノナルヤト云フニ素ヨリ各場合ニ依リ異ナル可キモノナレハ一概ニ之ヲ論下スルコト能ハスト雖モ今一般ニ之ヲ謂ヘハ代理人ト本人若クハ被保險物トノ關係ヨリシテ委任アリタルモノト認定スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テ默任存在スルモノナリ乍左此默任ヲ推測スルニ付テハ素ヨリ普通ノ原則ニ憑據セサル可カラズ例ヘハ組合員ノ一人ハ他ノ共同組合員ヨリ特別ノ委任ヲ受ケサルモ其組合ノ財産ヲ一般ノ利益ノ爲メニ保險ニ付スルノ權限ヲ有ス何トナレハ組合員間ニハ法律上相互ニ本人タリ若クハ代人タルノ關係アルモノト看做セハナリ此他連帶ノ責任ヲ負荷スル者ノ間ニモ亦相互ニ本人若クハ代人タルノ關係アルモノト推定スルカ故ニ其中ノ一人ハ他人

ノ爲メニ保險契約ヲ締結スルコトヲ得ヘシ然レトモ共有者ノ一人ハ他ノ共有者ノ爲メニ共有物ヲ保險ニ付スルコトヲ得ス何トナレハ共有者ノ間ニハ法律上相互ニ本人タリ若クハ代人タルノ關係ナキモノト看做セハナリ從テ共有者ノ一人ハ苟モ他ノ共有者ヨリ特別ノ委任ヲ受クルニ非ズンハ其他人ノ爲メニ共有物ニ付テ保險契約ヲ締結スルヲ得ス之ト同一理ニ因リ船舶ナルモノハ諸君ノ熟知セラル、カ如ク數多ノ人カ之ヲ共有スルヲ以テ通例トスレトモ其各共有者ハ單ニ自己ノ持分ニ付テ保險契約ヲ締結スルコトヲ得ルニ止マリ他ノ共有者ノ爲メ當然保險契約ヲ締結スルノ權限ヲ有セサルモノトス  
 借又追認トハ如何ナルコトヲ云フヤト釋ヌルニ畢竟實際委任ヲ受ケサル者カ自カラ代理人ナリト稱シテ保險契約ヲ締結シタル場合ニ於テ其本人ナリト假稱セラレタル者カ其契約ノ事實及ヒ情況ヲ明知シタル後之ヲ認諾スルヲ云フニ外ナラス而シテ一タヒ追認ヲ爲ストキハ其結果最初ヨリ代理權ヲ委任シテ保險契約ヲ締結セシメタルト同一ノ効力ヲ生スルモノナリ換言セハ追認ハ契約締結ノ當時ニ溯テ其効力ヲ生セシムルモノトス



翻テ代理及ヒ追認ニ關スル我商法ノ規定如何ト願ヒルニ第六百二十八條第一項  
 ニ曰ク保險ハ自己ノ計算ヲ以テスルト他人ノ計算ヲ以テスルトトテ問ハス又被保  
 險者ノ委託ヲ受ケタルト否ト被保險者ノ豫知スルト否ト被保險者ヲ明示スルト  
 否トトテ問ハス之ヲ受クルルコトヲ得ト此規定ハ之ヲ其文字通りニ解釋スルトキハ  
 大ナル誤謬ヲ惹起スルカ故ニ特ニ注意ヲ施サ、ル可カラズ今試ミニ此規定ヲ文  
 字通りニ解釋セン乎被保險者ノ委任ヲ受ケス且被保險者ノ氏名ヲ保險者ニ知ラ  
 シメサルモ尙ホ其保險契約ハ有効ニシテ保險者及ヒ被保險者ヲ羈束スルモノナ  
 リト斷言セサル可カラズシテ爲メニ被保險者ハ自カラ委任セス又毫モ自カラ豫  
 知セサル第三者ノ締結シタル契約ニ因テ羈束セラル、ノ結果ヲ呈ス可シ然レト  
 モ法理上ヨリ論スルトキハ自カラ委任セス又自己ノ知ラサル第三者ノ締結シタ  
 ル契約ノ爲メニ自カラ羈束セラル、ト云フカ如キハ決シテ有リ得ヘカラサル事  
 ナリト爲サ、ル可カラズ然ルニ右ノ法文ヲ正面上ヨリ解釋スルトキハ斯ル不條  
 理ノ結果ヲ惹起スルヲ奈何セム蓋シ是レ法文不備ノ致ス所ニ非サル勿ラソ乎今  
 ヤ更ニ進ノテ商法草案起稿者ロエスレル氏ノ説明ヲ見ルニ是亦茫漠トシテ其眞

意ヲ捕捉ス可カラサルノ概アリ乍去其所論ノ要旨ヲ撮言スレハ畧ホ下ノ如シ曰  
 シ商法第六百二十八條ノ規定ハ契約ニ因リ債權者以外ノ他人ニ對シ其債務ヲ盡  
 スコトヲ得ルトセル商法草案第三百五十條ニ胚胎セルモノニ外ナラス元來契約  
 ナ締結セル當事者其人カ眞正ノ債權者ニ非スシテ其以外ニ別ニ之カ利益ヲ受ク  
 可キ權利ヲ有スル者アルコトハ實際上稀有ノ事跡ニ非ス例ハ余カ甲ト約スル  
 ニ此書籍ヲ丙ニ渡サンコトヲ以テシタリトセン乎其約束タル畢竟丙ノ利益ノ爲  
 メニ爲シタルモノニシテ之カ利益ヲ受クルモノハ取りモ直サス丙ナル第三者ナ  
 ルカ如シ又或ル場合ニハ他人カ現ニ實權ヲ有スル債權者ト爲リ當事者ハ全ク請  
 求權ヲ有セサルコトアリ例ヘハ白地ノ手形ヲ振出シタル場合ノ如シ蓋シ此場合  
 ニ於テハ手形面ニ當事者ノ氏名ヲ記載セサルカ故ニ何人ニテモ其手形ヲ讓受ケ  
 タル者ハ自己ノ氏名ヲ記入シ之ヲ持參シテ支拂ヲ受クルコトヲ得ヘシ即チ當事  
 者ハ何等ノ權利ヲ有セスシテ却テ他人カ其實權ヲ有スルモノナリト然レトモ此  
 點ニ關スルロエスレル氏ノ所論ハ謬妄ノ太甚シキモノト信ス何トナレハ他人カ  
 手形上ノ實權ヲ有スルハ自己ノ固有ノ權利ニ出ツルニ非スシテ一ニ當事者其人

ノ權利ヲ讓受ケタルニ續縁スルモノナレハナリ之ヲ要スルニロエスレル氏ハ商  
 法第六百二十八條ノ規定ヲ以テ商法草案第三百五十條ノ規定ニ胚胎スルモノナ  
 リト爲スニ在レトモ奈何セム既成法典ニ於テハロエスレル氏カ所謂商法第六百  
 二十八條ノ母ナリトセル草案第三百五十條ノ規定ヲ删除シ去リタルコトナ既ニ  
 其柯幹タル可キ規定ヲ删除シタリトセン乎之カ枝葉タル商法第六百二十八條ノ  
 規定モ亦删除シ去ル可キモノニハ非サル乎然ルニ事茲ニ出テス柯幹ナキニ特リ  
 其枝葉ヲ存セル以上ハ吾人法學者ノ任務トシテ夫ノ一般ノ法理上確定不動ナル  
 原則ヲ斟酌シテ解釋ヲ下シ以テ十中八九枯死ニ瀕スル斯枝葉ヲシテ一縷ノ命脈  
 ヲ保タシメサル可カラズ然ラハ第六百二十八條ノ法文ハ如何ナル意味ニ之ヲ解  
 釋スレハ可ナルヤト云フニ被保險者ハ自カラ委任セス又自カラ知ラサル者ノ締  
 結シタル契約ニ因テ羈束セラル可キノ謂ハレ秋毫モ之ナキカ故ニ被保險者ハ之  
 ヲ追認スルモ將ク之ヲ追認セサルモ素ヨリ其自由權内ニ在ル可キモノナレハ本  
 條ハ被保險者ヲ羈束スルコトヲ規定シタルモノニ非スシテ單ニ保險者ニ對シテ  
 ハ其契約有効ナリ從テ保險者ハ其契約ニ羈束セラル可ク決シテ自カラ其契約ヲ

批難スルヲ得ストノ法意ナリト解スレハ蓋シ正鵠ヲ得ルニ庶幾カラソ乎例ヘハ  
 甲カ乙ノ承諾ヲ得ヌ又委任ヲモ受ケヌシテ丙ナル保險者ト保險契約ヲ締結シタ  
 リトセンニ此場合ニ於テハ縱令甲カ丙ナル保險者ニ對シテ乙ナル被保險者ノ氏  
 名ヲモ明示セサリシトスルモ其保險契約ハ丙者ニ對シテ効力アルカ故ニ丙者ハ  
 自カラ其契約ヲ批難スルコトヲ得ヌ從テ又後日乙者カ其契約ヲ追認シタルトキ  
 ハ丙者ハ乙者ニ對シテ契約上ノ義務ヲ負擔セサル可カラサルナリ之ヲ要スルニ  
 第六百二十八條ハ保險者ヲ羈束スル規定ニシテ被保險者ヲ羈束スルノ規定ニ非  
 サルコトハ諸子ノ最モ注意ヲ要スル點ナリトス  
 右ハ專ラ第六百二十八條第一項ニ付テ論シタルモノナルカ又同條第二項ハ規定  
 シテ曰ク契約ニ依リテ他人ノ利益カ知レサルトキハ保險申込人ハ保險者ニ對シ  
 テ被保險者ト看做サルト既ニ第一項ニ付テ論スルノ際述ヘタルカ如ク第三者カ  
 代テ保險契約ヲ締結スル場合ニ於テモ必スシモ被保險者ヲ明示スルノ要ナシ從  
 テ被保險者ハ果シテ何人ナリヤ明了ナラサルコトアル可ク又縱令被保險者ノ何  
 人ナルヤハ明瞭ナルモ果シテ被保險利益ヲ有スルヤ否ヤ不分明ナルコトアル可

シ斯ノ如キ場合ニ於テハ其保險契約ハ無効ニ歸ス可キヤト云フニ決シテ然ラス  
 即チ此場合ニ於テハ保險申込人ヲ以テ被保險者ト看做ストハ第六百二十八條第  
 二項ノ明定スル所ナリ由是觀之本項モ亦保險者ニ對シテ設置シタル規則ニシテ  
 敢テ被保險者ヲ羈束スルモノニ非サルヤ明カナル可シ夫レ斯ノ如ク被保險者ノ  
 明カナラサルトキハ保險申込人ヲ以テ被保險者ト看做スモノナレハ若シ此場合  
 ニ於テ該保險申込人カ何等ノ被保險利益ヲモ有セサルトキハ其保險契約ハ保險  
 法ノ精神上當然無効タル可キハ敢テ余輩ノ喋々ヲ俟タサル所ナリ從テ又此場合  
 ニ於テ保險申込人カ保險者ニ對シテ賠償ヲ求ムルコトヲ得ル額ハ自己ノ有スル  
 被保險利益ヲ超過スルコトヲ得サルモノトス  
 次ニ又商法第六百四十四條ニ曰ク保險契約ハ各當事者ニ於テ仲買人ヲ以テモ之  
 ナ取結フコトヲ得ト茲ニ仲買人トハ當事者ノ代理人トシテ契約ヲ締結スルコト  
 ナ營業トセルモノヲ云フ抑モ保險ナルモノハ場合ニ依リテハ極メテ急速ヲ要ス  
 ルコトアリ又場合ニ依リテハ其保險金額非常ノ鉅額ニ昇リ一ニ保險會社ニ之カ  
 保險ヲ託スルモ果シテ能ク賠償ヲ爲ス力アルヤ否ヤ疑ハシキコトアリ故ニ歐

米各國ニ於テハ保險仲買人ナルモノアリテ他人ノ爲メニ保險契約ヲ取結フコト  
 ナ以テ自己ノ本業トシ專ラ急速圓滑安全ニ保險取引ヲ行フノ媒介ヲ爲セリ乍去  
 我商法ニ於テハ特ニ保險仲買人ニ關スル規定ヲ設置セサルカ故ニ勢ヒ普通ノ仲  
 買人ニ關スル規定ヲ適用セサルヲ得ス而シテ普通ノ仲買人ニ關スル規定ハ逐一  
 茲ニ説明スルノ違ナク又其必要ナシト雖モ今其保險ニ關スル重モナル原則ノミ  
 ナ一言セシニ元來仲買人ハ自己ノ名義ヲ以テ契約ヲ締結スルモノニシテ其相手  
 方ニ對シテハ本人ト看做サル、モノナリ從テ若シ仲買人カ被保險者ノ爲メニ保  
 險契約ヲ締結シタルトキハ其仲買人ハ自カラ被保險者本人トシテ保險者ニ對シ  
 保險料ヲ支拂フ可ク又之ト同一理ニ因リ損害アレハ自カラ本人トシテ保險者ニ  
 對シ賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ヘシ且又仲買人ハ辯護士カ訴訟當事者ノ依頼ヲ  
 受ケテ訴訟行爲ヲ爲スト均シク他人ノ依頼ニ依リ保險契約ヲ締結スルヲ常業ト  
 スル者ナレハ保險契約ヲ有効ナラシムル條件ノ如キハ能ク之ヲ熟知セルモノト  
 看做スコトヲ得ヘシ是故ニ他人ヨリ保險契約締結ノ依頼ヲ受クルニ方リ縱令詳  
 細ノ指圖ナシトスルモ其保險契約ヲ有効ナラシムル總テノ條件ヲ具備スル完全

ナル契約ヲ締結スルノ責任ヲ有ス從テ若シ此責任ヲ盡サ、ルトキハ依頼者ニ對シテ損害賠償ヲ爲サ、ル可カラサルモノトス

最後ニ商法第六百四十五條ハ規定シテ曰ク保險營業者ノ其取引場ヨリ他ノ地ニ置キタル代辦人又ハ外國保險營業者ノ内國ニ置キタル代辦人ハ被保險者ニ對シテ契約ノ取結陳述ノ承諾保險料ノ受取被保險額ノ支拂其他總テ保險者ノ代理ヲ爲ス權アリト看做ス但其代辦人カ被保險者ニ反對ヲ述ヘタルトキハ此限ニ在ラスト本條ハ讀下一番其意味ヲ理解スルコトヲ得ヘキカ故ニ敢テ説明ヲ試ムルノ要ナシ畢竟スルニ斯ル規定ヲ設ケサルトキハ當事者間ニ在リテ困難ナル問題ヲ惹起スルコト屢次ナル可キヲ以テ前記ノ如キ事項ハ代辦人代リテ之ヲ爲スノ權アルモノトシ以テ爭案ヲ未然ニ防キタルモノナリ

第五章 危險(Risk)

第一節 危險ノ性質

我商法第六百二十六條ハ保險スルコトヲ得ヘキ危險ニ付テ規定セルモノナリ同條ニ曰ク保險スルコトヲ得ヘキ危險ハ主トシテ火災地震暴風雨其他ノ天災陸海

危險ノ性質

運送ノ危險死亡及ヒ身體上ノ災害ナリ然レトモ其他ノ危險ニ對スル保險ハ此カ爲メニ妨ケラル、コト無シト蓋シ火災及ヒ地震ハ多クハ建物貨物其他ノ諸道具ニ對スル危險ニシテ暴風雨ハ專ラ農產物及ヒ建物等ニ對スル危險ナリ又其他ノ天災トハ素ヨリ廣汎ナル意味ヲ有スルモノニシテ旱魃雹害其他總テ人爲ヨリ生セサル災害即チ英法ニ所謂天帝ノ所爲ヨリ生スル災害ヲ云ヒ又陸海運送ノ危險トハ運送中ノ物品ニ對シテ生スルコトアル可キ總テノ災害ヲ云フ例ヘハ火災盜難暴風雨等ノ如シ且陸上運送ノ中ニハ陸内ノ水上即チ河川堀割其他湖水等ノ運送ヲ包含ス又死亡及ヒ身體上ノ災害トハ死亡其他總テ疾病及ヒ創傷ヲ意味ス凡ソ此等ノ危險タルヤ法文上既ニ明カナルカ如ク單ニ普通人ノ保險ニ付ス可キ危險ノ重モナルモノヲ掲ケタルニ過キス從テ此他ノ危險ト雖モ素ヨリ之ヲ保險ニ付スルニ於テ些ノ妨ケナシ乍去保險ニ付スルコトヲ得ル危險タルニハ必スヤ左ノ條件ヲ具備セサル可カラズ

(第一) 被保險者ノ身體又ハ財産ニ對シテ損害ヲ及ホス可キモノナラサル可カラズ

(第二) 其發生ノ確定セサルカ又ハ豫知シ得ヘカラサルモノナラサル可カラス  
 (第三) 被保險者ノ故意ノ所爲ニ基カサルモノナラサル可カラス 被保險者ノ故  
 意ニ基ク危險ハ縱令特約ヲ以テ保險ニ付スルモ法律上何等ノ効力ナシ  
 以上ノ三條件ヲ具備スルニ非スンハ保險ヲ以テ保護ス可キ危險タル能ハス而シ  
 テ保險ナルモノハ大率統計上ノ調査ヲ經タル危險ニ關スルニ非サレハ實際之ヲ  
 取結ヒ得ヘキモノニ非ス何トナレハ苟モ統計上ノ調査ヲ經サル以上ハ保險料ノ  
 割合ヲ定ムルコトヲ得ス既ニ保險料ノ割合ヲ定ムルコト能ハサラン乎保險契約  
 ヲ取結フノ方法ナケレハナリ若シ夫レ今日日本邦ニ於テ火災保險事業ニ就キ大ニ  
 困難ヲ感スル所以ノモノハ究竟未タ火災ニ關スル確實ナル統計上ノ調査ヲ得ル  
 コト能ハサルニ職由セスシハ非サルナリ

危險ノ範圍

第二節 危險ノ範圍

危險ハ何時ヨリ始リ何時ニ終ルモノナルヤ即チ保險ノ擔保スル危險ハ何時ヨリ  
 始リ何時ニ終ルモノナルヤハ保險法上極メテ重要ナル問題ナリ何トナレハ未タ  
 危險ノ開始セサル以前又ハ既ニ危險ノ終了シタル以後ニ於テ被保險物ニ損失ヲ

醸スコトアルモ保險者ハ之ヲ賠償スルノ義務ヲキモノナレハナリ而シテ此點ニ  
 關スル詳細ナルコトハ各保險ノ下ニ於テ之ヲ論述ス可キカ故ニ茲ニハ唯一般ノ  
 原則ノミヲ講述センニ凡ソ多クノ場合ニ於テハ當事者カ契約締結ノ當時明カニ  
 其危險ノ繼續期間ヲ定ムルヲ常トス然レトモ若シ特ニ此繼續期間ヲ定メサリシ  
 トキハ如何ト云フニ勿論契約當時ノ狀況及ヒ其契約ノ性質ヨリシテ其繼續期間  
 ヲ定ム可キモノニシテ湊合一括之カ定則ヲ掲グルコト能ハス乍去通例ハ其契約  
 ヲ締結シタル時ヨリ危險開始スルモノト爲ス尤モ反對ノ意思又ハ狀況ノ存スル  
 コト明カナルトキハ素ヨリ此限ニ在ラス加之當事者ハ又明約ヲ以テスルトキハ  
 保險シタル危險ノ開始ヲ契約以前ニ溯ラシムルコトヲ得ヘシ例ヘハ今日保險契  
 約ヲ締結シタルニモ拘ハラヌ其効力チ一ヶ月以前ニ溯ラシムルコトヲ得ルカ如  
 シ蓋シ斯ノ如キ特約ハ海上保險ノ場合ニ於テ屢其例ヲ見ル所ナリ而シテ斯ル場  
 合ニ於テハ契約ノ當時當事者雙方カ既ニ危險ノ發生シタルヤ否ヤヲ毫モ知了セ  
 サルコトヲ要ス否ラヌンハ其特約ノ効力ナシ是レ我商法第六百三十六條ノ規定  
 アル所以ナリ

借又危険ノ始終ニ關スル法律上ノ規定ハ極メテ簡單ナルモノナリ即チ一言以蔽之當事者ノ意思ニ基テ之ヲ決定ス可シト云フニ在リ乍去此原則ヲ實際ノ場合ニ適用スルニ方リテハ大ニ困難ヲ感セスハ非ス今例チ火災保險ノ場合ニ取ランニ若シ其保險ニ付シタル危険ノ繼續期間中ニ火ヲ發シ漸次其火勢増加シテ遂ニ其期間經過後ニ至リ家屋ノ全體燒失シタリトセン乎保險者ノ責任ヲ定ムルコト蓋シ容易ノ業ニ非ス我邦ニ於テハ此點ニ關シ未タ判決例ナキカ故ニ今之ヲ英國ノ判決例ニ徵スルニ或ル判決例ニ於テ判事アローゼット氏説明シテ曰ク斯ル場合ニ於テハ火災ノ發生シタル時ヲ以テ既ニ損害ヲ生シタルモノト認メサル可カラズ故ニ保險者ハ之ヲ賠償スルノ責任ヲ免カル、コトヲ得スト其意惟フニ火災ノ起リタルハ期間内ニシテ其家屋ノ燒失セルハ火災自然ノ結果ナリ從テ法律上其損害ハ火災ノ起リタル時既ニ生シタルモノト看做ス可シト云フニ在リ然リト雖モ此論鋒ヲ以テ直チニ百般ノ場合ニ適用スルコトヲ得ス例ニハ生命保險ノ場合ニ於テ豫シメ保險期間ヲ定メ置キタルニ偶々其期間ノ經過セシトスル前數日被保險者カ生命ニ關スル重傷ヲ蒙リ遂ニ數十日ヲ隔テ、其傷痕ノ爲メ不歸ノ客

ト爲リタリトセン乎保險者ハ保險金ノ支拂ヲ爲サ、ル可カラサルヤト云フニ強チ然リト答フルコト能ハサル可シ尙ホ此點ニ關スル詳細ハ生命保險ノ部ニ於テ論述ス可シト雖モ要スルニ保險者ニ賠償ノ責任アルヤ否ヤハ其損害ハ果シテ保險期間中ニ起生シタルモノト見做スコトヲ得ルヤ否ヤノ點ヲ決スルニ因テ定マシル可キ問案ナリ即チ其損害ニシテ若シ保險期間中ニ起生シタルモノト見做スコトヲ得ヘシトセン乎保險者ハ賠償ノ責任ヲ負擔ス可シ之ニ反シ其損害ニシテ若シ保險期間中ニ起生シタルモノト見做スコトヲ得ストセン乎保險者ハ賠償ノ責任ヲ負擔セサルナリ

次ニ商法第六百二十六條第三項ノ規定ニ付テ一言センニ本項ハ保險料支拂期間内ニ數回危険ヲ生シタル場合ニハ保險ノ効力ハ其全部ニ及フモノナルコトヲ規定シタルモノナリ例ヘハ余ノ所有ニ屬スル家屋ヲ二ケ年間一ケ年毎ニ百圓宛ノ保險料ヲ支拂フ約束ニテ保險ニ付シタリトセンニ此場合ニ於テハ一ケ年ノ期間ハ即チ保險料支拂期間ナリ而シテ余ノ家屋カ其第一ノ期間内ニ數回火災ニ罹リ其都度損害ヲ蒙リタリトセン乎保險者ハ余ニ對シテ其數回分ニ對スル損害ヲ賠

償セサル可カラサル責任アルモノトス但茲ニ注意ス可キハ若シ第一回ノ火災ノ爲メニ余ノ家屋全部焼失セルトキハ保險契約ハ之ト共ニ消滅スルカ故ニ縱令其後再ヒ火災ニ罹ルコトアルモ保險者ヲシテ其損害ヲ賠償セシムルコトヲ得サルノ點ニ在リ而シテ又數回危險起リ其都度損害ヲ生スルトキハ保險者ヲシテ其全部ヲ賠償セシムルコトヲ得ヘシト言フト雖モ而モ保險者ハ被保險額ヲ超過シテ之カ賠償ヲ爲スノ責任ナキモノトス

尙ホ茲ニ一言ス可キハ前顯第六百二十六條第三項ニ保險料支拂期間トアルハ大ニ穩當ヲ欠クモノナレハ之ヲ保險期間ト解ス可キコト是ナリ元來嚴正ニ論スルトキハ保險料支拂期間トハ全ク相異ナレルモノナリ即チ保險期間ハ一ケ年ナリトスルモ保險料支拂期間ハ或ハ之ヲ四期ニ分ツコトアル可ク或ハ之ヲ二期ニ分ツコトアル可ク又或ハ之ヲ一ケ月ト爲スコトアル可ク故ニ若シ此法文ヲ其字句通りニ解釋セン乎夫ノ一ケ年間家屋ヲ保險ニ付シタルモ保險料ハ毎月之ヲ支拂フ可キモノト定メタル場合ニ在リテハ保險者ハ唯其一ケ月内ニ起生スル危險ニ付テノミ賠償ノ責任アルニ過キサルモノト云ハサル可カラサル可シ

然リト雖モ學理上ヨリ論スルトキハ既ニ一ケ年ヲ以テ保險期間ト定メタル以上ハ該期間内ニ起生スル危險ニ付テハ保險者ハ總テ擔保ノ義務アリト斷言セサルヲ得ス知ル可シ一ケ月ノ保險料支拂期間ニ對スル危險ニ付テノミ擔保ノ義務アリトスルハ不條理ノ極ナルコトヲ惟フニ立法者ハ一ノ保險期間ト書ス可キヲ誤テ保險料支拂期間ト記載シタルモノナル可シ故ニ余ハ立法者ノ精神ヲ汲ミ敢テ保險料支拂期間ナル文字ヲ一ノ保險期間ト解釋セント欲ス一見鹿ヲ目シテ馬ト稱スルノ觀アリト雖モ事實ニ已ムヲ得サルナリ

借又被保險物ノ所在ヲ定ムルコトモ亦危險ノ範圍ヲ定ムルノ上ニ於テ極メテ緊切ナルモノナリ例ヘハ一定ノ家屋内ニ存在スル物件ヲ火災保險ニ付シタル場合ニ於テ若シ其物件ヲ他ノ場所ニ移轉シ且其場所ニ於テ火災ノ爲メ燒失シタリト假定セン乎保險者ハ素ヨリ之ヲ賠償スルノ義務ナシ何トナレハ保險者ハ單ニ一定ノ場所ニ於ケル危險ヲ擔保セルニ過キサレハナリ故ニ一般ニ之ヲ論スルトキハ保險ニ因テ擔保セラル、モノハ其保險契約締結ノ當時被保險物ノ現存セル場所ニ於ケル危險ノミニ止マルモノト斷定スルヲ得ヘシ然レトモ是唯一般ノ原則

而已若シ夫レ契約締結當時ノ狀況ヨリ觀察ナ下シ其物ヲ移轉シタル場合ニ於テハ後ノ場所ニ於ケル危險モ亦保險者之ヲ擔保スルノ趣旨ナリシト看做スコトヲ得ル場合ナラン乎此原則ノ例外タルヤ素ヨリ暇々ヲ俟タサルナリ例ヘハ夫ノ運送物ヲ保險ニ付シタル場合ノ如キ其物件ノ各地ニ轉輾スルコトハ當事者雙方ノ豫期セル所ナレハ縱令其物件カ一ノ場所ヨリ他ノ場所ニ移轉スルモ保險者ハ擔保ノ責任ヲ免脱スルコト能ハサルヤ明々白々タリ又貸本ヲ營業トセル者カ其書冊ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テモ亦保險者ハ必スシモ其被保險物カ一定ノ場所ニ存在スルコトヲ條件ト爲サ、リシモノト看做シ得ルコトアル可シ之ヲ要スルニ危險ノ範圍ナルモノハ保險契約ノ性質及ヒ該契約締結當時ノ狀況ヨリ當事者ノ意思ヲ推敵シテ之ヲ定ム可キモノトス然ラハ此方法ニ依ルモ當事者ノ意思ヲ推測シ得サルトキハ如何詳言セハ危險ノ範圍ハ單ニ契約締結ノ當時被保險物ノ存在セル場所ノミニ止マルモノナル乎將タ他ノ場所ニモ及フモノナル乎ニ付テ疑ノ存スルトキハ如何ニ之ヲ決定ス可キモノナルヤト云フニ我既成法典及ヒ佛蘭西法典ノ採用セル原則ニ依レハ義務者ノ利益ニ解釋ス可キモノトセリ然ラハ

保險ノ場合ニ於テハ素ヨリ保險者カ義務者ナルヲ以テ總テ保險者ノ利益ニ解釋ス可キコト、爲ル然レトモ英米ノ解釋法ハ大ニ之ト其趣ヲ異ニスルモノアリ即チ英米法ノ規定ニ依レハ契約證書ハ之ヲ認メタル者即チ差入人ノ不利益ニ解釋ス可キモノナリト云フヲ以テ原則トス然ラハ則チ保險證券ハ保險者之ヲ認メテ被保險者ニ交付スルモノナレハ該證券ニ付テ疑義アル場合ニハ保險者ノ不利益反言セハ被保險者ノ利益ニ解釋ス可キコト、爲ル知ル可シ英米法ト我既成法典及ヒ佛國法典トハ此點ニ關シテ正反對ノ規則ヲ採用スルモノナルコトヲ若シ夫レ此兩法ノ是非得失ノ如キハ諸子自カラ之ヲ研究シテ可ナリ

保險料

第六章 保險料 (Premium)

元來保險契約ナルモノハ被保險者ニ於テハ保險料支拂ノ約束ヲ爲シ保險者ニ於テハ損失賠償ノ約束ヲ爲スモノニシテ此二個ノ約束ハ相互ニ他ノ約束ノ原因ト爲リ茲ニ始メテ保險契約ノ成立ヲ見ル是故ニ保險料ハ保險者カ危險ヲ擔保スル所ノ報償ト爲リ又保險者カ危險ヲ擔保スルハ保險料ニ對スル報償ナリ從テ被保險者ニシテ若シ保險料ヲ支拂ハサルトキハ保險者ハ損失ヲ賠償スルノ義務ヲ有



セス又保險者ニシテ危險ヲ擔保セサルトキハ被保險者ハ保險料ヲ支拂フノ義務ナシ要スルニ此二ツノモノハ相竣テ保險契約ヲ成立セシムルモノナリ現ニ我商法ニ於テモ亦被保險者ニ於テ約束ニ背キ保險料ヲ支拂ハサルトキハ保險者ハ其契約ニ羈束セラル、コトナキ旨ヲ規定セリ是レ一ニ右ニ述ヘタル理由ニ職由セズハ非ス而シテ保險者ハ管ニ被保險者カ保險料ヲ支拂ハサル場合ノミナラス被保險者カ其支拂ヲ延滞シタル場合ニ於テモ尙ホ且其契約ニ羈束セラル、モノニ非ス但保險料支拂ノ延滞ト認ムルニハ必スヤ先ツ保險者ニ於テ受取證書ヲ以テ催促ヲ爲サ、ル可カラス若シ此催促ヲ爲サ、ルトキハ縱令被保險者カ期日ニ於テ支拂ヲ爲サ、ルコトアルモ決シテ法律上ノ延滞ト看做スコト能ハス然レトモ特約ヲ以テ催促ヲ爲サ、ルモ期日ニ支拂ハサルトキハ延滞ト看做ス可キコトヲ約束シタル場合ニ於テハ素ヨリ一應ノ催促ヲ爲スノ必要ナシ又保險者カ保險料支拂ノ猶豫ヲ承諾シタル場合ニハ明示ナルト默示ナルトヲ問ハス均シク有効ナル猶豫ヲ與ヘタルモノト見做スカ故ニ縱令被保險者カ最初ノ期日ニ支拂ヲ爲サ、ルモ素ヨリ延滞ト看做スコトヲ得ス蓋シ此等ノ事項ハ寔ニ自明當然ノ理ニシ

テ敢テ法文ヲ竣テ後知ル所ニ非ス然ルニ我商法第六百五十四條ニ於テハ明カニ此事ヲ規定セリ蓋シ蛇足ヲ法文タルノ譏ヲ免カレサルモノナラム本邦ニ於テハ保險料支拂ニ關スル慣習未ダ發生スルニ至ラス然レトモ歐米諸國ニ於テハ確定シタル慣例アリ從テ果シテ保險料ノ延滞ナルヤ否ヤヲ見ルニハ此慣例ヲ調査セサル可カラス今歐米ノ慣例ニ依レハ保險契約ハ多クハ保險仲立人ト保險者トノ間ニ於テ之ヲ締結スルヲ通例トス而シテ此場合ニ於テハ通常保險料ヲ帳簿ニ記入シ之ヲ保險仲立人ノ負債ト爲ス斯ノ如クニシテ之ヲ支拂フニ付テハ二個ノ方法アリ現金拂及ヒ延金拂是ナリ但現金拂ト稱スルモ直チニ支拂ヲ爲スモノニ非スシテ毎月末ニ支拂ヲ爲スモノナリ又延金拂トハ毎年末ニ支拂ヲ爲スモノヲ云フ以是乎英米ニ於テ保險仲立人ト保險者トカ保險契約ヲ取結ヒタル場合ニ於テハ月末若クハ年末ニ至ラサレハ保險料支拂ノ義務ヲ生セサルモノトス

抑モ保險料ノ性質タル以上講述セル如ク損失ノ擔保ニ對スル報償ナルカ故ニ被保險者ニ於テ保險料ヲ支拂フ可キ義務ノ範圍ハ保險者カ危險ヲ擔保スル責任ノ

多寡ニ應シテ定マルモノニシテ保險者ノ擔保スル危險大ナルトキハ之カ報償タル保險料モ亦從テ大ナラサルヲ得ス之ニ反シテ保險者ノ擔保スル危險小ナルトキハ之カ報償タル保險料モ亦從テ小ナラサルヲ得ス一言以蔽之保險料ハ保險者ノ負擔スル危險ニ相應スルモノナリ是故ニ保險者ノ擔保セル危險ニシテ全ク發生セサルトキハ被保險者ハ其シモ保險料ヲ支拂フノ義務ナシ若シ又保險者ノ擔保セル危險ニシテ減少セルトキハ保險料モ亦之ニ從テ減少ス可キナリ例ヘハ東京ヨリ香港ヲ經テ佛蘭西馬耳塞迄ノ航海ヲ保險ニ付シタルモ後故アリ全ク其航海ヲ中止シタルトキハ保險者ノ擔保セル危險全然發生セサルモノナルカ故ニ被保險者ハ保險料ヲ支拂フノ義務ナク又既ニ支拂ヒ了リタリシトキハ之ヲ取戻スコトヲ得ヘシ又東京ヨリ香港迄ノ航海ヲ千圓香港ヨリ馬耳塞迄ノ航海ヲ二千圓ノ保險料ニテ保險ニ付シタルモ香港迄ニテ其航海ヲ中止シタルトキハ香港ト馬耳塞間ノ危險ハ全ク發生セサルモノナルカ故ニ被保險者ハ之ニ對スル保險料ヲ支拂フノ義務ナキモノトス

以上述ヘタル所ハ一般ノ原則ナルカ此原則ヲ適用スルニ付テハ我法律上多少ノ

制限ナキニ非ス左ニ之ヲ論述セム

(第一) 危險ノ發生セサルハ被保險者ノ過失ニ基カサルコトヲ要ス若シ夫レ被保險者カ自己ノ過失ニ因テ航海ヲ中止シタル乎其他凡テ自己ノ過失ニ因テ危險ノ發生セサルモノナルトキハ保險料ヲ支拂フノ義務アリ即チ保險料ヲ支拂フニ及ハサルハ被保險者ノ過失ニ非スシテ危險ノ發生セサル場合ニ限定セラレ、モノトス此點ハ英米ノ法律ト大ニ其趣ヲ異ニスル所ナリ即チ英米法ニ於テハ斯ノ如キ制限ナク苟モ被保險者ニ惡意若クハ詐欺ナクシテ危險ノ發生セサル場合ニ於テハ被保險者ハ保險契約ニ羈束セラレ、コトナシ尤モ此點ニ付テハ學者間ニ大ニ議論ノ存スル所ニシテ現ニ伊太利ノ學者ハ當事者自身ノ過失ニ因テ危險ノ發生セサル場合ニ於テ自カラ其契約ノ羈束ヲ免カル可カラサルコトハ契約法ノ原則ニ照シテ明瞭ナル所ナリト云ヘリ然レトモ英米法律學者ノ所說ニ依レハ保險法ナルモノハ素ト商業上ノ必要ヨリ自然ニ發達セルモノナルカ故ニ普通契約法ノ原則ヲ適用ス可キモノニ非ス且一度航海ヲ決心スルモ或ハ之ヲ中止スルノ利益ナルコトヲ發見スル場合勘シトセス然ルニ既ニ保

險契約ヲ取結ヒタルカ爲メニ其航海ヲ中止スルコトヲ得ス若シ之ヲ中止スル  
トキハ保險料ヲ損失セサル可カラストセン乎一般貿易ノ進歩ヲ阻攔スルヤ甚  
少ナラス是故ニ普通契約法ノ原則ハ之ヲ保險法ニ適用ス可キモノニ非スト爲  
セリ蓋シ一理アルノ説ト云フ可シ

(第二) 慣習上保險者ノ受取ル可キモノハ保險者ニ對シテ之ヲ支拂ハサル可カラ  
ス今日我國ニ於テ保險者ノ受取ル可キ慣習存スルモノアル乎ト云フニ未タ其  
存在アルヲ聞カス然レトモ歐米諸國ノ慣習ニ依レハ危險ノ發生セサルカ爲メ  
保險契約ノ無効ニ歸スル場合ニハ保險者ハ保險料ノ幾割ヲ領收スルコトヲ得  
ヘキモノトセリ從テ保險者ハ既ニ受取リタル保險料ノ中其割合ヲ控除シ其殘  
額ヲ被保險者ニ交付ス可キモノトス乍併此規定ヲ適用スルノ範圍ニ付テハ學  
者間ニ種々ノ説アリ佛蘭西學者ボチエー氏曰ク此規定ヲ適用スル場合ハ被保  
險者ノ所爲ヨリシテ保險契約無効ト爲ルカ又ハ解除セラル、場合ニ限ルモノ  
トス若シ第三者或ハ天帝ノ所爲ヨリシテ保險契約無効ト爲ルカ又ハ解除セラ  
ル、場合ニハ保險者ハ其割合ヲ控除スルコトヲ得スト要ハ被保險者ノ所爲ヨ

リシテ契約無効ト爲ルカ又ハ解除セラル、場合ニ限リ控除セラル、ハ被保險  
者ノ所爲ヲ所罰スルノ趣旨ニ出テタルモノナリト云フニ在リ然ルニ又佛蘭西  
學者エメリゴン氏及ヒボリーパーチー氏ハ大ニボチエー氏ノ説ヲ攻撃シテ曰  
クボチエー氏ノ説ハ要スルニ古來ノ法律ヲ改正スルノ説ニシテ決シテ古來ノ  
法律ヲ説明スルモノニ非ス古來ノ法律ハ何レノ場合ニ於テモ保險者ヲシテ之  
ヲ控除セシムルモノナリト蓋シボチエー氏ノ説ハ道理上ヨリ論スレハ至當ナ  
ルヤ未タ知ル可カラスト雖モ今日歐米ニ於ケル實際ノ慣例如何ト顧ミレハ決  
シテボチエー氏ノ説ノ如クナラサルナリ

以上ノ原則ハ管ニ危險ノ發生セサル場合ニ適用スルノミナラス被保險者ノ過失  
ナクシテ保險契約ノ無効ト爲リタル場合ニ於テモ總テ此原則ヲ適用スルコトヲ  
得ヘシ而シテ危險ノ全ク發生セサル場合ニ對シ此原則ヲ適用スルニ付テハ別ニ  
困難ヲ感セスト雖モ危險ノ減少セル場合ニ對シテハ此原則ノ適用上尠シク困難  
ヲ感セサルヲ得ス今其場合ニ付テ畧述スル所アラシニ此危險ハ或ハ時間ニ於テ  
減少スルコトアリ又其分量ニ於テ減少スルコトアリ例ヘハ三ヶ年間家屋ヲ保險

ニ付シタルニ僅ニ一今年目ニシテ保險ニ付シタル危險以外ノ災厄ニ依リ其家屋消滅セルトキハ保險ニ付シタル危險ハ即チ時間ニ於テ減少セルモノナリ又商品一萬個ヲ保險ニ付シタルモ其商品ノ實數五千個ニ過キサリシトキハ保險ニ付シタル危險ハ即チ分量ニ於テ減少セルモノナリ而シテ這般ノ場合ニ於テハ被保險者ハ其危險減少ノ程度ニ應シテ保險料ヲ支拂フノ義務アルニ止ルモノトス即チ前例ノ家屋ニ在リテハ一今年分ノ保險料又商品ノ場合ニ在リテハ五千個ニ對スル保險料ヲ支拂ヘハ可ナルモノトス夫レ然リト雖モ此規則ヲ適用スルニ付テハ保險料ヲ分割シ得ル場合ト之ヲ分割シ得サル場合トニ區別シテ論セサル可カラス

(第一) 保險料ヲ分割シ得サル場合

保險料ヲ分割シ得サル場合ニ於テハ縱令保險ニ付シタル危險減少スルモ被保險者ハ保險料ノ全額ヲ支拂ハサル可カラス例ヘハ東京ヨリ香港ヲ經テ佛蘭西馬耳塞ニ至ル迄ノ航海ヲ保險ニ付スルニ當リ其保險料ヲ三千圓ト約定シタル場合ニ於テハ縱令香港ニ至リタル時其航海ヲ中止スルモ被保險者ハ保險料ノ

全額即チ三千圓ヲ支拂ハサル可カラサルカ如シ蓋シ實際危險ノ減少シタル程度ヲ見ルニ香港馬耳塞間ノ航海ハ之ヲ東京香港間ノ航海ニ比スレハ其危險極メテ大ナルカ故ニ香港ニ於テ其航海ヲ中止スルトキハ其危險ノ度ニ於テ甚クトモ三分二ヲ減少スルモノト謂フ可シ然レトモ前例ニ於ケル契約ノ旨趣ハ素ト東京ヨリ香港迄ノ保險料何程又香港ヨリ馬耳塞迄ノ保險料何程ト定メテ約束シタルモノニ非スシテ全ク東京ヨリ馬耳塞迄ノ航海ヲ一圓トシテ取結ヒタルモノナレハ其保險料ハ危險ノ減少ニ應シテ之ヲ分割スルコトヲ許容ス可キモノニ非ス從テ被保險者ハ保險料ノ全部ヲ支拂ハサル可カラサルナリ而シテ如何ナル保險料ハ之ヲ分割シ得ルヤ否ヤ又如何ナル危險ハ之ヲ分割シ得ルヤ否ヤハ一ニ契約ノ趣旨ニ從テ之ヲ判斷セサル可カラス尤モ場合ニ依リテハ之ヲ判斷スルコト太甚困難ナルコトアル可シ英米ニ於テハ性質上分割シ得サルモノニテモ商業慣習上其分割ヲ認ムルモノアリ斯ル場合ニ於テハ其慣習ニ依リテ之カ分割ヲ許容スルモノトス

(第二) 保險料ヲ分割シ得ル場合

保險料ヲ分割シ得ル場合ニハ素ヨリ危險減少ノ程度ニ從ヒ保險料ヲ減少シテ支拂フコトヲ得ヘシ例ヘハ一个年ノ保險料ヲ五十圓ト定メ三个年間火災保險ノ契約ヲ取結ヒタル場合ニ於テハ該保險料ハ一个年毎ニ之ヲ分割スルコトヲ得ヘシ從テ第一年目ニ其危險消滅セルトキハ被保險者ハ單ニ一个年分ノ保險料ヲ支拂ヘハ可ナルモノニシテ決シテ三个年分ノ保險料全部ヲ支拂フノ義務ナシ然レトモ此場合ニ於テハ唯一個年毎ニ之ヲ分割スルコトヲ得ルノミニテ一个月毎ニ之ヲ分割スルコトヲ得ルニ非ス從テ五十圓ノ保險料ヲ十二个月ニ分割シ其一个月毎ノ割合ニ從テ之ヲ支拂フコトヲ得ス蓋シ右ノ場合ニ於テハ單ニ一个年間ノ保險料ヲ五十圓ト定メタルニ過キスシテ決シテ一个月毎ノ保險料ヲ五十圓ノ十二分一ト定メタルニ非ス且又當事者ノ意思ヲ推敲スルモ冬時ニ至レハ火災ノ危險多ク之ニ反シテ夏時ニ在リテハ其危險少キカ故ニ決シテ五十圓ノ十二分一ヲ以テ毎月ノ保險料ト爲スノ契約ヲ締結シタルモノニ非サルヤ明々白々タリ知ル可シ該保險料ヲ一个月毎ニ分割ス可カラサルコトヲ然ルニ此點ニ關シ我商法ノ規定上特ニ研究ヲ要スルモノアリ第六百五十五條

第一項末段及ヒ第二項即チ是ナリ其規定ニ曰ク危險ノ減少又ハ其期間ノ短縮ノ爲メ保險料ヲ分割スルコトヲ得ルハ保險料支拂期間二回以上ノ保險料ヲ前拂シタルトキニ限ル保險料支拂期間ハ一个年タルヲ通例トスト此規定ハ其法意精神ノ存スル所太甚明瞭ナラス今夫レ正面上ヨリ之ヲ解釋セシ乎危險ノ減少又ハ期間ノ短縮ノ爲メ保險料ヲ分割スルコトヲ得ルハ既ニ保險料支拂期間二回以上ノ保險料ヲ前拂シタルトキノミニ限リ苟モ之ヲ前拂セサル以上ハ其分割ヲ許サ、ルモノト論定セサル可カラス而シテ此規定ハ性質上保險料ヲ分割シ得ル場合ト否ラサル場合トヲ問ハス均シク適用ス可キモノナル乎又此規定ヲ設ケタルノ理由ハ那邊ニ在ル乎將タ又斯ル規定ヲ設クルハ允當ナルヤ否ヤノ點ニ付テハ大ニ疑團ナシハ非ス以下勘シシ卑見ヲ陳センニ抑モ何カ故ニ保險料ヲ分割スルニハ支拂期間二回以上ノ保險料ヲ前拂セサル可ラサルヤ余輩其理由ヲ發見スルニ苦ム今假リニ法文ノ字句通リニ解ストセン乎例ヘハ一个年間五十圓ノ保險料ニテ四期拂フ約束ヲ以テ保險契約ヲ取結ヒタリトシ而シテ二回以上即チ春夏二期ノ保險料ヲ前拂シタリトスレハ右ノ明文ニ依リ

保険料ヲ分割スルコトヲ得ヘシ即チ若シ第一期(春期)ニ於テ其危険全ク消滅シ  
 タリトスルトキハ被保険者ハ既ニ前拂セル第二期(夏期)ノ保険料ヲ取戻シ且第  
 三期及ヒ第四期即チ秋冬二期ノ保険料支拂ノ義務ヲ免カル、コトヲ得ヘシ然  
 レトモ之ニ反シテ勘シモ保険料ヲ前拂セストセシ乎素ヨリ前顯法文ニ依リ保  
 險料ヲ分割スルヲ得サルモノナレハ縱令第一期ニ於テ危険全ク消滅スルモ被  
 保險者ハ保險料ノ全額即チ五十圓ヲ支拂ハサル可カラサル結果ト爲ル何カ故  
 ニ前拂ノ有無ハ保險料ノ分割ニ關係ヲ有スル乎何カ故ニ支拂期間ハ保險料ノ  
 分割ニ關係ヲ有スル乎余輩其理由ノ根據スル所ナキヲ痛惜セサルヲ得ス元來  
 保險料ノ支拂期間ナルモノハ單ニ當事者カ支拂ノ便宜ヲ慮リテ定メタルモノ  
 ニ過キス焉ソノ危険ノ多寡ニ關係ヲ有セシヤ乃チ知ル一个年ノ保險料ヲ五十  
 圓ト定メ而シテ其支拂期間ヲ定メヌ又ハ之ヲ定ムルモ其支拂期間二回以上ノ  
 保險料ヲ前拂スルニ非サレハ保險料ヲ分割スルヲ得スト云フカ如キハ毫モ理  
 由ノ見ル可キモノナキヲ試ミニ草案ヲ閱スルニ大ニ既成法典ト異ナレリ即チ  
 草案ニ於テハ保險期間ニ依テ保險料ヲ分割シ得ヘキヤ否ヤヲ定メタリ余輩ノ

管見ニ依レハ既ニ前ニ述ヘタルコトアルカ如ク支拂期間トハ當事者カ便宜上  
 定メタル保險料ノ支拂期間ヲ指稱スルニ非スシテ實ニ保險期間ヲ指稱スルモ  
 ノト解釋セサル可カラスト信ス即チ毎年五十圓宛ノ保險料ヲ以テ三个年間ノ  
 保險契約ヲ取結ヒタリトスレハ其毎年ハ取りモ直サス五十圓ノ保險料ニ對ス  
 ル保險期間タリ夫ノ法文ニ所謂支拂期間トハ是レ之ヲ云フモノニシテ單ニ保  
 險料ヲ支拂フ所ノ期限ヲ云フモノニ非ス而シテ此保險期間ナルモノハ通常特  
 別ノ約束ナキ以上ハ一个年ト爲スモノナリ從テ一个年五十圓ニテ保險契約ヲ  
 取結フト云フトキハ其保險期間ハ一个年タリ然ルニ前例三个年間ノ保險契約  
 ヲ取結フ場合ニ於テ漫然之ヲ見ルトキハ恰モ三个年ハ即チ保險期間ナルノ概  
 アルヲ以テ立法者ハ其獨特ノ老婆心ニ襲ハレ特ニ支拂期間ナル言辭ヲ設ケ以  
 テ一个年ノ保險期間ヲ意味センコトヲ計圖セリ然レトモ奈何セム支拂期間ト  
 保險期間トハ非常ナル差異アルコトヲ夫ノ一个年五十圓ノ保險料ニテ三个年  
 間ノ保險契約ヲ取結ヒタル場合ニ於テハ其一个年ハ必スシモ支拂期間ニ非ス  
 即チ保險料ヲ支拂フノ期間ハ或ハ四期ト爲シ或ハ月毎ト定ムルコトアル可シ

論シテ茲ニ至ラハ立法者ノ老婆心ハ偶々以テ人民ノ誤リヲ湧起スルモノナルヲ知ルニ足ル之ヲ要スルニ法文ニ所謂支拂期間ナルモノハ之ヲ保險期間ト解釋セサル可カラサルモノトス

### 第七章 重複保險不足保險及ヒ超過保險

#### 第一節 重複保險

重複保險トハ同一ナル被保險利益ニ付キ三人以上ノ保險者ト各別ニ締結スル保險ヲ云フ此種ノ保險ハ素ヨリ同時ニ之ヲ締結スルコトヲ得ヘシ又時ヲ異ニシテ之ヲ締結スルコトヲ得ヘシ而シテ重複保險ノ結果ハ恰モ保險者ノ辨濟能力ヲ保險ニ付スルト同一ノ効力ヲ生スルモノナリ從テ保險金額非常ニ多額ニシテ僅々一二ノ保險者ニ於テハ果シテ之ヲ辨償スルコトヲ得ルヤ否ヤ疑ハシキ場合ニ於テハ數人ノ保險者ト同一ノ被保險物ニ付キ保險契約ヲ締結スルコト即チ重複保險ノ方法ヲ採用スルハ大ニ必要ナルモノト本然レトモ重複保險ニ在リテハ被保險者タルモノ重複ニ損害ノ補償ヲ受クルノ悞アルカ故ニ完全ニ重複保險ヲ成立セシメシムルニハ二個ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス

(第一) 重複保險ナルコトヲ各保險者ニ通知セサル可カラス

(第二) 各保險者ノ承諾ヲ得サル可カラス

右二條件ヲ具ヘサルトキハ各保險者ハ其契約ヲ解除スルノ權利ヲ有ス從テ其契約カ當然無効ニ歸スル場合ト異ナレリ而シテ各保險者ハ明示ノ方法ニ依リテモ亦默示ノ方法ニ依リテモ素ヨリ重複保險ヲ承諾スルコトヲ得ヘシ既ニ保險者ニシテ之ヲ承諾セン乎重複保險ノ効力ハ完全ナリ然ラハ何カ故ニ法律ハ此二條件ヲ履踐スルニ非サレハ各保險者ニ契約解除ノ權利ヲ附與スルヤト云フニ其理由ヲ悟了センニハ先ツ重複保險ノ効力ヲ稔知セサル可カラス因テ今例ヲ擧ケテ之ヲ説明センニ例ヘハ一萬圓ノ價額アル家屋ヲ甲ノ保險會社ニ一萬圓ヲ以テ保險ニ付シ又乙ノ保險會社ニモ一萬圓ヲ以テ保險ニ付シ將タ又丙ノ保險會社ニモ一萬圓ヲ以テ保險ニ付シタル場合ニ於テ此契約渾テ有効ナリトセン乎被保險者ハ單ニ一萬圓ノ家屋ヲ喪失シテ三萬圓ノ賠償ヲ得ルノ結果ヲ來ス可シ乍去斯ノ如キハ素ヨリ保險契約ノ性質ニ背戾スルモノナルカ故ニ如何ナル場合ニ於テモ被保險者ノ賠償ヲ得ヘキ金額ハ必ス實際ノ損害一萬圓ニ止マラサル可カラス從

テ無條件ニテ斯ル重複保險ヲ有効ノモノトスレハ被保險者ハ保險法ノ精神ヲ蹂躪スルノ恐アルノミナラス又保險者カ自カラ賠償ヲ爲シタルトキハ他ノ保險者ニ對シテ其保險ノ割合ニ應シ賠償ノ割賦金ヲ請求スルコトヲ得ルモノナルニモ拘ハラス若シ此二條件ヲ必要トセサルトキハ他ノ保險者ニ對シテ割賦金ヲ請求スルノ機會ヲ失フノ虞アルカ故ニ法律ハ此二條件ヲ必要ト爲シタルモノトス重複保險ノ効果ヨリ論スレハ各保險者ハ共同シテ保險契約ヲ締結シタルト同一ナリ然レトモ法律上ヨリ論スレハ其契約ハ各別ノモノニシテ各保險者ハ各別ニ保險金ノ全額ヲ賠償スルノ義務ヲ有ス唯之ヲ賠償セル保險者ハ他ノ重複保險者ニ對シテ其割賦金ヲ請求シ得ルニ止ル而已而シテ被保險者モ亦各保險者ニ對シテ各一萬圓即チ被保險利益ニ相當スル保險料ノ全額ヲ支拂ハサル可カラズ即チ前例ニ於テ被保險者ハ甲ノ保險會社ニ對シテモ乙ノ保險會社ニ對シテモ亦丙ノ保險會社ニ對シテモ共ニ俱ニ一萬圓ニ相當スル保險料ヲ支拂ハサル可カラズ然ラスンハ各保險者ニ對シテ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス乍去被保險者ノ賠償ヲ得ヘキ金額ハ一萬圓ニシテ三萬圓ニ非ス尤モ一萬圓ニ對シテ三萬圓ニ相當スル保險料ヲ支拂フモノナレハ後日其超過スル部分ノ保險料取戻ヲ保險者ニ對シテ請求スルコトヲ得ヘシ此點ハ我商法第六百五十七條ニモ明カニ規定スル所ナリトス

不足保險

第二節 不足保險

不足保險トハ被保險物ノ價額ニ充タサル被保險額ヲ以テ締結スル保險契約ヲ云フ例ヘハ一萬圓ノ價額アル家屋ヲ五千圓ノ被保險額ヲ以テ保險ニ付スルカ如シ此場合ニ於テハ被保險者ハ全部損失ノ場合ニ於テ五千圓ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ヘシ蓋シ不足保險ナルモノハ補償ノ性質ヲ具備スルモノナルカ故ニ其有効ナルコトハ素ヨリ論ヲ俟タズ從テ如何ニ貴重ナル物ト雖モ其價額以下ニ保險ニ付スルコトハ被保險者ノ自由ナリ不足保險ノ性質夫レ斯ノ如クナルカ故ニ此種ノ保險ニ付テハ別ニ詳細ナル説明ヲ下スノ要ナシト雖モ其効力ノ範圍ニ付テハ古來三個ノ學說アリテ存スルカ故ニ以下簡單ニ之ヲ縷述セント欲ス

第一說ニ曰ク不足保險ノ金額ハ保險者ノ賠償ス可キ最高額ヲ示シタルモノナリ故ニ一萬圓ノ價アル家屋ヲ五千圓ニテ保險ニ付シタル場合ニ於テハ火災ノ爲メ

保險法

總則 重複保險、不足保險及ヒ超過保險 不足保險



其家屋ノ全部損失セルトキハ保險者ハ五千圓ヲ賠償スレハ可ナリ又若シ其家屋ノ一部分ノミ燒失シ而シテ其損害五千圓ニ充タサルトキハ保險者ハ其實際ノ損害額ヲ辨償セサル可カラスト要スルニ此説ニ於テハ不足保險ノ金額ハ賠償ノ最高額ヲ示シタルモノナレハ如何ナル場合ニ於テモ此金額ヲ超過シテ賠償ヲ爲スノ責任ナシト雖モ而モ此額ノ範圍内ニ於テハ實際ノ損害ヲ賠償スルノ責任アリト爲スモノナリ從テ今此説ニ依準スルトキハ一部損失ノ場合ト全部損失ノ場合トニ於テ同一ノ賠償ヲ爲サ、ル可カラサルノ結果ヲ惹起ス可シ例ヘハ茲ニ一萬圓ノ家屋アリテ之ヲ五千圓ノ保險ニ付シタリト假定セン乎縱令其家屋ノ半ハ燒失シテ五千圓ノ損害アルモ保險者ハ五千圓ヲ賠償セサル可カラズ又之ニ反シテ其家屋ノ全體燒失シテ一萬圓ノ損害アルモ保險者ハ單ニ五千圓ヲ賠償スレハ可ナリ是レ果シテ其權衡ヲ得タルモノナル乎大ニ疑ヲ挾マサルヲ得サルナリ

第二説ニ曰ク不足保險ノ金額ハ保險者カ責任ヲ有セサル可キ額ヲ示シタルモノナリ故ニ一萬圓ノ價アル家屋ヲ五千圓ニテ保險ニ付シタルトキハ其損失カ五千圓ヲ超過シタル場合ニ於テ始メテ保險者ハ其超過セル部分ヲ賠償スルノ責任ヲ

有スルモノナリト今此説ニ從フトキハ上例ノ場合ニ於テ八千圓ノ損失ヲ生シタルトキハ保險者ハ五千圓ヲ控除セル殘額即チ三千圓ヲ賠償スルノ責任アルモ之ニ反シテ單ニ四千圓ノ損失ヲ生スルニ過キサルトキハ保險者ハ一文半錢タモ賠償スルノ責任ナキ結果ヲ來タス可シ

第三説ニ曰ク不足保險ノ金額ハ保險者ノ賠償ス可キ金額ノ比例(Proportion)ヲ示シタルモノナリト是畢竟第一説及ヒ第二説ヲ折衷セルモノナリ今此説ニ從フトキハ夫ノ一萬圓ノ價アル家屋ヲ五千圓ニテ保險ニ付シタル場合ニ於テ若シ全部ノ損失アリタルトキハ保險者ハ五千圓ヲ賠償ス可ク又若シ一部ノ損失例ヘハ八千圓ノ損失アリタルトキハ保險者ハ四千圓ヲ賠償スレハ可ナルモノトス之ヲ要スルニ第三説ハ不足保險ノ金額ハ保險者ノ賠償ス可キ金額ノ比例ヲ示シタルモノナレハ一部ノ損失ノ場合ニ於テハ被保險額ト被保險物ノ價額トノ比例ヲ以テ保險者ノ負擔ス可キ損失賠償額ヲ定ム可キモノナリト云フニ在リ從テ此説ニ依レハ夫ノ第一説ノ如ク一部ノ損失ノ場合ニ於テモ亦全部ノ損失ノ場合ニ於テモ共ニ與ニ同一ノ賠償ヲ爲サ、ル可カラサルカ如キ不都合ナル結果ヲ生スルコトナ

ク又夫ノ第二説ノ如ク現ニ損失起リタルニモ拘ハラズ賠償ヲ要セサルカ如キ不  
 條理ナル結果ヲ生スルコトナシ加之本來保險料ハ保險金額ニ應シテ定マルモノ  
 ニシテ又保險者ノ賠償額ハ損失ノ額ニ相當セサル可カラサルモノナレハ第三説  
 ハ最モ正鵠ヲ得タルノ主義ナリト思考ス

以上ノ三説中我商法ハ果シテ何レノ主義ヲ採用セルヤト釋スルニ第三説ヲ採用  
 セルモノナリ蓋シ此説ヲ採用セルハ獨リ我商法ノミニ止マラス英、米、獨、佛、和等ノ  
 諸國ニ於テモ亦皆之ヲ採用セリ然ラハ我商法カ第三説ヲ採用セルコトハ何ニ因  
 テ之ヲ知ル乎ト問フニ一ニ第六百三十九條ニ保險スルコトヲ得ル利益ノ額ニ滿  
 タサル保險ノ場合ニ在テハ其殘餘ノ額ニ付キ被保險者ヲ自己ノ保險者ト看做シ  
 被保險者ハ其額ノ割合ニ應シテ損害ヲ負擔ス但別段ノ契約アルトキハ此限ニ在  
 ラストノ規定アルヲ以テ之ヲ知ル可シ即チ本條ハ所謂法律上ノ假設法ニ依リテ  
 規定ヲ爲シタルモノニシテ其結果上ヨリ論スレハ秋毫モ右ニ述ヘタル第三説ト  
 異ナルコトナシ再言セハ不足保險ノ場合ニ於テハ其殘餘ノ額ニ付キ被保險者ヲ  
 以テ自己ノ保險者ト看做シ其額ノ割合ニ應シテ損害ヲ負擔セシムト云フニ在リ

故ニ猶ホ保險者ト被保險者トカ保險契約ヲ取結ヒタル場合ト同シク其賠償ノ割  
 合ハ其被保險額ノ割合ニ應セサル可カラサルモノトス今例ヲ擧ケテ之ヲ説明セ  
 ノニ一萬圓ノ家屋ヲ五千圓ノ被保險額ヲ以テ保險ニ付シタリトセン乎殘餘ノ五  
 千圓ニ付テハ被保險者自カラ之ヲ保險セルモノト看做ス故ニ若シ其家屋ノ全體  
 燒失シ一萬圓ノ損害ヲ生シタリトセハ保險者ヨリハ五千圓ノ賠償ヲ得殘餘ノ五  
 千圓ハ被保險者自カラ之ヲ負擔セサル可カラス又若シ八千圓ノ損害ヲ生シタリ  
 トスレハ保險者ノ保險額ト被保險者ノ保險額トハ同一ノ割合ナルヲ以テ其八千  
 圓ヲ折半シ各其一半ヲ負擔ス可シ即チ保險者ハ四千圓被保險者ハ其殘餘ノ四千  
 圓ヲ負擔ス可キモノトス知ル可シ我商法第六百三十九條ノ規定ハ第三説ト其結  
 果ヲ均フスルコトヲ是余カ我商法ハ第三説ヲ採用セルモノナリト主唱スル所以  
 ナリ唯余ノ茲ニ太甚怪訝ニ耐ヘサルハ何カ故ニ我商法ハ假設ノ方法ヲ以テ此規  
 定ヲ設ケタル乎ノ點ニ在リ蓋シ場合ニ依リテハ立法上假設法ヲ採用スルヲ以テ  
 極メテ簡便ヲ得ルコトアリ然レトモ本條ノ如キ規定ヲ設シルニ當リテハ毫モ假  
 設法ヲ採用スルノ便宜ナシ既ニ此便宜ナキニモ拘ハラズ假設法ヲ採用ス余其何

ノ理由ニ出ツル乎ヲ知ル能ハス若シ夫レ我商法カ殊更ニ被保險者ヲ自己ノ保險者ト看做スト云フカ如キ假設法ヲ設ケタルハ如何ナル必要ニ基因スルモノナル乎余亦其必要ヲ發見スルニ苦ム惟フニ之ト同一ノ結果ヲ生スル規定ハ假設法ニ依ラサルモ充分ニ之ヲ設定スルコトヲ得ヘシ否ナ管ニ之ヲ設定スルコトヲ得ルノミナラス假設法ニ依ルヨリモ寧ロ簡單ニ之ヲ規定スルコトヲ得ルナル可シ果シテ然ラハ我商法カ假設法ヲ採用シタルハ益疑點ヲラサルヲ得サルナリ

### 超過保險

#### 第三節 超過保險

超過保險ナルモノハ不足保險トハ全ク正反對ニシテ例ヘハ實價五千圓ノ物件ヲ一萬圓ノ保險ニ付スルカ如キヲ云フ從テ超過保險ナルモノハ所謂補償ノ性質ヲ帶ヒサルモノナルカ故ニ法律上無効ノモノナリ然ラハ其全部無効ナルヤト云フニ我商法ノ規定ニ依レハ其全部無効タルニ非スシテ唯其被保險物ノ價額ニ超過スル部分ノミ無効タルニ過キス是故ニ五千圓ノ物件ヲ一萬圓ノ保險ニ付スルハ猶ホ五千圓ノ物件ヲ五千圓ノ保險ニ付スルト一般ナリ是レ恰モ利息制限法ニ違背スル貸借契約ハ不法ノモノナリト雖モ而モ其不法タル全部ノ不法ニ非スシテ

單ニ利息制限法ニ超過セル部分ノミノ不法ニ過キス從テ其利息ヲ制限法ノ限度ニ減縮スルトキハ該貸借契約ハ有効ナルカ如シ(商法第六百五十七條參看)

### 保險契約ノ移轉

#### 第八章 保險契約ノ移轉

保險契約ハ補償ノ性質ヲ帶ヒサル可カラサルモノナルカ故ニ被保險利益ヲ有セサルモノ、保險ハ全ク無効ナリ而シテ被保險者カ保險ノ保護ヲ受クルニハ管ニ契約ノ當時ニ於テ被保險利益ヲ有セサル可カラサルノミナラス損失ノ當時ニ於テモ亦均シク被保險利益ヲ有セサル可カラス何トナレハ契約ノ當時被保險利益ヲ有セサレハ取りモ直サス被保險利益ヲ有セサルモノ、契約ニシテ賭博保險ヲ取結ヒタルニ歸著スルカ故ニ到底無効ナル可ク又損失ノ當時被保險利益ヲ有セサレハ危險ノ爲メニ自カラ損害ヲ蒙リタルモノニ非サレハ保險者ニ對シテ賠償ヲ求ムルノ理由ナク若シ之ヲ求ムルコトヲ得ヘシトスレハ所謂補償ノ性質ニ背ク可ケレハナリ是故ニ被保險者カ保險契約ヲ取結ヒタル後其被保險物ヲ他人ニ讓渡セルトキハ該被保險者ハ其損失ノ當時被保險利益ヲ有セサルノ理由ヲ以テ賠償ヲ求ムルコトヲ得ス又之ヲ讓受ケタル者ハ契約ノ當時被保險利益ヲ有セサ

ルノ理由ヲ以テ賠償ヲ求ムルコトヲ得スト論斷セサル可カラズ然レトモ此點ニ付テハ二個ノ主義アリテ存ス即チ保險契約ヲ物約ト爲スノ主義及ヒ人約ト爲スノ主義是ナリ英米ノ法律ニ於テハ保險契約ヲ以テ人約ト認ムルカ故ニ苟モ被保險物ニシテ他人ニ移轉スル以上ハ其保險契約ハ無効ニ歸スルモノトズルヲ以テ一般ノ通則ト爲ス蓋シ此事タル英國ニ於テハ古代ヨリシテ既ニ確定セリ今此原則ヲ認メタル最モ古キ判決例ヲ見ルニ若シ被保險者カ其所有物ヲ損失發生以前ニ於テ他人ニ賣却シ而シテ其被保險利益モ之ト共ニ讓渡シタルトキハ保險契約ハ從テ消滅スルモノナリ乍去保險者ノ承諾ヲ經テ其保險契約ヲ讓受人ニ讓渡シタルトキハ之カ例外ナリトセリ然ラハ其判決ノ理由ハ那邊ニ在リテ存スルヤト釋ヌルニ「ミストル」シーエチゼーショー (Mr. Ch. J. Shaw) 説明シテ曰ク火災ニ對スル建物ノ保險ハ世人普通ニ建物ノ保險ト稱スレトモ其實ハ所有者カ其建物上ニ於ケル利益ヲ失ヒタル時ニ當リテ其賠償ヲ受クル所ノ契約ナリ是故ニ其家屋ノ燒失スル前被保險者カ其建物上ニ於ケル利益ヲ全ク他人ニ讓渡シタルトキハ保險者ハ何人ニ對シテモ賠償ヲ爲スノ義務ナシ何トナレハ保險契約ハ被保險者ノ

蒙リタル損害ヲ賠償スルヲ目的ト爲スニモ拘ハラズ被保險者ニシテ毫モ損害ヲ蒙ラストスレハ保險者ニ賠償ノ義務ナキヤ明白ナレハナリ然レトモ若シ被保險者カ其建物ヲ他人ニ讓渡スニ當リ其讓受人ニ保險ノ契約ヲモ併セテ移轉シ而シテ保險者之ニ承諾ヲ表セルトキハ其讓受人ト保險者トノ間ニ新ナル保險契約成立スルカ故ニ保險者ハ讓受人ニ對シテ損害賠償ノ責任アリト

尙ホ此點ニ關スル英國ノ一規定ヲ指示センニ物ノ共有者カ共ニ保險契約ヲ取結ビ而シテ其共有者ノ一人カ他ノ共有者ニ共有權ヲ讓渡シタルトキハ法律上之ヲ以テ被保險物ノ讓渡ト認メス從テ保險契約ハ無効ニ歸スルモノニ非ス唯保險契約ノ無効ニ歸スル場合ハ被保險者カ其利益ヲ第三者ニ讓渡シタルトキニ在リ再言セハ共有者ノ場合ニ於テハ唯其利益カ共有者間ニ轉讓シタルニ止マリ第三者ニ移轉セサルモノナルカ故ニ例外タルモノトス尙ホ茲ニ注意ス可キハ被保險物ノ讓渡トハ賣買贈與等其方法ノ何タルヲ問ハスト雖モ特リ生存者間ノ讓渡ノミヲ意味スルニ止マリ夫ノ死亡ニ依テ相續スル場合ヲ包含セサルコト是ナリ故ニ相續ニ依テ物件ヲ取得シタル者ハ併セテ保險契約ノ利益ヲモ享受スルコトヲ得

右ハ英米ノ法律ナルカ我商法ニ於テハ保險契約ヲ人約ト爲サスシテ物約ト認メ居レリ從テ其結果トシテ被保險物ヲ他ニ移轉スレハ該保險契約モ亦之ト同時ニ轉讓スルヲ以テ通則トス惟フニ保險契約ナルモノハ多クハ商品上ニ行ハル、モノニシテ且商品ハ寸時モ停滯セス常ニ數多ノ人ニ轉讓スルノミナラス商人ハ必スヤ保險契約ヲ取結フコトヲ企望スルモノト認メタルカ故ニ立法者ハ特ニ保險契約ニ付スルニ物約ノ性質ヲ以テシタルモノナラム但其規定ノ果シテ我人情ニ適スルモノナルヤ否ヤハ全ク別問題ナルカ故ニ余ハ茲ニ喋々ノ辯ヲ費サス之ヲ要スルニ我商法ニ於テハ保險契約ハ被保險物ト同時ニ新取得者ニ移轉スルモノトス而シテ此規定タル之ヲ法理上ヨリ論スレハ保險契約ハ必スシモ契約ノ當時及ヒ損失ノ當時ニ於テ被保險利益ヲ有セサルモ尙ホ且之ヲ締結スルコトヲ得テ其契約ハ充全ノ効力ヲ有スルモノナルカ如キ觀アリ切言スレハ被保險物ヲ讓受ケタル者ハ素ヨリ保險契約ヲ取結ヒタル者ニ非ズ即チ保險契約締結ノ當時ニ在リテハ自己ハ未タ被保險利益ヲ有セス然ルニ法律上之ヲ有効ノ保險契約ト認ム

ルハ前ニ述ヘタル原則ニ抵觸セサルヤノ感アリ然リト雖モ法律ノ本旨タル被保險物ヲ他ニ移轉スルハ新取得者及ヒ保險者ノ承諾上ニ出ツルモノト看做スニ在レハ保險契約ノ轉讓ト云ハノヨリモ寧ロ保險者ト新取得者ノ間ニ新ナル保險契約ヲ締結スルモノト云フヲ可トス是レ此契約ノ有効ナル結果ヲ生スル所以ナリ

夫レ斯ノ如ク保險契約ハ被保險物ノ移轉ト共ニ轉讓スルモノナリトハ一般ノ原則ナル也此原則ニ對シテハ四個ノ例外アリ左ニ逐次之ヲ論述セム

(第一) 讓渡人カ特ニ利益ヲ留置キタル場合 保險契約ハ被保險物ト共ニ移轉スルモノナリトノ推測ハ所謂一般ノ推測ナルカ故ニ被保險者ニシテ縱令被保險物ヲ他ニ移轉スルモ未タ悉皆ノ關係ヲ離脱セサルコト即チ一部ノ利益ヲ留置キタルコト明カナルトキハ保險契約モ併セテ移轉シタルモノト推測スルヲ得ス却テ保險契約ノ利益ヲ自己ニ留置キタルモノト看做ス可キナリ是レ此例外アル所以ナリ

(第二) 商法第六百五十四條ノ場合 商法第六百五十四條ノ場合トハ結約後ノ情

況ニ變更ヲ生シ之カ爲メ危険ヲ増加シ若クハ變更スル場合又ハ相當ノ期間内ニ於テ保險者カ保險料ノ支拂ヲ請求シタルニモ拘ハラズ被保險者カ其支拂ヲ爲サ、ル場合ヲ云フ而シテ此前段ノ場合ニハ何カ故ニ其保險契約ハ被保險物ト共ニ移轉セサルヤト云フニ移轉ノ爲メニ大ニ危険ノ増加スルカ如キ場合ニ於テハ保險者ハ之ニ承諾ヲ表スルモノニ非ストノ一應ノ推測ヲ下スコトヲ得ルニ由ル尙ホ之ヲ詳言センニ元來保險者カ契約ヲ取結フニ當リテハ先ツ危険ノ性質程度ヲ熟知シテ之ヲ爲スモノニシテ若シ危険増加スレハ保險料モ亦從テ増加セサル可カラズ是故ニ危険ノ増加スル場合ニ於テハ從來ノ保險料ヲ以テ保險スルコトハ保險者ノ欲セサル所ナリト推測セサル可カラズ是レ此場合ノ例外タル所以ニシテ要ハ一般ノ推測ニ對シ反對ノ意思ヲ推測スルニ在リ又後段ノ場合ニ在リテモ其讓受人カ保險料ノ支拂ヲ爲サ、ルカ如キコトアラハ始メヨリ保險ノ讓受ヲ爲スノ意思ナキモノト推測スルコトヲ得ヘシ一言以蔽之反對ノ意思ヲ推測スルコトヲ得ルカ故ニ是亦例外タルモノトス

(第三) 保險者カ轉付ニ付キ承諾ヲ與フル權利ヲ特ニ明示ニテ留保セル場合 此

場合ニ在リテモ亦一般ノ推測ニ對シ反對ノ意思ヲ推測スルコトヲ得ルカ故ニ被保險物讓渡ノ効果トシテ當然保險契約ヲ移轉スルモノニ非ス若シ保險契約ヲ移轉セントナラハ特ニ保險者ノ承諾ヲ經ルコトヲ必要トス

(第四) 被保險物轉讓ノ當事者カ特ニ保險契約ノ轉付ナキコトヲ明示セル場合

例ヘハ被保險物ノ讓渡人カ保險契約ヲ轉付セサルコトヲ明言シ又ハ其讓受人カ保險契約ノ轉付ヲ受ケサルコトヲ明言セル場合ノ如シ

以上例外ノ場合ヲ述了シタルモ尙ホ茲ニ一言ス可キハ商法第六百四十條第二項ノ規定是ナリ同項ノ明文ニ曰ク(前略)總テノ場合ニ於テ被保險者ハ其爲シタル轉付ヲ遅延ナク保險者ニ通知シ又保險者ハ保險カ記名ナルトキハ新取得者ノ名ニ書替フルコトヲ要スト然レトモ之ヲ通知スルト否ト又之ヲ書替フルト否トハ毫モ保險契約ノ移轉ニ影響ヲ及ホスモノニ非ス即チ之ヲ遵守セサルモ保險契約ハ被保險物ト共ニ當然移轉スルモノナリ唯夫レ此規定ヲ設ケタル所以ノモノハ保險ノ取引ヲ整理シ豫シメ明確ナル證據ヲ備ヘシメ且若シ事情ノ變更ヲ來スカ如キコトアレハ保險者ニ之カ故障ノ申立ヲ爲スノ機會ヲ與フルニ在ル而已知ル可

シ此規定ハ契約移轉ノ効力ニ何等ノ影響ヲ及ホスモノニ非サルコトヲ  
 借又保險契約ノ移轉ニ類似シテ其實大ニ性質ヲ異ニスルモノアリ他ナシ被保險  
 額請求權ノ移轉是ナリ抑モ被保險額ノ請求權ハ我商法第六百四十一條ニモ規定  
 セルカ如ク被保險者ニ於テ自由ニ之ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得ヘク敢テ保險者ノ  
 承諾ノ有無及ヒ支拂期日ノ前後ヲ問ハサルナリ然レトモ此讓渡タルヤ單ニ被保  
 險額ヲ保險者ヨリ請求スルノ權利ヲ移轉スルモノタルニ止マリ他ノ保險契約上  
 ノ權利及ヒ義務ハ依然トシテ原當事者間ニ存在スルモノナリ即チ唯一ノ人權ヲ  
 讓渡スルニ過キサルヲ以テ普通人權讓渡ノ方法ニ遵據セハ完全ニ之ヲ讓渡シ得  
 ヘク特ニ格段ナル方式ヲ履踐スルノ要ナシ且此請求權ハ明示ノ方法ヲ以テ之ヲ  
 讓渡シ得ルノミナラス默示ノ方法ヲ以テシテモ亦之ヲ讓渡スルコトヲ得ヘシ而  
 シテ我商法第六百四十一條第二項ハ取リモ直サス默示ノ讓渡アリタリト看做ス  
 可キ場合ヲ掲ケタルモノナレトモ敢テ之カ爲メニ他ノ默示讓渡ヲ排斥スルノ法  
 意ニ非ス從テ苟モ讓渡ノ意思ヲ推測スルコトヲ得ル以上ハ默示ノ讓渡アリタル  
 モノト認定スルコトヲ得ヘシ今商法カ默示ノ讓渡(則チ包意讓渡)アリタルモノト

看做ス場合ヲ舉シレハ即チ左ノ如シ

(第一) 被保險物ノ抵當若クハ質入ノ場合

(第二) 抵當物若クハ質物保險ノ場合

(第三) 第三者ノ爲メニスル保險ノ場合

右第一及ヒ第二ノ場合ニ於テハ抵當取主若クハ質取主ハ猶ホ債務者ヨリ被保險  
 額請求權ノ轉付ヲ受ケタル場合ト同シク保險者ヨリ被保險額ヲ受取り該金額中  
 ヨリ債權ノ辨濟ヲ受クルノ權利ヲ有ストナレハ我商法ハ被保險額ハ被保險物  
 ニ代ルモノト認定シタレハナリ從テ此二個ノ場合ニ於テハ保險者ハ抵當取主又  
 ハ質取主ニ對シテ被保險額ヲ支拂フノ義務アリトス又第三ノ場合ハ多クハ生命  
 保險ニ付テ行ハル、モノニシテ要スルニ被保險者カ他ニ被保險額ヲ受クル人ヲ  
 指定セル場合ニ生スルモノトス而シテ此指定ヲ受ケタル人ハ保險者ニ對シテ被  
 保險額ヲ請求スルノ權利アルコト猶ホ其請求權ノ轉付ヲ受ケタルト同一ナリ從  
 テ若シ此指定ヲ受ケタル人カ被保險額支拂期限前ニ死亡スルカ又ハ其他ノ事故  
 (逃亡失踪等)ニ因テ現在セサルトキハ其請求權ハ被保險者ノ遺産ニ屬シ其債權者

## 第九章 損失ノ賠償

ハ之ニ對シテ配當ヲ要求スルコトヲ得ヘシ

我商法第六百三十四條第一項ハ規定シテ曰ク辨濟ス可キ賠償額ハ人ノ保險ニ在テハ被保險額トシ物ノ保險ニ在テハ被保險者カ危險ノ發生ニ因リテ直接又ハ間接ニ被フリタル損害ヲ以テ限トスト由是觀之人ノ保險即チ生命及ヒ病傷ノ保險ト其他ノ保險トノ間ニハ損害ノ賠償額ヲ定ムルノ點ニ於テ多少ノ差異アルコトヲ知ルニ足ル蓋シ生命保險ノ場合ニ在リテハ別ニ普通定マリタル生命ノ價額ナルモノナキカ故ニ被保險者ハ自由ニ其被保險利益ヲ定ムルコトヲ得ヘシ例ヘハ余カ生命保險ヲ取結フニ方リテハ余ノ生命ハ敢テ五千圓若クハ八千圓ト定マリタル次第ニ非サルヲ以テ余ハ自由ニ其價額ヲ一萬圓若クハ二萬圓ト定ムルコトヲ得ヘシ唯一萬圓若クハ二萬圓等多額ノ價額ヲ付シタルトキハ之ニ對シテ又多額ノ保險料ヲ支拂ハサル可カラサル而已反言スレハ苟モ多額ノ保險料ヲ支拂フ以上ハ幾何ノ金額ヲ以テモ保險契約ヲ取結フコトヲ得ヘキナリ是故ニ生命保險ニ在リテハ其被保險額ヲ以テ賠償ノ標準ト爲サ、ル可カラス是レ他ノ物ノ保險

トハ大ニ其性質ヲ異ニスル要點ニシテ多少積金ノ性質ヲ帶フルモノナリ即チ其固有ノ價額ヲ以テ標準ト爲スコト能ハスシテ苟モ多クノ保險料ヲ支拂ヒ之ヲ積ムコト多クレハ之ニ伴フテ多額ノ賠償ヲ求ムルコトヲ得ルモノトス然ルニ之ニ反シテ物ノ保險ニ至リテハ本來普通ノ實價ヲ有スルカ故ニ被保險利益モ亦自カラ其實價ニ因テ定マリ被保險者ノ自由ヲ以テ其價額ヲ定ムルコト能ハス從テ一圓ノ價額アルニ過キサル物ヲ百圓ノ被保險額ヲ以テ保險ニ付セン乎裁判所ニ於テハ之ヲ正當ノ保險契約ナリト認メサルナリ乍去茲ニ注意ス可キハ縱令物ノ保險ニ於テモ當事者カ誠意ヲ以テスルトキハ普通ノ價額ヨリモ過當ノ價額ヲ約定スルヲ得ルコト是ナリ即チ五圓ノ物ヲ七圓トスルモ將タ七圓ノ物ヲ八圓トスルモ苟モ當事者カ誠意ヲ以テセル以上ハ該保險契約ハ有効ニシテ動カス可カラサルモノナレハ裁判所ト雖モ亦之ヲ認メサルヲ得サルナリ尙ホ生命保險ト物ノ保險トノ區別ヲ擧クレハ生命保險ニ在リテハ前ニモ述ヘタル如ク普通ノ價額ナルモノナキカ故ニ當事者間ニ於テ必スヤ被保險額ヲ定メサル可カラス然レトモ之ニ反シテ物ノ保險ニ在リテハ自カラ普通ノ價額アリテ存スルカ故ニ縱令當事者



間ニ於テ被保險額ヲ定メサルモ保險者タルモノハ實際ノ損害ヲ賠償スルノ義務アリ以是乎生命保險ニ在リテハ其被保險額ヲ定メサルトキハ契約無効ナルモ之ニ反シテ物ノ保險ニ在リテハ縱令之ヲ定メサルモ契約有効ナリトス

借又損失ノ賠償ヲ論スルニ當リテハ全部ノ損失即チ全損ノ場合ト一部ノ損失即チ分損ノ場合トチ區別セサル可カラス今先ツ全損ノ場合ヨリ論セシニ保險法上所謂全損ナルモノハ被保險物ノ悉ク消滅セルヲ云フニ非スシテ被保險物カ破損シ最早原來ノ名稱ヲ付スルコト能ハサルニ至リタルヲ云フ例ヘハ一ノ家屋カ震災ノ爲メニ破壊シタル場合ニ於テ縱令其家屋ヲ組織セル材料ハ毫モ喪失セストスルモ最早家屋ナル名稱ヲ付スルコト能ハサルニ至リタリトセン乎保險法上所謂全損ト看做スカ如シ斯ク言ハ、一見明瞭ニシテ勘シモ疑ヲ存セサルカ如シト雖モ實際上ノ問題アルニ當リ果シテ全損ナルヤ否ヤチ甄別スルニハ寔ニ困難ヲ感スルコトアリ即チ家屋ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ其屋根ノミカ燒失セルトキハ其殘部ハ尙ホ之ヲ家屋ト稱スルコトヲ得ルヤ否ヤ將タ又其家屋ハ半以上燒失セルトキハ全損ト稱ス可キモノナルヤ否ヤ凡ソ此等事實上ノ問題ニ至リテハ

之ヲ判定スルニ非常ノ困難ヲ感スルモノナリ乍去法理上ヨリ論スレハ畢竟被保險物ノ性質ヲ觀察シ該物カ既ニ其特性ヲ失フテ從來ノ名稱ヲ付スルコト能ハサルニ至リタル時ヲ以テ全損アリタルモノト論定ス可キモノトス

被保險物ノ全損セル場合ニ於テハ保險者ハ幾何ノ賠償ヲ爲サル可カラサルヤト云フニ被保險物ノ價額ヲ賠償ス可キモノトス即チ千圓ノ家屋燒失セルトキハ千圓ヲ賠償セサル可カラス而シテ當事者カ被保險物ノ價額ヲ約定セル場合ニハ此賠償額ヲ定ムルコト太甚容易ナリト雖モ當事者カ被保險物ノ價額ヲ約定セサル場合ニハ此賠償額ヲ算定スルコト極メテ困難ナリ何トナレハ被保險物ハ既ニ破損シ去リテ價額算定ノ標準タルモノ存在セサレハナリ然レトモ是レ唯事實上之ヲ定ムルコトノ困難ナルニ止マリ法律上ニ於テハ保險者ハ其實際ノ損害額ヲ賠償ス可キ而已又若シ當事者カ超過保險若シハ不定保險ヲ取結ヒタル場合ニハ前ニ述ヘタル方法ニ依テ保險者ノ負擔ニ屬スル損害賠償額ヲ定ム可キモノトス被保險物分損ノ場合ニ於テハ被保險者ハ幾何ノ賠償額ヲ支拂フ可キモノナルヤト云フニ此場合ニ於テハ實際生シタル損失ノ賠償ヲ爲スヲ以テ通則トス而シテ

若シ當事者カ被保險物ノ價額ヲ豫定シタルトキハ實際生シタル損失ハ全部ノ幾割ニ相當スルヤヲ檢シ其割合ニ從テ賠償額ヲ定ム可キモノトス例ヘハ一萬二千圓ノ實價アルモノナリト豫定シタル場合ニ於テ實際生シタル損失ハ全部ノ四割ニ相當スルモノナリト假定セン乎保險者ハ一萬五千圓ノ四割ヲ辨償スルノ義務アリ又當事者カ被保險物ノ價額ヲ豫定セサルトキハ幾何ノ損失ヲ賠償ス可キモノナルヤト云フニ前例ノ場合ニ於テハ保險者ハ被保險物ノ普通價額タル一萬二千圓ノ四割ヲ辨償ス可キモノトス。

倍又玆ニ聊カ説明ヲ要スルハ我商法第六百三十四條ノ規定ニ在リ今同條第一項ヲ見ルニ保險者ノ賠償ス可キ損失ハ雷ニ危險ノ發生ニ因リテ直接ニ生シタル損害ノミナラス間接ニ生シタル損害モ尙ホ且之ヲ負擔ス可キモノトセリ然ラハ則チ間接ノ損害トハ如何ナルモノヲ指ス乎ヲ研究スルノ要アリ若シ夫レ廣汎ニ之ヲ解釋セン乎宇宙間ノ事物ハ一トシテ直接若クハ間接ニ關係ヲ有セサルモノナシ即チ一ノ原因アリテ其原因ヨリ結果ヲ生シ其結果ハ又一ノ原因ト爲リテ更ニ新ナル結果ヲ生シ其結果ハ又々一ノ原因ト爲リテ更ニ第三ノ結果ヲ生シ遂ニ

其窮極スル所ヲ知ラサルナリ故ニ此意義ニ於テ間接ノ損害ナルモノヲ解釋セシ乎如何ナル損害ヲ包含スルヤ殆ント想像スルコト能ハス然レトモ我商法ノ規定スル所ハ決シテ此廣義ニ於ケル間接ノ損害ニ非サル可シト信ス抑モ法律上ニ在リテハ間接ノ損害ハ之ヲ間接セサルヲ通則ト爲スト雖モ我保險法ハ特ニ例外トシテ間接ノ損害モ尙ホ且之ヲ賠償セサル可カラサルモノトセリ從テ此規定タルヤ嚴格ニ解釋ス可キモノニシテ決シテ廣義ニ解釋ス可キモノニ非ス然ラハ我商法ニ所謂間接ノ損害トハ果シテ如何ナル損害ヲ意味スルモノナルヤト云フニ單ニ第一ノ間接ノ損害ヲ指スニ止マルモノトス今例ヲ火災保險ニ採ランニ夫ノ火災ノ爲メニ生シタル損害ハ實ニ直接ノ損害ナリ而シテ其火災ヲ避クルカ爲メ被保險物ヲ往來ヘ持出シタルニ大ニ破損シタルカ如キハ間接ノ損害ナリ即チ火災カ一ノ原因ト爲リテ之ヲ持出ステフ結果ヲ生シ又其持出ステフ結果カ原因ト爲リテ破損テフ結果ヲ生シタルモノトス又一例ヲ舉クレハ火災ヲ避クルカ爲メ往來ヘ被保險物ヲ持出シタルニ偶盜難ニ罹リタルトキノ如キモ亦我商法ニ所謂保險者ノ賠償ス可キ間接ノ損害ナリトス蓋シ此損害タル嚴格ニ之ヲ論ズレハ火災

ナル原因ヨリ往來ニ持出ステフ結果ヲ生シ往來ニ持出シタルカ爲メ盜難ニ罹ル  
 テフ結果ヲ生シ而シテ盜難ニ罹リタルカ爲メ損失生スルニ至リタルモノナレハ  
 第二ノ間接ノ損害ナリト謂ハサル可カラサルカ如シ然レトモ斯ル損失ハ尙ホ我  
 商法上保險者ノ賠償ス可キ損害タリ唯夫レ此以上ノ損害ニ至リテハ保險者素ヨ  
 リ之ヲ賠償スルノ責任ナキ而已

又我商法第六百三十四條第二項ニハ間接ノ損害中ニハ現ニ生シ又ハ將ニ生セン  
 トスル危険ノ已ムヲ得サル防止ニ因リテ生シタル別段ノ費用及ヒ損害ヲモ包含  
 スルモノナルコトヲ規定セリ故ニ斯ル費用及ヒ損害モ亦保險者ノ辨濟セサル可  
 カラサルモノタリ而シテ我商法ハ斯ル費用及ヒ損害ハ間接ノ損害ナルヲ以テ保  
 險者之ヲ賠償セサル可カラスト爲スモノナレトモ英米其他歐洲諸國ノ法律ニ於  
 テハ間接ノ損害ハ保險者之ヲ辨償スルノ責任ナシト爲スニモ拘ハラズ現ニ生シ  
 又ハ將ニ生セントスル危険ノ已ムヲ得サル防止ニ因リテ生シタル別段ノ費用及  
 ヒ損害ハ保險者ノ負擔ス可キモノトセリ今其理由那邊ニ存スルヤト釋スルニ斯  
 ル防止ノ所爲ハ保險者ニ利益ヲ與フルモノニシテ此所爲ナクシハ被保險物ハ損

失ヲ免カレサルモノナリ而シテ被保險物ニシテ損失セン乎保險者ハ損害ヲ蒙ル  
 可シ從テ保險者タルモノハ自己ノ利益タル可キ所爲ヨリシテ生シタル費用及ヒ  
 損害ヲ負擔セサル可カラスト云フニ在リ然ラハ則チ我商法ト英米ノ法律トハ其  
 理由ヲ異ニスルモ斯ル費用及ヒ損害ハ保險者之ヲ負擔セサル可カラスト云フノ  
 結果ニ至リテハ全ク其揆チ一ニスルモノト謂フ可キナリ

是ヨリ歩武ヲ進メテ如何ナル損害ハ保險者ニ於テ賠償ノ責任ヲ有セサル乎換言  
 セハ保險者カ辨濟ノ責任ヲ有セサル損害ハ如何ナルモノナルヤヲ論述セム蓋シ  
 之ヲ明カニスレハ自カラ保險者ノ辨償セサル可カラサル損失ノ何タルヤヲ稔知  
 シ得ヘシ而シテ保險者ノ責任ヲ有セサル損失ヲ舉クレハ即チ左ノ如シ

(第一) 被保險者カ已ムヲ得サルニ非スシテ任意ニ加ヘ若クハ加ヘシメタル損失  
 (商法第六百三十五條)

抑モ保險者ノ賠償セサル可カラサル損失ハ必スヤ不測ノ危険ニ因テ生シタル  
 カ又ハ不測ノ危険ヲ防止スル爲メ已ムヲ得スシテ生シタルモノナラサル可カ  
 ラス若シ夫レ防止ノ必要ナキニモ拘ハラズ任意ニ費用ヲ費ヤシ若クハ他人ヲ

シテ損害ヲ加ヘシメタリトセン乎保險者タルモノハ決シテ之ヲ賠償スルノ義務ナシ例ハ遠方ニ火災アルニ當リ大ニ驚愕シテ被保險物ヲ他所ニ運搬スル爲メ費用ヲ要シタリトスルモ保險者ハ其費用ヲ賠償スルノ責ナキカ如シ然レトモ苟モ任意ニ非サル所爲ヨリ生シタル損失ニシテ且大過失ヨリ起リタルモノニ非サル以上ハ縱令被保險者ノ所爲ヨリシテ生シタル損害ナリト雖モ保險者之ヲ辨償スルノ責任ヲ辭スルコト能ハサルヲ原則トス

(第二) 被保險物ノ性質上直接ニ生シタル損失(同上)

例ハハ玻璃又ハ陶器類ノ如キ性質上破碎シ易キ物品ヲ運搬スルニ當リテハ其途中ニ於テ多少ノ損失アルハ免カル可カラサル所ナリ而シテ斯ノ如キ物ノ性質ヨリ直接ニ生シタル損失ハ保險者ノ負擔ス可キ限ニ在ラス此事タル保險ノ性質ヨリシテ説明スルコトヲ得ヘシ即チ保險ナルモノハ不測ノ損失ヲ擔保スルモノニシテ到底免カル可カラサル損失ヲ擔保スルノ方法ニ非サルナリ

(第三) 被保險物固有ノ瑕疵ヨリ直接ニ生シタル損失(同上)

例ハハ火藥ノ如キハ其製造ノ粗惡ナルカ爲メ往々不時ニ發火シテ損失ヲ生スルモノナリ然レトモ斯ル損失ハ被保險物固有ノ瑕疵ニ基クモノナレハ保險者ハ之ヲ賠償スルノ責任ヲ有セサルモノトス

(第四) 被保險物當然ノ使用ニ因リテ直接ニ生シタル損失(同上)

凡ソ物ハ之ヲ使用スルニ因テ多少ノ損失ヲ來タスハ免カル可カラサル所ナリ蓋シ人類又ハ畜類ノ如キハ縱令勞力スルモ常ニ之ヲ補充スルモノアレハ別ニ損失スル所ナキモ船舶ノ如キ無機物ニ至リテハ之ヲ使用スルニ因テ多少磨滅損耗スルモノナレハ多少ノ損失ハ到底免カル可カラサル所ナリ故ニ斯ル損失ハ保險者ニ於テ之ヲ賠償スルノ義務ナシ何トナレハ此等ノ損失ハ人々各豫想スルコトヲ得ルモノニシテ到底免カル可カラサル損害ナレハ保險法ヲ以テ之ヲ保護ス可キ限ニ在ラサレハナリ

(第五) 戦争又ハ暴動ニ因リテ生シタル損失(商法第六百五十二條)

此種ノ損失ニ付テハ保險者常ニ賠償ノ責任ヲ有セサルニ非ス只特ニ明約ナキ場合ニ於テ賠償ノ責任ヲ有セサル而已蓋シ戦争又ハ暴動ノ如キ多クハ或場所ヲ限リテ起生スルモノニシテ其之カ起生シタル場所ニ於テハ危險實ニ太甚シ

少時トシテハ身體財産ヲ擧ケテ喪失スルコトナキニ非ス斯ク非常ナル危険ヲ保險スルニ當リテハ保險者タルモノ特ニ多額ノ保險料ヲ得ルコトヲ必要トスルヤ敢テ論ヲ俟タス是レ法律カ苟モ特別ノ約束ヲ爲サ、ル以上ハ保險者ハ此等ノ損失ヲ賠償スルノ責任ナシト規定シタル所以ナリ而シテ通常一般ノ保險契約書中ニ於テ縱令廣義ノ文字ヲ用ヒ其文字ノ解釋ニ依レハ自カラ戰爭又ハ暴動ヨリ生ズル損失ヲ包含スルモノト看做コトヲ得ル場合ト雖モ苟モ斯ル危険ヲ負擔スルコトヲ明約セサル以上ハ保險者ハ其責任ヲ負荷スルモノニ非ストス

保險營業

第十章 保險營業

抑モ保險營業ナルモノハ他諸般ノ營業ト異ナリ其利害ノ關係スル所頗ル廣大ナルノミナラス其營業ハ永遠ヲ期スルモノナリ特ニ夫ノ生命保險ノ如キニ至リテハ人ノ生涯ヲ以テ契約ノ期限ト爲スモノナリ且之ニ加フルニ保險營業ナルモノハ性質上極メテ詐欺ノ行ハレ易キモノナリ此等ノ因由アルカ故ニ此營業ヲ監督スルノ方法ハ極メテ嚴密ナラサル可カラズ否ラスノハ是ヨリ生ズル弊害實ニ計ル可カラサルモノアリ於是乎何レノ邦國ニ於テモ保險營業ヲ以テ特種ノモノト爲シ頗ル嚴密ナル監督ノ下ニ之ヲ附屬セシメサルハナシ我商法モ亦此事ヲ慮リ第六百八十九條乃至第六百九十八條ノ規定ヲ設ケテ其弊害ヲ豫防センコトヲ庶幾セリ而シテ此規定タル會社タルト組合タルト將タ一個人タルトヲ問ハス苟モ保險營業ニ從事スル者ハ總テ之ニ從ハサル可カラズ今其規定ノ詳細ヲ擧クシレハ即チ左ノ如シ

(第一) 保險營業ヲ爲サント欲スル者ハ總テ官許ヲ受ク可ク(第六百八十九條) 濫リニ之カ營業ヲ爲スコトヲ許サス是レ一ニ監督上ノ便宜ヲ得セシメンカ爲メナリ

(第二) 保險營業ヲ爲ス者ハ年々支拂フ可キ被保險額ノ少ナクトモ平均二倍ニ滿ツル金額ヲ準備ス可ク且其準備金ハ十分安全ナル方法ニ因テ之ヲ利用スルコトヲ得ルモ其證券ハ必スヤ之ヲ裁判所ニ寄託スルコトヲ要ス但其金額ヨリ生ズル收入ハ素ヨリ保險營業者ニ屬ス(第六百九十條) 此規則ニ付テハ聊カ疑問アリ他ナシ營業ノ初年ヨリ此規則ニ從ハサル可カラサルヤ將タ第二年目ヨリ此

規則ニ從ハサル可カラサルヤノ點是ナリ今第六百九十條ノ法文ヲ見ルニ保險會社ハ保險料其他ノ收入金ノ中ヲ以テ年々積立ヲ爲シ云々トアリ然ルニ今日保險營業ヲ始メタリトスルモ素ヨリ保險料ノ收入ナク又其他ノ收入金モ之アル可キ理ナシ既ニ積立ヲ爲スノ本源タル可キモノ勿ラシ乎事實上右ノ規則ハ遂行ス可カラサルノ結果ト爲ル可シ然ラハ營業ノ始メニ於テハ此積立金ヲ爲スノ必要ナキヤト云フニ既ニ保險營業ヲ開始シ保險契約ヲ締結シタリトセハ何時被保險額ヲ支拂ハサル可カラサルヤ素ヨリ期ス可カラサルノミナラス右ノ規則ハ其被保險額ノ支拂ニ差支ナカラシメンカ爲メ設ケラレタルモノナレハ斯ル場合ニ於テハ尙ホ積立金ヲ要スルハ蓋シ法律ノ精神ナリト謂ハサル可カラズ之ヲ要スルニ營業ヲ始メタル時ヨリ第一年第二年等ノ區別ナク先ツ年々支拂フ可キ被保險額ノ果シテ幾何ナルヤヲ豫算シ而シテ苟モ營業ヲ爲スニ當リテハ其平均二倍ニ滿ツル準備金ヲ設ク可キモノニシテ必スシモ保險料其他ノ收入金ノ中ヲ以テ之ヲ設ク可キモノト局限セラレタルニ非スト信ス然ラハ則チ第六百九十條ノ法文ハ甚シク穩當ヲ欲クモノタルノ譏ヲ免カレサルナ

(第三) 保險營業者ハ少ナクモ毎年一回其年ノ收支一覽表及ヒ貸借對照表ヲ作リテ之ヲ公告シ且各社員及ヒ各被保險者ニ送達スル義務アリ(第六百九十一條) 此規定タル要スルニ營業ノ現狀ヲ明カニセシメ一ハ以テ取引人ノ注意ヲ惹起シ一ハ以テ監督ノ便ニ供スルニ在リ從テ此規定ハ極メテ有益ナルモノナレトモ而モ各被保險者ニ對シテ收支一覽表及ヒ貸借對照表ヲ送達ス可キモノト爲シタルハ聊カ過當ノ義務ヲ負荷セシメタルモノニ非サルヤノ疑アリ蓋シ被保險者ナルモノハ其數非常ニ多ク且各地ニ散在シ或ハ旅行シ或ハ住居ヲ變スルコトアリテ容易ニ其所在ヲ確ムルコト能ハサルノ情狀アリ然ルニ此等ノ者ニ一々收支一覽表及ヒ貸借對照表ヲ送達ス可キモノトセハ其困難實ニ言フ可カラサルモノアラム且夫レ第六百九十四條ノ規定ニ依ルニ此等ノ義務ヲ盡サ、ルトキハ輕カラサル制裁ヲ受ケサル可カラサルカ故ニ保險營業者カ之ヲ送達スルニ當リテハ後日ノ證據ヲ保存スルノ方法ヲ採ラサル可カラズ即チ書留郵便ヲ以テスルカ又ハ其他ノ公示方法ニ依ラサル可カラズ多數ノ被保險者ニ對

シテ一々此方法ヲ採ル惟フニ其費用莫大ニシテ保險營業者ハ殆ント其煩ニ堪ヘサルモノアラム是故ニ余ハ寧ロ被保險者ノ請求アレハ之ヲ送達ス可キモノナリテフ規定ニ改正セラレシコトヲ切望シテ已マサル者ナリ

(第四) 裁判所ハ何時ニテモ被保險者ノ申立ニ因リ保險者ノ營業ノ現況取引ノ實況貸借ノ關係等ヲ検査スルコトヲ得此場合ニ於テ裁判所ハ一人若クハ二人以上ノ鑑定人ヲ命ジテ之ヲ検査セシメ其検査ノ結果ヲ被保險者ニ通知シ且之ヲ公告スルノ權利ヲ有ス而シテ其検査及ヒ公告ノ費用ハ保險營業者自カラ之ヲ負擔セサル可カラス乍去被保險者ハ必要ナキニモ拘ハラズ検査ノ申立ヲ爲スカ又ハ惡意ヲ以テ検査ノ申立ヲ爲シタルトキハ裁判所ハ素ヨリ其申立ヲ却下スルコトヲ得ルノミナラス誤テ十分ノ理由アリトシテ検査ヲ行ヒタルトキト雖モ其費用ヲ申立人ノ負擔ニ屬セシムルコトヲ得ヘシス如ク裁判所カ保險營業ヲ検査スルノ權利ヲ有スル所以ノモノハ要スルニ監督ヲ嚴密ニシ弊害ヲ未萌ニ防遏セントスルノ趣旨ニ職由セスンハ非ス而シテ此検査權ハ管ニ裁判所之ヲ有スルノミナラス行政官廳モ亦此權利ヲ有ス唯裁判所ト行政官廳トノ

間ニ存スル區別ハ裁判所ハ申立ニ依ラサレハ之ヲ検査スルコトヲ得サルモ行政官廳ハ申立ノ有無ニ拘ハラズ職權ヲ以テ之カ検査ヲ行フコトヲ得ルノ點ニ在ル而已又茲ニ行政官廳ト稱スルハ要スルニ保險營業ヲ監督スル官廳即チ農商務省及ヒ其委任ヲ受ケタル官廳ヲ指スモノトス(第六百九十二條)

(第五) 保險營業者カ一種類ノ營業ヲ爲スニ止マラス尙ホ他種類ノ保險營業ヲ爲スカ又ハ全ク別種ノ營業ニ從事スルトキ例ハ火災保險ノ營業ヲ爲ス者カ更ニ生命保險ノ營業ヲモ併セテ爲スカ又ハ運送業ノ如キ別種ノ營業ヲ爲ストキハ其各營業ヨリ生スル收入ハ之ヲ各營業ニ區別シテ積立テ及ヒ使用セサル可カラズ蓋シ斯ノ如キ規定ヲ設ケタル所以ノモノハ他ナシ保險營業者カ種々ノ保險營業ニ從事シ又ハ別種ノ營業ヲ併セテ行フ場合ニ於テ若シ其各營業ヨリ生スル收入ヲ區別セサルトキハ一種ノ營業ヨリ生スル失敗ハ自カラ他ノ種類ノ營業ニ迄其影響ヲ及ホシ爲メニ被保險者ヲ害スルノ結果ヲ惹起スルカ故此弊害ヲ豫防セントスルニ在リ而シテ此規定ハ保險營業者ノ破産セル場合ニモ亦之ヲ適用ス可キモノナレハ一ノ保險營業ニ付テ破産スルモ他ノ營業ニハ

其影響ヲ及ホサルモノトス(第六百九十三條)

(第六) 保險營業者カ以上述ヘタル第二乃至第五ノ規定ニ背キ又ハ被保險者總員ノ承諾ヲ得スシテ他ノ營業者ト合併シ又ハ被保險者ニ告知シ置キタル保險營業ノ規則ヲ變更シ又ハ事實上其規則ヲ犯シタルトキハ各被保險者ハ豫告ヲ爲スコト無クシテ何時ニテモ保險契約ヲ解除シ且其拂込ミタル現支拂期間ノ保險料總額ノ償還及ヒ拂込ミタル日ヨリノ法律上ノ利息ヲ求ムル權利アリ(第六百九十四條)茲ニモ亦現支拂期間ナル言辭アレトモ此言辭ハ既ニ屢々説明セル如ク大ニ穩當ヲ缺クモノナリト信ス蓋シロエスレル氏ハ起草セル獨逸文ノ草案ニハ現支拂期間トアラスシテ現保險期間トアリ若シ夫レ斯ノ如クシハ敢テ其當ヲ失セスト雖モ既成法典ノ如ク現支拂期間ト云フトキハ其意味全ク變シ決シテ相當ノ規定ト云フヲ得ス惟フニ是レ翻譯ヲ誤リテ現保險期間ヲ現支拂期間ト爲セルモノナラム然ラハ何カ故ニ現支拂期間ト云フトキハ其當ヲ得サルヤト問フニ大ナル不都合ヲ惹起スレハナリ左ニ例ヲ擧ケテ之ヲ説明センニ今生命保險ノ場合ニ於テ余カ余ノ生命ヲ十ケ年間二千圓ノ保險ニ付シ且保險料ハ毎年二百圓宛ヲ支拂フ可キノ契約ヲ取結ヒタリトセン乎十ケ年間ハ所謂保險期間ニシテ毎年ハ即チ保險料ノ支拂期間ナリ然ルニ保險者カ第六年目ニ至リテ其規則ニ背キタルニ依リ余カ契約ノ解除ヲ申込ミタリトセン乎保險者ハ余ニ對シテ現支拂期間ノ保險料總額即チ第六年目ノ保險料二百圓ト其法律上ノ利息トヲ支拂ヘハ全ク其義務ヲ免カル可シ從テ余ハ保險者カ規則ニ背キタルカ爲メ其契約ヲ解除シタルニモ拘ハラス第一年目ヨリ第五年目ニ至ル迄ノ保險料全部ヲ保險者ニ利得セラル、ノ結果ヲ來タス可シ然レトモ生命保險ナルモノハ一部ハ保險ノ性質ヲ帶ヒ一部ハ積立金ノ性質ヲ帶フルモノナレハ保險者ノ犯則ノ爲メニ被保險者タル余ニ於テ積立金ノ大部分ヲ失フノ結果ヲ來タスカ如キハ決シテ相當ノ規定ト稱ス可カラス之ヲ要スルニ現支拂期間ナル言辭ハ現保險期間ナル意味ニ解釋セサル可カラサルモノトス

(第七) 破産法ノ通則ニ依レハ債務者カ支拂ヲ停止シタル場合ニ非サレハ債權者ハ破産宣告ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス然レトモ保險營業ノ場合ニ於テハ縱令保險者カ支拂ヲ停止セサルモ既ニ將來ノ義務ヲ履行シ得サルコトヲ豫知ス可キ



取引ノ實況ニ至リタルトキハ被保險者ハ破産宣告ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘシ  
是レ普通破産法ト異ナル所ナリ(第六百九十五條)

(第八) 保險營業者ハ其營業地ヲ支配スル裁判所ノ裁判權ニ服從セサル可カラズ  
又若シ本店ノ所在地以外ニ於テ代辦人ヲ以テ保險契約ヲ取結フ者ハ其代辦人  
ニ與ヘタル權限ノ如何ニ拘ハラズ其契約ニ關シテハ代辦人ノ營業地ヲ管轄ス  
ル裁判所ノ裁判權ニ服從ス可ク且其裁判所ニ差出ス可キ裁判上ノ代人ヲ定置  
セサル可カラサル義務アリ若シ之ヲ定置セサルトキハ其代辦人ヲ以テ裁判上  
ノ代人ト看做ス(第六百九十六條)蓋シ此規定タル要スルニ被保險者ヲ保護シ且  
監督ノ便宜ヲ計ルニ在ルモノトス

(第九) 内國ニ在ル外國保險營業者ノ代辦店ハ之ヲ支店ト看做シ支店ニ關スル一  
般ノ規定及ヒ本章ノ規則ヲ適用スルモノトス(第六百九十七條)

(第十) 社員相互ノ保險ヲ目的トシテ設立シタル會社ニ在テハ社員ノ權利及ヒ義  
務殊ニ保險料ノ支拂、追拂、會社負債ノ支拂、會社利益ノ分配及ヒ計算書ノ提出ニ  
關スルモノハ其會社ノ契約若クハ定款ニ從ヒ其不十分ナル場合ニ在テハ保險

法ノ規定ニ從ヒテ之ヲ定ムルモノトス(第六百五十九條)蓋シ此場合ニ在リテハ  
廣ク被保險者ヲ募集シテ保險契約ヲ締結スルニ非スシテ唯社員間ニ於テ保險  
契約ヲ締結スルニ過キス即チ各社員ハ被保險者タルト同時ニ保險者タルモノ  
ナリ例ヘハ毎月十錢宛ヲ納ムルモノハ之ヲ社員ト爲シ死亡ノ際ハ百圓ヲ附與  
ス可シトノ契約ヲ以テ會社ヲ設立スルカ如キ場合往々ニシテ是ナキニ非ス東  
京ニ於テモ曾テ此種ノ保險會社アリテ存セリ惟フニ今日ニ在リテモ尙ホ存在  
スルナラム而シテ此種ノ保險會社ナルモノハ夫ノ一般保險營業トハ大ニ其性  
質ヲ異ニスルカ故ニ其權義關係ハ專ラ之ヲ契約ニ委ネ唯其契約ニ不十分ナル  
點アル場合ニ於テ保險法ニ依リ之ヲ補充スルニ止マルモノトス

## 第二編 各論

### 第一章 海上保險

#### 第一節 保險契約ノ成立

##### 第一款 海上保險ノ目的物

抑モ海上保險ナルモノハ海上一切ノ危險ヲ擔保スルモノナレハ苟モ航海中危險

各論  
海上保險  
保險契約  
ノ成立  
海上保險  
ノ目的物

ニ罹ルノ恐アル財産上ノ利益ハ凡テ海上保險ノ目的物ト爲スコトヲ得ヘシ今其重モノナルモノヲ舉クレハ即チ左ノ如シ

(第一) 船舶 海上保險ノ目的物中最モ重要ニシテ又最モ普通ナルモノヲ船舶ト爲ス而シテ海上保險ノ場合ニ於テ所謂船舶ナルモノハ管ニ船體ヲ指スノミナラス其附屬品即チ帆檣、端舟、武器、海員ニ供給スル食糧其他一切ノ船具ヲ包含スルモノナリ元來海商法上ニ在リテハ運賃モ亦船舶中ニ包含セラレ船舶ノ負擔ス可キ責任ハ其運賃ニモ及フモノナリトノ規則アリ從テ船舶ト運賃トノ二者ハ共ニ與ニ船舶上ノ債權ノ辨濟ニ當ラサル可カラス於是乎保險法ニ在リテモ亦船舶中ニハ運賃ヲモ包含スルモノナルヤ否ヤノ問題ヲ惹起ス而シテロエスレル氏ハ其草案ニ於テ運賃モ亦船舶中ニ包含セラル可シト説明セリ然レトモ何レノ國ノ保險法ニ於テモ運賃ト船舶トハ之ヲ區別セルノミナラス我商法ニ於テモ亦貨物運送賃及ヒ旅客運送賃ハ船舶ト區別シテ之ヲ明掲セリ然ラハ則チ船舶中ニハ運賃ヲ包含セサルモノタルヤ明々白々タリ是故ニ運賃ニ付テモ亦保險契約ヲ締結セント欲セハ必スヤ特ニ運賃ナル標目ヲ掲ケテ其契約ヲ爲

サ、ル可カラサルモノトス

(第二) 運送貨物 保險法ノ歴史ニ徵スルニ海上保險ノ目的物中最モ古キモノハ運送貨物ナリ元來保險法ノ商業社會ニ發達セルノ原因ハ船舶ヲ保險スルカ爲メニ非スシテ實ニ運送貨物ヲ保險スルカ爲メナリシナリ而シテ保險法上所謂運送貨物トハ如何ナル物ヲ指稱スル乎ト云フニ船舶ヲ以テ特ニ運送スル貨物ヲ意味スルニ外ナラス從テ船客ノ携帶品、海員ノ所持品其他此等ノ者ノ衣服、指環、腕環、如キハ保險法上所謂運送貨物ニ非ス故ニ此等ノ物ニ付キ保險契約ヲ取結ハントスルニハ特ニ之カ契約ヲ爲サ、ル可カラス而シテ普通ニ運送貨物ニ付テ保險契約ヲ取結ヒタル場合ニ於テハ損失ノ起リタル當時船舶内ニ存在スル總テノ運送貨物ニ付テ保險契約ヲ取結ハレタルモノト看做ス現ニ佛蘭西學者ノ說ニ依ルモ通常航海中或ル港ニ寄泊シ其貨物ノ一部分ヲ陸揚シ他ノ貨物ヲ積載シタルトキハ保險ハ此等ノ物ヲ併セテ保護ス可キモノトセリ英國ノ判決例ニ依ルモ亦然リ乍去甲板上ニ積載セル貨物ハ危險ヲ冒スコト一層大ナルモノナレハ特別ノ保險契約ヲ取結フニ非サレハ保險者ハ此等ノ貨物ヲ保險

スルノ責任ナシ唯其責任ヲ負擔スルハ特別ノ契約ヲ爲シタルカ又ハ甲板上ニ積載シテ運送スル一般ノ慣習アル場合ニ止マル而已

(第三) 貨物運送賃及ヒ旅客運送賃 我海商法第九百二條ノ規定ニ依レハ貨物運送賃ハ貨物ヲ到達港ニ送致シタル時ニ非サレハ之ヲ請求スルコトヲ得ス故ニ若シ不幸ニシテ運送中其貨物ノ喪失セルトキハ船長ハ運送賃ヲ請求スルノ權利ナシ乃チ知ル運送賃ノ債權ハ貨物ヲ到達港ニ安着セシムルテフ條件ニ繫レルモノナルコトヲ於是乎貨物ノ運送賃ハ保險ニ付シテ之ヲ保護スルノ要アリ是レ我邦ノ法律ニ於テモ又英米ノ法律ニ於テモ將タ又歐洲大陸諸國ノ法律ニ於テモ貨物運送賃ヲ保險ニ付スルコトヲ許容スル所以ナリ乍去特リ佛蘭西法律ニ至リテハ貨物運送賃ヲ保險ニ付スルコトヲ許サス是他ナシ同國保險法ニ於テハ將來取得ス可キ利益ハ之ヲ保險ノ目的物ト爲スコトヲ許サ、ルヲ以テナリ

旅客運送賃モ其性質ニ於テハ別ニ貨物運送賃ト異ナルコトナシ唯一ハ旅客ノ運送賃ニシテ一ハ貨物ノ運送賃ナルト又前者ハ通例前拂ナルモ後者ハ通例後

拂ナルトノ二點ニ於テ差異アル而已

英米ノ保險法ニ於テハ運送賃ナル言詞ヲ極メテ廣汎ナル意味ニ解釋シ管ニ貨物ノ運送賃ノミナラス船舶ノ賃賃料其他船主カ自己ノ貨物ヲ運送シ因テ以テ取得スル利益ヲモ尙ホ且運送賃中ニ包含セシム然レトモ我法律ニ於テハ斯ノ如キ規定ナキカ故ニ之ヲ運送賃ト稱スルコト能ハス

(第四) 貨物賣却ノ利益並ニ仲買人仲立人ノ手数料 貨物ヲ賣却シテ得ヘキ利益並ニ貨物ヲ賣却シテ得ヘキ手数料ハ共ニ海上保險ノ目的物ト爲スコトヲ得ヘシ是レ我商法其他獨逸英吉利亞米利加和蘭瑞西葡萄牙伊太利等ノ商法ノ均シク認識スル所ナリ然ルニ佛蘭西商法ハ前ニ述ヘタルト同一ノ理由ニ依リ此等ノモノハ保險ノ目的物ト爲スコトヲ許サス豈ニ不條理ト謂ハサル可ケンヤ英吉利ノ判事ローレンス氏ハパークレイ對クインズノ事件ニ於テ此點ヲ論シテ餘蘊ナシ其言ニ曰ク抑モ保險ナルモノハ補償ノ契約ナルコト敢テ論ヲ竣タサレハ此精神ハ須臾モ忘却ス可キニ非ス然リト雖モ海上事業ニ於テ直接ニ危險ヲ受ク可キモノハ何ソヤト云フニ管ニ其運送貨物ノミナラス其貨物ノ到達

港ニ達シタル後之ヲ處分シテ當然得ヘキ利得モ亦併セテ之ヲ失フノ恐アリ從テ商人タル者カ海上ニ於テ貨物ヲ喪失セルトキハ當ニ現存ノ貨物ヲ失ヒタルノミナラス其貨物ヨリ當然生スル利得ヲモ併セテ失ヒタルモノナリ換言セハ現實ノ損失ノミナラス其得ヘキ利益ヲモ併セテ失ヒタルモノナリ而シテ保險法カ商業資本ヲ保護スル以上ハ敢テ其資本ヨリ生スル利得ヲ保護セサルノ理由ナシ故ニ將來得ヘキ利益ハ保險ノ目的物ト爲スコトヲ得ヘシ保險者ハ其責ニ任セサル可カラサルナリト

(第五) 冒險貸借債權 商法第九百四十六條ニ曰ク冒險貸借ハ船長カ船籍港外ニ在テ船舶又ハ積荷ノ已ムヲ得サル需用ノ爲メ債權者ニ冒險料ヲ支拂フ約束ニテ航海中冒險抵當物ニ付テノ海上危險ヲ引受ケシムル條件ヲ以テ取結フ貸借契約タリト蓋シ此冒險貸借債權カ普通ノ債權ト異ナル點ハ冒險貸借債權ニ於テハ其抵當ノ目的タル冒險物カ危險ノ爲メニ消滅セルトキハ債權者タルモノ其債權ヲ失墜スルノ點ニ在リ是故ニ冒險貸借債權ハ海上保險ノ目的物ト爲スコトヲ得ヘシ而シテ佛蘭西學者竝ニ佛蘭西商法ニ依レハ元金ハ之ヲ保險ノ目的物ト爲スコトヲ得レトモ利息若クハ冒險料ト稱スルモノハ之ヲ目的物ト爲スコトヲ得ストセリ然レトモ本邦其他ノ諸國ニ於テハ此利息モ亦素ヨリ保險ノ目的物ト爲スコトヲ得ヘキナリ

(第六) 海損債權其他ノ船舶債權 海損債權ニハ共同海損債權ト單獨海損債權トノ二種アリ(商法第九百三十條及ヒ第九百四十條參看)先ツ共同海損ヨリ述ヘンニ共同海損トハ船舶貨物及ヒ運送賃約言セハ冒險物全體ノ安全ヲ保護スル爲ノ其一部分ヲ犠牲ニ供シ故意ニ之ヲ投棄スヨリ生スル損害ヲ云フ蓋シ船長ハ危急存亡ノ場合ニ於テハ貨物ノ一部ハ勿論其全部又ハ船舶ノ一部ヲ自由ニ投棄シテ其全體ノ安全ヲ計ルノ權利義務ヲ有スル所爲ヨリシテ生シタル海損ハ所謂共同海損ト稱スルモノニシテ積荷ノ全額ト船舶及ヒ運送賃ノ半額トカ此損失ヲ負擔セサル可カラサルモノトス然レトモ若シ幸ニ安全ヲ得タル後再ヒ危險ニ遭遇シテ更ニ犠牲ニ供セラレタルトキハ賠償ノ義務ナシトス之ヲ要スルニ安全ヲ得タル冒險物ノ其損失ヲ負擔セサル可カラサルモノトス次ニ單獨海損トハ商法第九百四十條ニ明カナル如ク任意ニ非スシテ生シ又ハ

船舶若クハ積荷ノミニ生シタル損失及ヒ費用ヲ云フモノニシテ此海損ハ各所有者各別ニ之ヲ負擔ス可キモノトス尙ホ之ヲ詳言スレハ縱令冒險物全體ノ安全ヲ保護スルノ結果ヲ來タスモ苟モ故意ニ生セシメタル損害ニ非サレハ之ヲ共同海損ト稱セズシテ尙ホ單獨海損ト稱ス又單ニ船舶若クハ積荷ノミニ生シタル損害ハ素ヨリ單獨海損タリ而シテ單獨海損ニ於テハ損害ヲ受ケタル者各自之ヲ負擔シ他ノ一般ノ冒險者ニ對シテ賠償ヲ請求スルヲ得サルモノトス單獨海損及ヒ共同海損ノ性質夫レ斯ノ如クナルカ此單獨海損債權及ヒ共同海損債權ハ共ニ海上保險ノ目的物ト爲シ得ヘキモノナルコトハ別ニ説明ヲ竣タスシテ明カナル可シ而シテ其他ノ船舶債權ニ至リテモ亦船舶ノ消滅ハ其債權ニ直接ナル利害ノ影響ヲ及ホスモノナルカ故ニ船舶ト同シク海上保險ノ目的物ト爲スコトヲ得ヘシ

(第七) 保險者自身ノ危險 保險者カ保險契約ヲ締結スルトキハ損失ノ生シタル場合ニ於テ被保險者ニ對シ之ヲ賠償セサル可カラサル責任アリ故ニ保險者ハ此責任ニ付テ更ニ保險契約ヲ取結フコトヲ得ヘシ通例之ヲ稱シテ再保險ト云フ蓋シ保險者カ被保險者ニ對シテ負擔セル危險ニ付キ更ニ自カラ被保險者ト爲リテ保險契約ヲ取結フモノナルカ故ニ之ヲ再保險トハ稱スルナリ而シテ此再保險ナルモノハ原保險契約トハ全ク別物ニシテ毫末モ關係ヲ有セサルモノナレハ原被保險者ハ再保險者ニ對シテ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス又再保險者ハ原保險契約ニ對シテ何等ノ責任ヲ有セサルモノトス抑モ保險者ハ自己ノ危險ヲ保險ニ付スルコトヲ得ルモノナルコトハ各國法律ノ一般ニ認ムル所ナリ而シテ佛蘭西法律ヲ除クノ外他國ノ法律ニ於テハ再保險ノ契約ニ因テ原保險金全額ノ賠償ヲ求ムルコトヲ得ヘシ原保險金中ヨリ原保險ノ保險料ヲ控除スルヲ要セストセリ佛蘭西ニ於テモエメリゴン氏ハ右各國法律ト同一ノ意見ヲ有セリ然レトモボチエー、ワートラン、エストラン、ポレー、パチーノ諸氏ハ之ト反對ノ說ヲ主張セリ其理由ニ曰ク原保險契約ノ保險料ハ既ニ受取リタルモノナルカ故ニ海上危險ヲ冒スモノニ非ス苟モ海上危險ヲ冒サ、ル以上ハ之ヲ保護スルノ要ナシト开ハ借擱キ英國ニ於テハ十八世紀ノ中頃保險料ノ相場ヲ目的トシテ賭博ヲ爲スノ風習行ハレタリ於是乎シヨ一シ第

二世第十九年ノ條例ヲ以テ再保險ヲ禁セリ但保險者カ無資力ナルカ又ハ破産セルカ若クハ死亡セル時ハ其再保險ハ有効ナリトセリ然レトモ此條例ハヴクトリヤ第二十七年及ヒ第二十八年ノ條例ヲ以テ之ヲ廢止セリ從テ今日再保險ニ關シテハ何等ノ條例ナキカ故ニ自由ニ再保險ノ契約ヲ締結スルコトヲ得ヘキナリ

以上ハ保險ノ目的物中普通ニシテ且重モナルモノヲ掲ケタルニ過キスシテ此他苟モ海上ノ危險ヲ冒ス所ノモノハ凡テ之ヲ海上保險ノ目的物ト爲スコトヲ得ヘシ然レトモ茲ニ○ノ例外アリ以下此例外ニ付テ述フル所アランニ商法第九百五十三條第三項ニ曰ク船舶乗組員ノ給料及ヒ報酬ノ保險ハ無効トスト蓋シ船舶乗組員トハ船長ヲ始メ水夫其他ノ海員ヲ總稱シ又給料トハ其各自ノ職務ニ對スル報償ヲ云ヒ又報酬トハ當然ノ職務以外ニ別段ノ勞働ヲ爲シ爲メニ得ル所ノ報償ヲ云フ而シテ給料及ヒ報酬ハ共ニ海上保險ノ目的物ト爲スヲ得ス今夫レ何カ故ニ法律ハ船舶乗組員ノ給料及ヒ報酬ヲ保險ニ付スルコトヲ禁シタルヤト云フニ究竟公益上ノ理由ニ基キタルモノニシテ全然海商法第八百八十條ノ規定ト

其精神ヲ均フスルモノナリ同條第一項ハ規定シテ曰ク船舶カ航海ヲ終ラサル前ニ沈没シタルトキハ海員ハ給料ノ請求權ヲ失フト蓋シ此規定ヲ設ケタル所以ノモノハ他ナシ若シ航海ノ終ラサル前ニ沈没スルモ尙ホ其給料ヲ與フルモノトセハ船舶ノ沈没ヲ避クルカ爲メ全力ヲ盡サ、ル可シトノ懸念ニ基キタルモノナリ既ニ法律カ斯ル規定ヲ設ケタル以上ハ海員ノ給料請求權ハ素ヨリ保險ニ付スルコトヲ許ス可キ限ニ在ラス否若シ之ヲ許サン乎前顯第八百八十條第一項ノ規定ハ全ク死文徒法ニ屬スルノ結果ヲ生ス可シ是レ即チ船舶乗組員ノ給料及ヒ報酬ハ保險ニ付スルコトヲ得ストスル所以ナリ乍去茲ニ聊カ權衡ヲ失シテ其趣旨ノ貫徹セサルモノト認メラル、點アルハ吾人ノ太甚遺憾トスル所ナリ开ハ他ナラス商法第九百五十三條第三項ニ於テハ船舶乗組員ト規定シタルカ故ニ船長ノ給料モ尙ホ保險ニ付スルコトヲ得サルノ結果ト爲ル然ルニ商法第八百八十條第一項ノ規定ハ單ニ海員ノ給料請求權ニ關スルニ止マリ船長ニ關スルモノニ非ス然ラハ則チ船長ハ船舶カ沈没スルコトアルモ尙ホ其給料請求權ヲ失フモノニ非サル

ノ結果ト爲ル然リト雖モ第九百五十三條ノ規定ニシテ第八百八十條ノ規定ヨリ湧出シタルモノナリトスレハ兩條ノ範圍ハ相共ニ同一ナラサル可カラス然ルニ斯ノ如ク其範圍ヲ異ニスルハ決シテ正鵠ヲ得タルモノニ非スト信ス英國ニ於テハ猶ホ我商法ニ於ケルカ如ク嘗テ運賃ハ給料ノ母ナリトノ原則アリテ存セリ而シテ運賃ハ貨物ヲ到達港ニ安全ニ運送シテ始メテ之ヲ得ヘキモノニシテ苟モ航海ヲ安全ニ終結スルニ非スノハ之ヲ得ルコト能ハス從テ航海ヲ安全ニ終結セサル場合ニハ海員等ハ其給料ヲ得ヘカラサルノ結果ト爲ル蓋シ此規定ハ今日既ニ廢滅ニ屬セリト雖モ而モ此規定ノ現ニ行ハレタル時代ニ在リテモ尙ホ且船長ノ給料ノミハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得タリシナリ詳言セハ船長ノ給料ハ航海ヲ安全ニ終結スルニ非サレハ之ヲ請求スルコト能ハストノ規定アルニモ拘ハラス尙ホ且保險法ニ於テハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ許セリ然ルニ我邦ノ法律ハ全然之ニ反對シ船長ノ給料ハ航海ヲ完結セサルモ尙ホ之ヲ請求シ得ルニモ拘ハラス之ヲ保險ニ付スルコトハ全ク保險法ノ許サ、ル所ナリ豈ニ怪訝ノ至リニ堪ヘスヤ而シテ今日英國ニ於テ水夫等ノ給料ハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ルヤ否ヤト

云フニ此點ニ付テハ未タ判決例ノ徵ス可キナキモ素ト水夫等ノ給料ヲ保險ニ付スルコトヲ得サリシハ專ラ運賃ハ給料ノ母ナリテフ原則アリテ存セシニ職由スルモノトセハ既ニ此根柢タル原則ノ廢滅ニ歸セル今日ニ在リテハ其結果モ亦共ニ消滅シタルモノト謂ハサル可カラス從テ論理上ヨリ論スレハ水夫等ノ給料ハ今日ニ於テハ保險ノ目的物ト爲スコトヲ得ルモノナリト論定スルヲ至當ナリト信ス

被保險物ノ價格

第二款 被保險物ノ價格

抑モ保險法ノ精神ヨリ論スレハ被保險物ノ價格ハ被保險者ヲシテ損失ニ付キ可成の充分ナル補償ヲ得セシムルノ方法ニ依リテ之ヲ計算ス可キモノナリ換言セハ被保險者ヲシテ恰モ損失ノ起生セサル場合ト同一ノ地位ニ置カシム可キ方法ニ據リテ算定セサル可カラス何トナレハ被保險物ノ價格ハ即チ被保險者カ危險ノ爲メニ醸出スル所ノ損失額ナルヲ以テ結局保險者ノ賠償ス可キ金額ナレハナリ今ヤ試ミニ船舶貨物及ヒ運賃ノ各場合ニ此原則ヲ適用スレハ則チ左ノ如キ結果ヲ生ス可シ

(第一) 船舶 保險法上ニ於テハ船舶ハ現今ト往昔トノ間大ニ其用法ヲ異ニスル所アリ古代ニ在テハ船舶ハ單ニ船主カ自己ノ貨物ヲ運送スルノ用ニ供シタル一機關ニ過キカリシト雖モ之ニ反シテ現今ニ於テハ專ラ他人ノ貨物ヲ運送シテ運賃ヲ取得シ又ハ之ヲ他人ニ貸與シテ其賃錢ヲ收受スル所ノ機關ト爲ルニ至レリ夫レ然リ然ラハ船主カ船舶ニ依リテ收受シ得ヘキ利益ハ果シテ幾何ナルヤト云フニ運賃若シハ貸賃ヨリ航海ノ諸入費ト航海ニ因リ自然ニ生スル所ノ船體磨滅ノ損害トヲ控除シタル殘額ハ即チ船舶所有主ノ收受シ得ヘキ純益ナリトス故ニ被保險者カ船舶ヲ保險ニ附シタル後危險ノ發生ニ因リ損失ヲ受ケタル場合ニ其之カ補償ヲ受ク可キ金額ハ船舶カ幸ニシテ危險ニ遭遇スルコトナク安全ニ到達港ニ投錨シタルトキノ價額ニ止マルモノト云ハサル可カラズ從テ保險法ノ精神ヨリ論スレハ船舶ノ價額ハ到達港ニ於ケル價格ヲ標準トシテ之ヲ算定ス可キモノト云ハサルヲ得サルナリ再言スレハ所謂損失補償ノ目的ヲ貫徹セシメノニハ則チ此方法ニ依リ船舶ノ價額ヲ定ムルノ外之レアラサルナリ

(第二) 運賃 運賃ハ船舶所有主カ船舶到着ノ上純粹ニ受ク可キ金額ニ止マラサル可カラズ語ヲ換テ之ヲ云ヘハ總運賃ヨリ海員ノ給料其他航海ノ諸入費ヲ控除シタル殘額ハ是レ實ニ船主ノ受領シ得ヘキ純粹ノ利益ナリトス從テ船舶カ損失シタル場合ニ於テ爲メニ船主ノ喪ヒタル利益ハ唯タ此純乎タル利益即チ純益ニ外ナラサルカ故ニ運賃ノ價額モ亦右ノ純利ヲ標準トシテ之ヲ算定セサル可カラサルナリ

第三) 運送貨物 運送貨物ノ價額ハ其到達港ニ到着シタルトキノ價格ニ依リテ之ヲ算定ス可ク若シ到達港ニ到着シタルトキノ價額明瞭ナラサル場合ニハ積荷ヲ爲ス當時ノ價額ニ運賃關稅其他積込費用ヲ加ヘタルモノヲ標準トシテ之ヲ算定セサル可カラズ

以上ハ嚴正ニ保險法上ノ原則ヨリ推論シタル計算方法ナリ然ルニ歐米各國ノ慣習ニ於テハ此方法ヲ排斥シ之ヲ採用スルコトナシ我海上保險法ニ於テモ亦然リトス今ヤ此等諸國ノ法律ハ被保險物ノ價額算定ニ關シ如何ナル方法ヲ採取セルヤト釋スルニ前顯原則ノ如ク被保險者ヲシテ毫モ損失ノ起生セザリシ



トキト同一ノ地位ニ置カシムルノ主義ヲ取ラスシテ實際危險ノ起始スルトキ  
ノ原狀ニ回復セシムルノ主義ヲ採レリ換言スレハ被保險利益ノ價額ハ出帆港  
ニ於ケル價額ヲ標準トシテ之ヲ算定ス可キモノト爲セリ故ニ此實際上ノ計算  
方法ト理論上ノ計算方法トヲ比較スレハ船舶并ニ運賃ノ保險ニ付テハ實際上  
ノ計算法ニ據ルヲ以テ被保險者ノ利益トシ運送貨物ノ保險ニ於テハ寧ロ理論  
上ノ計算法ニ從フヲ以テ其利益トス

海上保險ニ在テハ前述セル被保險價額算定ノ總則ヲ利用シ得サルモノニシテ  
特別ノ規定ニ依據ス可キモノナリ以下此法定ノ計算法ヲ説述ス可シ

(一) 運送貨物ノ價額 我海上保險法ハ運送貨物ノ價額ニ付テ毫モ規定スル所  
アルヲ見ス故ニ運送貨物ニ付テハ陸上運送保險ノ規定即チ商法第六百七十五  
條ヲ適用シテ其價額ヲ算定セサル可カラサルナリ同條ニ曰ク價額ヲ保險證券  
ニ記載セサル場合ニ於テ損害ノ價額ヲ評定スルニハ最初ノ代價及ヒ其附帶ノ  
費用ヲ標準トス若シ之ヲ知ル能ハサルトキハ積込ノ地及ヒ時ニ於ケル普通價  
額若クハ市場價額ニ諸稅保險費用積込費用及ヒ被保險者ノ負擔ニ歸スル運送

費用ヲ合算シタルモノヲ標準トスト此條規ニ所謂最初ノ代價トハ原價ノコト  
ニシテ即チ荷主カ當初其貨物ヲ買取リタルトキノ代價ヲ云フ次ニ附帶費用ト  
ハ運送費用手數料保險料并ニ諸稅等ノ謂ナリ又普通價額若クハ市場價額トノ  
差異如何ト云フニ此等二様ノ價額タル別ニ正確ナル區別アルニ非スシテ畢竟  
商品ハ市場價格ニ依リ非商品ハ普通價額ニ據リ評價ヲ爲スノ意ニ外ナラス次  
ニ保險費用トハ當タニ保險契約ヲ締結スル費用ノミヲ指稱スルモノニ非スシ  
テ證券印紙其他結約ニ關スル費用ハ勿論保險仲買人ノ手數料及ヒ保險料ヲモ  
尙ホ包含スルモノナリ又積込費用トハ實際貨物積込ノ爲メニ要スル費用ハ勿  
論積込ノ準備ニ關スル費用即チ例ヘハ荷造費又ハ端艇ノ運賃等ヲモ含蓄セル  
モノト知ル可シ誠テ英國法律ヲ案スルニ同國ノ保險法ニ於テハ運送貨物ノ原  
價ニ積込費用并ニ保險費用ヲ算入シタルモノヲ以テ其價額ト爲セリ所謂原價  
トハ即チ出帆港ニ於ケル價額ノ義ナリトス次ニ獨逸商法第八百三條及ヒ佛蘭  
西商法第三百三十九條ニ依レハ運送貨物カ積込ノ時日並ニ場所ニ於テ有セル  
價格ニ積込及ヒ保險ノ費用ヲ附加シタルモノニ據リテ其貨物ノ價額ヲ定ム可

キモノトセリ之ヲ要スルニ歐米諸國ノ法律ハ貨物ノ積込ヲ爲ス當時ノ價額即チ貨物カ始メテ危險ヲ冒ス時ノ價額ヲ標準トシテ算定ヲ爲サシムルニ在リトス

(二) 船舶ノ價額 船舶ノ價額ヲ評定スルノ方法ハ商法第九百五十四條ノ規定スル所ナリ同條ニ曰ク船舶ノ被保險價額ハ危險ノ始マル時及ヒ地ニ於テ船舶ノ有スル價額トスト此條規ニ由リテ之ヲ觀レハ船舶ノ價額ヲ算定スルニ付テモ亦前顯運送貨物ノ價額計算法ト同シク出帆港ノ價額ニ依ルノ主義ヲ採用シタルコト明カナリ而シテ此價額ノ内ニハ織裝ノ入費、食料、貯蓄品其他航海準備費用並ニ前拂ヲ爲シタル水夫ノ給料等ヲ包含シ兼テ又保險料、保險手數料及ヒ保險結約費用ヲモ之ニ算入ス可キモノナリ英國獨逸並ニ佛蘭西ノ法律モ亦之ト同一ナリトス

(三) 運賃ノ價額 運賃ノ價額ニ付テハ商法中一モ規定スル所ナシ然レトモ此價額モ亦前項ト同一ノ主義ニ依リテ算定ス可キモノナルコト素ヨリ疑ヲ容レズ詳言スレハ總運賃ニ保險料、保險手數料及ヒ保險結約費用ヲ合算シタルモノヲ以テ運賃ノ價額ト爲スニ在リ英國法律ニ於テモ亦之ト同様ノ計算法ヲ採用セリ

獨逸商法第八百四條ニ依レハ當事者ニ於テ總運賃トモ又純運賃トモ明定セサルトキハ總運賃ヲ保險ニ附シタルモノト見做ステフ規定アリ英國法律モ亦同シ

(四) 冒險貸借及ヒ海損債權ノ價額 商法第九百五十六條ニ依レハ此等債權ノ價額ハ冒險抵當物又ハ共擔義務ヲ負フ物ノ價額ヲ限度トシテ之ヲ算定セサル可カラス而シテ此等債權ノ價額カ若シ其冒險抵當物又ハ共擔義務ヲ負ヘル物ノ價額ニ充タサルトキハ則チ其債權額ニ據ル可キモノトス例ヘハ一万圓ノ價額ヲ有スル抵當物ニ付キ一万五千圓ノ債權ヲ保險ニ附シタルトキハ則チ其一万圓ノ價額ヲ限度トシテ被保險利益ノ價額ヲ計算ス可ク又一万五千圓ノ價額アル抵當物ニ對スル一万圓ノ債權ヲ保險ニ附シタリトセハ即チ其一万圓ノ債權額ヲ標準トシテ算定ヲ施ス可キモノナルカ如シ約言スレハ此場合ニ於テハ債權額ト物件ノ價額トヲ比較シ其低廉ナルモノニ據リテ被保險利益ノ價額ヲ

計算ス可キモノナリ

### 海上ノ危

### 第三款 海上ノ危険

海上ノ危険トハ一言以蔽之海面ニ於テ起生ス可キ危険ヲ總稱スルモノナリ但シ  
 總則ニ於テ説述シタル諸般ノ要件ヲ具備セサル可カラサルコト論ヲ俟タス而シ  
 テ海上ノ危険ハ之ヲ二種ニ大別スルコトヲ得ヘシ其第一種ハ海上ニ在ラスンハ  
 決シテ起生セサル所ノ危険ヲ云フ例ヘハ海難、衝突、坐礁又ハ膠沙ノ如キ即チ是レ  
 ナリ次ニ第二種ハ單ニ海面ニ止マラスシテ陸上ニ於テモ尙ホ起生シ得ヘキ危険  
 ナ云フ例ヘハ火災若クハ盜難ノ如キ即チ是レナリ

海上ノ危険ハ甚タ汎博ニシテ到底逐一之ヲ列擧スルノ違アラサルナリ然レトモ  
 其重要ナルモノヲ擧ケレハ即チ商法第九百五十九條第一項ノ指示セルカ如ク暴  
 風雨、破船、坐礁、膠沙、流水、衝突、投荷、火災、破裂、盜難及ヒ劫掠等ナリ故ニ海上ニ於テ起  
 リタル此等ノ危険ニ付テハ特別ノ契約ヲ爲サ、ル限リハ總テ保險者ノ負擔ニ歸  
 ス可キモノト云ハサル可カラズ但シ戰爭其他總テ國ノ處分ニ出ツル所ノ危険殊  
 ニ掠奪、宣戰、報復、封港、鎖港、差押及ヒ此類ノ原因ニ由リテ生シタル損失ニ至テハ毫

モ一般ノ海上危険ニ包含セラル、モノニ非サルヲ以テ苟クモ之ヲ保險者ノ負擔  
 ニ屬セシメンニハ必スヤ特別ノ契約ヲ締結セサル可カラサルナリ

倍又海上危険ハ如何ナル時ニ起始シ如何ナル時ニ終了スルヤノ問題ハ素ト保險  
 者ノ責任ニ重大ノ關係ヲ及ホスモノナリ從テ斯法上此點ヲ明カニスルコト極メ  
 テ必要ノ業ナリトス以下先ツ船舶ニ關スル危険ノ期間ヲ講シ次ニ運送貨物ニ於  
 ケル危険ノ期間ニ及フ可シ

(第一) 船舶ニ關スル危険ノ期間 船舶上ノ危険ハ當事者ノ間特ニ明約アルニ非  
 スンハ保險シタル航海ヲ爲サンカ爲メニ積荷又ハ底荷ノ積入ヲ始メタル時ニ  
 起ルモノニシテ積荷ノ船卸ヲ遂ケタル時又ハ不當ノ遲延ナク當然其遂ケ得タ  
 ル可キ時ニ終ルモノナリ是レ實ニ商法第九百五十五條ノ規定スル所ナリ然ラ  
 ハ所謂積入ノ始マル時トハ如何ナル時ヲ指稱スルモノナルヤト釋スルニ荷物  
 ナ船舶ニ積載セシカ爲メニ其陸地ヲ離レタル時ヲ云フ是ヲ以テ貨物カ未ダ本  
 船ニ到着セサルモ苟クモ其船舶ニ積載スルノ目的ヲ以テ之ヲ端艇ニ積入レ陸  
 地ヲ離ル、トキハ直チニ船舶上ノ危険起始スルモノナリ又所謂船卸ノ終リタ

ル時トハ現ニ陸揚ヲ遂ケタル時ヲ云フ是ヲ以テ既ニ本船ヨリ端艇ニ轉載シタル場合ニ於テモ實際陸揚ヲ終ラサル以上ハ未タ以テ船舶上ノ危険終了シタルモノト謂フコトヲ得サルナリ

以上説述セル所ハ單ニ一般ノ原則タルニ過キス故ニ別段ノ契約アレハ之ニ依據ス可キコト勿論ナリトス加之實際荷受人若クハ被保險者ニ荷物ヲ引渡シタルカ又ハ荷受人若クハ被保險者カ自ラ監督ヲ爲シ荷物ヲ端艇ニ引取ルトキハ縱令未タ陸揚ヲ終了セサル以前ト雖モ尙ホ船舶上ノ危険直チニ消滅ニ歸セサルヲ得ス從テ其貨物ノ引渡又ハ引取アリタル以後ニ於テハ如何ナル損失ヲ生スルコトアルモ保險者ハ決シテ之ヲ補償スルノ責アラサルナリ翻テ佛國商法第三百二十八條ニ依レハ契約證書ニ於テ危険ノ期間ヲ定メサルトキハ出帆ノ時ヨリ到達港ニ到着シタル時迄ヲ其期間ト爲スコトヲ規定セリ故ニ此條規ニ依レハ船舶上ノ危険ハ出帆ノ時ヲ以テ起始シ到達港ニ到着シタル時ヲ以テ終結スルコト、爲ル可ク從テ我商法ノ規定トハ多少ノ差異アリト云ハサル可カス次ニ英國法律ヲ案スルニ同國保險法ニ於テハ特別ノ契約存セサレハ船舶上

ノ危険ハ安全ニ其到達港ニ到着シタル時迄繼續シ該港内ニ於テ無事ニ拔錨シタル時ヲ以テ終了スルモノト爲セリ左レハ此規定タル寧ロ佛國商法ト同様ニシテ我法律ト相異ナレルモノナルコト疑團ヲ容レサルナリ而シテ夫ノ西班牙及ヒ葡萄牙ノ法律モ亦此英國法ト同一ノ原則ヲ採用スト雖モ日耳曼和蘭等ノ法律ハ我商法ト同一ノ規定ヲ爲セリ

(第二) 運送貨物ニ關スル危険ノ期間 我海上保險法ニ於テハ此點ニ付テ何等ノ規定ヲモ設クルコトナシ惟フニ是レ一大缺點ナラン左レトモ法律ニ缺點アリト言ヒ漫然之ヲ看過ス可キニ非ス法律ノ規定アラサル以上ハ須ラフ法理ニ依リテ論定ヲ下サ、ル可カラサルナリ今ヤ我商法中陸上運送保險ノ場合ニ於ケル規定即チ第六百七十二條第二項ニ所謂運送ノ期間ハ別段ノ契約アルニ非サレハ運送人ニ物ノ交付ヲ始ムル時ヨリ受取人ニ其引渡ヲ終フル時マテトストノ法規ハ直チニ之ヲ海上運送保險ノ場合ニ適用スルコトヲ得サル可シ翻テ歐洲大陸ノ法律ニ依レハ一般ニ運送貨物上ノ危険ハ貨物ヲ船舶ニ積載センカ爲メ海岸ヲ離ル、トキハ直チニ起始スルモノトセリ獨逸商法第八百二十八條ノ

如キ即チ此主義ニ基ツクモノニシテ貨物上ノ危険ハ貨物カ船舶ニ積込マル、ノ目的ヲ以テ海岸ヲ離レタル時ニ發生シ其貨物カ到達港ノ海岸ニ到着シタル時ニ終了スルモノナルコトヲ規定シタリ之ニ反シテ英國法律ハ我商法ト同シク敢テ一定ノ法規ヲ設ケス専ラ各場合ニ於ケル契約書ニ依據シテ危険ノ期間ヲ認定スルコト、爲セリ故ニ若シ契約證書ニ於テ積荷ヲ爲シタル時ヨリ危険起始スル旨ヲ約定セルコトアラハ則チ其危険ハ實際貨物ヲ船舶ニ積込ミタル時ヨリ發生スルモノニシテ單ニ積込ノ爲メ貨物ヲ端艇ニ移シタルノミニテハ未ダ危険ニ就キタルモノニ非スト解釋セサル可カラサルナリ最後ニ佛國法律ニ於テハ運送貨物ニ關スル危険ハ船舶出帆ノ時ヨリ發生シ其到達港ニ到着シタル時ヲ以テ終了スルモノトセリ我法律ニ於テハ前段ニ於テ論スル所ノ船舶ノ危険ニ關スル主義ヲ推究シテ以テ運送貨物上ノ危険ノ起始及ヒ終了ノ時期ヲ定ム可キモノトス

第二節 保險契約ノ効果

第一款 損失ノ補償

保險契約ノ効果  
損失ノ補償

海上危険ノ爲メニ被保險者ガ損害ヲ蒙ルリタルトキハ保險者ハ其損害ヲ賠償スルノ義務アリ而シテ此義務タルヤ縱令被保險者カ船長又ハ其他ノ人ニ對シテ賠償ヲ請求スルノ權ヲ有スルトキト雖モ消滅スルコトナシ只ダ保險者カ損害ノ全部ヲ賠償シタルトキハ被保險者カ他人ニ對シテ有スル所ノ權利ヲ其賠償シタル額ヲ限リテ當然取得ス故ニ若シ被保險者ニ於テ自ラ之ヲ請求スルカ又ハ之ヲ拋棄スルトキハ保險者ニ對シテ其責任ヲ免カレス又被保險者ハ危険ノ始マル前何時ニテモ自由ニ保險ニ付シタル航海ヲ止ムルコトヲ得但此場合ニ於テハ被保險者ハ被保險額ノ二百分ノ一ヲ損害賠償トシテ保險者ニ支拂ハサル可カラズ蓋シ海上ノ貿易タル昨ハ是ニシテ今ハ非ナルヲ覺ルコト往々ニシテ之レ有リ此場合ニハ自由ニ其貿易ヲ止メシムルコト甚ダ必要ナルヲ以テ被保險者ニ斯ノ如キ契約解除ノ權ヲ與ヘタルモノナル可シ

如何ナル損失ハ保險人ニ於テ負擔セサル可カラサルヤト云フニ不慮ノ海上危険ニ由リ生シタル損失ハ保險人之ヲ負擔セサル可カラズ然レトモ其詳細ヲ悉知セントスレハ如何ナル損失ヲ保險人カ負擔ス可キヤナ説クヨリハ寧ロ保險人カ負

擔スルヲ要セサル損失ヲ説明スルヲ以テ便宜ト爲ス依テ以下保險人カ負擔セサル損失ニ付キテ述フ可シ

(第一) 水先案内料、引船料、船舶又ハ積荷ニ付キ支拂フ可キ手数料、關稅及其他ノ諸稅 此等ノ費用ハ航海ノ普通ニ生スル費用ニシテ決シテ非常ナル損失ニ非サレハ保險者ノ負擔ス可キ限ニ非サルナリ

(第二) 年數腐朽及蝕蝕ニ由リ生スル損害 此等ノ損害ハ物品ノ性質上必ス免レサル所ノモノニシテ不慮ノ危險ニ因リテ生シタルモノニ非ス例ハ年數ヲ經レハ其物カ減損スルハ數ノ免レサル所ナルカ如シ從テ此等ノ損害ハ保險者ノ負擔ス可キ限ニ非ス又之レト同一ノ理由ニ依リ動物ヲ保險ニ附シタルニ自然ノ原因ニ依リ死亡シタルトキハ縱令其死亡ノ原因ノ一部ハ船中ニ閉置セシメタルニ基因スト雖モ保險者ニ賠償ノ責任ナシ又酒油或ハ陶器ノ如キハ多少ノ漏洩或ハ破損ハ免レサル所ナレハ從テ此等ノ損害モ亦負擔ス可キモノニ非ス歐洲大陸ノ法律ニ於テハ斯ル性質ノ物品ニ付キテハ法律ヲ以テ保險者カ負擔セサル損失ノ割合ヲ定ムト雖モ我商法ニ於テハ此規定ナシ

(第三) 通常ノ使用ニ因リ生シタル損耗 凡ソ物ハ使用ニ因リテ多少ノ損耗ヲ來スハ自然ノ數ナレハ斯ノ如キ損害ハ保險者ノ負擔ス可キ限ニ非サルナリ抑モ普通ノ損失ハ決シテ保險者ノ負擔ス可キモノニ非サルコトハ明カナリト雖モ如何ナル損失ハ普通ノモノニシテ如何ナル損害ハ非常ノモノナルヤノ點ニ付テハ實際上之ヲ區別スルノ極メテ困難ナルコトアラソ夫ノ英國ノ判事ト米國ノ判事トカ殆ント全一ナル事件ニ於テ全ク正反對ノ判決ヲ與ヘタルヲ看ルモ其一斑ヲ知り得ヘシ例ハ船舶ニ附屬スル錨綱カ海中ノ岩礁ニ觸レテ切斷セラレタル場合ノ如キハ果シテ此等ノ損害ハ通常ノ損害ナル乎將タ非常ノ損害ナル乎ヲ區別スルコト頗ル難シ而シテ英米ノ判決例ニ依レハ斯ノ如キ損害ハ若シ通常ノ碇泊場ニ於テ生シタルトキハ之ヲ通常ノ損害トシ若シ通常ニ非サル場所ニ於テ生シタルトキハ非常ノ損害ト爲スモノト一定セリ然レトモ通常ノ碇泊場ニ起ルモ其原因カ非常ノ波濤等ニ在ルトキハ之ヲ非常ノ損害ト看做サ、ル可カラズ

(第四) 船長又ハ海員ノ行爲ニ付キテ船舶所有主ノ負擔ス可キ責任 元來被保險

者ハ自己ノ故意ノ所爲ハ勿論懈怠又ハ過失ノ所爲ト雖モ之ヲ保險ニ附スルコトヲ得ス何トナレハ若シ之ヲ保險ニ附スルコトヲ許ストキハ爲メニ生スル所ノ弊害鮮少ニ非サレハナリ而シテ船舶所有主カ責任ヲ帶フル所ノ船長又ハ海員ノ所爲ハ取りモ直サス船舶所有主ノ行爲タリ是レ斯ノ如キ行爲ヨリ生スル損失ハ保險者ニ於テ負擔ス可キ責任ナキ所以ナリ英國ノ「ロードカンペル氏」(Campbell)曰シ被保險者ハ自己ノ不正ノ所爲ヨリ生シタル損害ノ賠償ヲ要ムルコトヲ得サルハ商業國一般ノ保險法ナリト尙ホ英國ニ於ケル實例ヲ舉クレハ船長ハ水夫ノ一部カ流行病ニ罹リ死亡シタルニ拘ハラズ偽造ノ健全證書ヲ所持シテマルセイユ港ニ入りタル爲メ其船舶ハ燒棄ス可シトノ命令ヲ受ケタリ此場合ニ於テ裁判所ハ保險者ハ船長ノ所爲ヨリ生シタル損害ヲ賠償スルノ責任ナシトノ判決ヲ下シタルナリ然レトモ被保險者又ハ代人ニ判斷ノ錯誤アリテ爲メニ損害ヲ來タシタルトキハ直チニ保險者ニ責任ナシト論スルコトヲ得ス即チ若シ彼等カ相當ノ注意ヲ盡シ且ツ善意ニテ錯誤ノ判斷ヲ爲シタルトキハ保險者ハ責任ヲ免ル、コトヲ得サルナリ

獨逸商法第八百二十五條第四項ニ依ルニ被保險者ノ過失ニ由リ生スル損害及ヒ荷物又ハ將來取得ス可キ利益ヲ保險シタル場合ニ於テハ荷物ノ引渡人、受取人又ハ荷物管理者ノ資格ニテ負擔スル過失ヨリ生スル所ノ損害ハ保險者ノ負擔ス可キモノニ非スト規定シタリ又佛蘭西商法第三百五十二條ニ依ルニ被保險物不良ナルニ由リ損害生シタルトキ又船主又ハ荷主ノ所爲又ハ過失ニ依リ損害ヲ生シタルトキハ保險者之ヲ負擔スルノ責任ナシト規定シタリ之ヲ要スルニ被保險者ノ所爲又ハ被保險者カ責任ヲ有スル所ノ第三者ノ所爲ヨリ生シタル所ノ損害ハ保險者ノ負擔ス可キ限ニ非サルコトハ保險法一般ノ認ムル所ナリトス

(第五) 航海ノ不耐用又ハ機裝若シハ乗組員ノ不充分ヨリ生スル所ノ損害 航海ノ不耐用トハ船體カ航海ニ適セサルヲ云ヒ機裝ノ不充分トハ船舶ノ航海ニ必要ナル食料、石炭其他藥品ノ如キ附屬品ノ欠乏セルコトヲ云ヒ又乗組員ノ不充分トハ船長又ハ海員ノ員數ノ不足ナル乎又ハ員數ハ充分ナルモ不能者ノアリタル場合ヲ云フ斯ノ如キ原因ヨリ生シタル損害ニ付キテハ保險者之ヲ負擔ス

ルノ責任ナキコト商業國一般ノ確認スル所ナリ只其之ヲ負擔セサルノ理由ニ至リテハ歐洲大陸法ト英米法トノ間ニ差異アリ大陸一般ノ法律ニ依レハ船長ハ航海ヲ爲ス前其船舶カ航海ニ耐ユルヤ否ヤヲ檢案シ若シ航海ニ耐ヘサルトキハ修繕ヲ加フル等ノ手續ヲ盡サ、ル可カラス又艤裝スルニ當リテハ相當ノ乗組員ヲ備ヘ且ツ食料品ヲ準備セルヤ等ヲ注意スルノ責任アリ從テ船長カ此等ノ責任ヲ盡サ、ル爲メニ損害ヲ來タシタルトキハ保險者ハ之ヲ負擔スルノ義務ナシト爲セリ然ルニ英米法ハ之レト異ナリ船舶ノ不耐用及ヒ艤裝其他乗組員ノ不十分ヲ一括シテ船舶ノ不適航(Unseaworthy)ト總稱シ而シテ船舶ノ適航(Seaworthy)ナルコトヲ以テ保險契約ノ一條件ト爲シタリ蓋シ商業并ニ人命ヲ保護スルニ最モ必要ナリト爲スニ在リ去レハ若シ船舶カ不適航ナルトキハ此條件ヲ破リタルモノナルヲ以テ保險契約ハ無効ニ歸スルモノトス然レトモ此條件ハ航期保險ノ場合ニノミ存在シ時期保險ノ場合ニハ此條件ヲ必要トスルコトナシ斯ク船舶ノ適航ナルコトハ保險契約ノ一條件ナルヲ以テ苟クモ船舶カ航海ニ適セサルコト明白ナル以上ハ縱令相當ノ注意ヲ盡スモ尙ホ發見スルコトヲ得サル所ノモノニテモ尙ホ保險契約ハ無効ニ歸スルモノトス英米法律ト大陸法及ヒ我商法トノ間ニハ以上ノ如キ相違アリ而シテ此相違タルヤ當ニ理由ノ點ノミナラス其結果トシテ左ノ重大ナル區別ヲ生スルモノナリ

大陸法並ニ我商法ニ依レハ實際船舶ノ不適航ニ由リテ生シタルニ非サル損害ハ保險者之ヲ負擔セサル可カラス只タ不適航ニ由リ生シタル損害ハ之ヲ負擔セスト云フニ在レトモ英米法ニ於テハ船舶カ不適航ナルトキハ保險契約成立セサルモノナレハ如何ナル損害アルモ保險者之ヲ負擔スルノ責任ナシ

二法ノ當否如何ハ立法上ノ問題ナルヲ以テ茲ニ之ヲ討究スルノ必要ナシ

(第六) 線路又ハ航海ノ變更ニ因リ生シタル損失 渺茫タル大洋ノ中ニモ古來ノ經驗並ニ慣習ニ依リ自ラ安全ニシテ且ツ便宜ナル線路アリ斯ク一定セラレタル線路ハ正當ナル線路ニシテ航海ニ從事スル者ハ能ク之ヲ了知スルモノト認メラル可キモノタリ從テ此線路ハ遵守セラルトノ條件ヲ以テ保險者ハ保險契約ヲ締結セルモノト看做スコトヲ得ルナリ去レハ若シ被保險者カ此一定シタル線路ヲ遵守セサルトキニハ一ノ條件ヲ破リタルモノナルヲ以テ保險契約ノ



利益ヲ享クルコトヲ得ス反言セハ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得サルナリ而シテ此條件ヲ破ルニ付キテハ意思ノ善惡如何ハ之ヲ問フノ必要ナシ線路ノ變更トハ經驗及ヒ慣習上一定シタル通常ノ線路ヲ故意ニ并ニ必要ナラサルニ變更スルコトヲ云フ

茲ニ線路ノ變更ト同一ノ性質ヲ帶フル所ノ他ノ條件アリ即チ保險ニ附シタル航海ハ相當期間内ニ成就セシメサル可カラストノ條件是レナリ蓋シ保險者ノ意思ヲ推窮セハ直チニ其然ルコトヲ知り得ヘシ凡ソ航海ハ其時期ニ依リ危険ノ大ナルト小ナルトアリ而シテ危険ノ大小ハ保險契約ニ大影響ヲ及ホスモノニシテ最モ必要且ツ重要ナル事項ノ一ナリトス故ニ若シ航海カ不相當ニ延滞セラレタルトキハ被保險者ハ條件ヲ破リタルモノナルヲ以テ如何ナル損害アルモ保險者ニ責任ヲ負ハシムルコト能ハサルナリ

我商法ニ於テハ特ニ線路變更及ヒ航海ノ遲滞ヲ以テ保險契約ノ條件ヲ破リタルモノト爲スノ規定ナシト雖モ保險法總則第六百五十四條ニ依ルニ契約ヲ取結ヒタル後ニ被保險物ニ付キテ情況ニ變更ヲ生シタル爲メ其危険カ増加シ又

ハ變更セル場合ニ於テハ保險者ハ其契約ニ羈束セラレ、コトナシト規定セリ而シテ線路ヲ變更シ航海ヲ遲延スレハ自ラ危険ニ變更ヲ及ホスヲ以テ保險者ハ之レカ爲メニ責任ヲ免ル、コトヲ得ヘシ

既ニ線路ノ變更又ハ航海ノ遲延ノ事實ニシテ存在セハ其事實ノ發生以後ハ保險者ハ全ク其責任ヲ免ル、モノナルヲ以テ縱令其後ニ於テ如何ナル損害生スルコトアルモ之カ責任ヲ負フコトナシ例ヘハ初メハ線路ヲ正當ニ遵守シ中コト不當ノ線路ヲ取り終リニ一轉シテ正路ニ復シ而シテ損害ハ其正路ニ復シタル後ニ於テ發生スルトモ既ニ一旦線路ヲ變更シタルモノナレハ保險者ハ責任ヲ負フコトナキカ如シ

然レトモ線路ノ變更ニシテ尙ホ正當ノ所爲ト爲スコトアリ換言スレハ線路ヲ變更スルモ保險者ノ責任ヲ釋免セサル場合アリ今其場合チ一言スレハ凡ソ線路ノ變更ニシテ有形上又ハ無形上ノ勢力其他正當ナル原因アリテ必要上止ムヲ得スシテ生シタル場合ニ於テハ其變更ハ正當ノ變更ニシテ保險者ノ責任ヲ釋免スルモノニ非ス今其重ナル場合チ舉ケレハ左ノ如シ

(第一) 必要ナル修繕ノ爲メ止ムヲ得ス線路以外ノ港ニ立寄ルモ又ハ修繕ニ必要ナル時間其港内ニ滞在スルモ正當ノ變更若シハ延滞ナルヲ以テ保險者ハ之レカ爲メニ責任ヲ免ル、コトヲ得ス又船舶ニ積載セタル荷物カ重キニ過キ又ハ輕キニ過クルヲ以テ航海ノ安全ヲ圖ランカ爲メニ線路以外ニ出ツルモ正當ノ變更ナリトス

(第二) 船舶カ最初出帆ノ際ニハ十分ノ海員ヲ乗込マシメタルモ途中ニ於テ疾病等ノ原因ニ由リ海員ニ不足ヲ生シタル爲メ此欠乏ヲ補充スル目的ヲ以テ線路以外ノ港ニ立寄ルモ其變更ハ正當ナリトス然レトモ最初ヨリ船舶カ十分ノ海員ヲ乗込マシメサル場合ニハ乗組員ノ不充分ナル場合ナルヲ以テ保險者ハ爲メニ生シタル損害ヲ賠償スルノ責任ナシ

(第三) 暴風雨ノ爲メニ船舶カ線路以外ニ漂流スルコトアリ之レ亦正當ノ變更ナリ之レト同一ノ理由ニ依リ暴風雨ヲ避クル爲メニ出帆ヲ遅延スルモ保險者ノ責任ヲ釋免スルモノニ非サルナリ然レトモ些少ノ暴風雨ノ爲メニ出帆ヲ見合スカ如キハ止ヲ得サル遅延ニ非サルヲ以テ保險者ノ責任ヲ釋免ス可シ

(第四) 掠奪ヲ避クル爲メニ線路以外ニ出テ又ハ出帆ヲ延期スルモ其變更又ハ遅延ハ正當ナリトス唯タ此場合ニ於テハ掠奪ノ危険ハ現在ニシテ且ツ確實ナラサル可カラス

(第五) 護衛船ヲ探索スル爲メニ線路以外ニ出ツルモ其變更ハ正當ナリトス但其護衛船ヲ必要トスルニ至リタルハ船長ノ怠慢又ハ出帆ノ遅延ニ原因セサルコトヲ要ス夫ノ近港ニ於テ護衛船ヲ得タル可キニ故ラニ遠港ニ赴クカ如キハ素ヨリ不當ナルヲ以テ保險者ノ責任ヲ釋免ス可キハ勿論ナリ

(第六) 我商法ニ於テハ明白ナラサルモ英米法ニ依レハ難船ノ爲メ將ニ失ハントスル人命ヲ救助スル爲メニ線路以外ニ出ツルモ不正當ノ變更ニ非スト爲セリ尤モ英米法ニ於テモ此問題ニ付キ古代ハ一ノ疑案タリシカ人類ノ道義ト經濟上ノ理由トニ依リ人命ヲ救助スル爲メ線路以外ニ出ツルモ正當ナリト確定スルニ至レリ次ニ難船ニ由リ貨物ヲ失ハントスルヲ救助スル爲メ線路以外ニ出ツルハ正當ナリヤ否ヤト云フニ米國ノ判例ニ依レハ正當ノ變更

ニ非ス從ツテ保險者ノ責任ヲ釋免スルモノト爲セリ英國ニ於テハ此點ニ關シ直接ノ判例ナキモ其傾向ハ米國ト同一ナルカ如シ我既成商法ニ於テハ明文ヲ欠クテ以テ少クトモ一ノ疑問タルヤ明カナリ

(第七) 危險目前ニ迫マリ且ツ之ヲ抗拒シ得サルトキ之ヲ避クルカ爲メニ通常ノ線路以外ニ出ツルモ其變更ハ正當ニシテ其危險ハ保險者ノ擔保スルモノナルト否トナ問フコトナシ例ヘハ被保險船ノ水夫カ航海中海賊ノ襲撃ヲ恐レテ船舶ヲ棄テ上陸シタルカ如キ或ハ又或ル港ニ回航セサレハ歸船セスト水夫カ船長ニ頑抗シタルトキノ如キ場合ニハ船長ハ其或ル港ニ回航スルモ正當ノ變更ナルカ如シ

以上叙述シタル所ハ普通ノ最モ重ナル場合ヲ列擧シタルニ過キス決シテ之ヲ以テ制限シタルモノニ非サレハ之ニ依リテ他ノ場合ヲ類推シ得可キコト勿論ナリ

茲ニ一言ス可キハ航海ノ變更テフコト是ナリ航海ノ變更ト云フモ將タ航路ノ變更ト云フモ保險者ノ責任ヲ釋免スルノ結果ニ至テハ差異アルコトナシ抑モ航海ノ變更ト航路ノ變更トハ何ニ依リテ區別スルヤト云フニ航海ノ變更ハ航海其物ノ變更ニシテ航路ノ變更ハ航海其物ヲ變更セス只タ航海ノ道途ヲ變更スルニ過キス例ヘハ東京灣ヨリ箱館マテ航海ス可キニ箱館ニ行クコトヲ止メ長崎ニ赴キタルカ如キハ航海其物ノ變更ナルモ之ニ反シ箱館ニ赴クコトハ止メサルモ只タ普通ノ線路ヲ航行セスシテ中途新潟港ニ寄りタルカ如キハ所謂航路ノ變更ナルカ如シ故ニ二者ノ區別ヲ爲スノ標準ハ一ニ保險者ノ擔保シタル航海ハ全ク拋棄セラレタルヤ否ヤニ存シ全ク之ヲ拋棄シタルトキハ航海ノ變更ニシテ線路ノ變更ト稱ス可キモノニ非ス又全ク航海ヲ拋棄セスシテ只タ線路ノミヲ拋棄シタルトキハ所謂航路ノ變更ナリトス今左ニ英國ニ起レル實例ヲ擧ケテ之ヲ説明ス可シ例ヘハ甲港ヨリ乙港ヲ經テ丙ナル港ニ航海スル船舶ヲ保險ニ附シタルニ甲港ヲ出帆セントスルニ際シ船主ハ船長ニ告ケテ曰ク丙港ハ目下開戦中ニテ甚タ危險ナリトノ風聞アリ依ツテ先ツ乙ナル港ニ立寄り丙港ニ航海スルカ安全ナル乎又ハ丁港ニ航海スルカ安全ナルカヲ探知シ而シテ安全ナル港ニ航行ス可シト於是船長

ハ先ツ乙ナル港ニ立寄り偵察ヲ遂ケタルニ丁港ニ航行スルノ安全ナルヲ聞知シ得タルヲ以テ遂ニ丁港ニ航行シタリ此場合ニ於テハ丁港ニ航行シタルハ航海其物ノ變更ナルヲ以テ良シヤ甲港ト乙港トノ間ニ生シタル損害ト雖モ保險者ハ之ヲ擔保スルノ責任ナシ然レトモ少シク事例ヲ變シ若シ航路ノ變更ノミニ止マルトキハ甲港ト乙港トノ間ニ生シタル損害ハ保險人其責ニ任セサル可カラス何トナレハ甲港ト乙港トノ間ニハ未ダ線路ノ變更ナケレハナリ斯ノ如ク航海ノ變更ト航路ノ變更トハ保險者ノ責任ニ於テ重大ノ區別アルヲ以テ二者ヲ甄別スルハ最モ必要ナリト云フ可シ

第八 船舶カ國際公法ニ依リテ必要トスル書類若クハ萬國ノ條約ニ依リテ規定セラレタル書類ヲ具備セサルトキハ開戦ノ際或ハ其船ハ國籍ヲ證明スルコトヲ得サルノ理由ヲ以テ沒收ノ不幸ニ遭遇スルコトアリ故ニ大洋ヲ航行スル船舶ハ必スヤ國籍ヲ證明スル書類ヲ具備セサル可カラス若シ之ヲ具備セサル爲メニ沒收等ノ不幸ニ陥リ爲メニ損害ヲ蒙フルモ保險者ハ其損害ヲ賠償スルノ責任ナシ

第九 戰爭其他ノ國ノ處分ニ出ツル危險ニ由リテ生シタル損害ハ特約アルニ非サレハ保險人之ヲ負擔スルノ責任ナシ國ノ處分ニ出ツル危險トハ何ソト云フニ掠奪封港鎖港報復又ハ船舶ノ差押ノ如キハ其重ナルモノナリ報復トハ奪取セラレタル物ヲ取戻スナ云ヒ封港トハ相當ノ實力ヲ以テ港口ヲ警護シ船舶ノ出入ヲ禁スルヲ云ヒ鎖港トハ同シク實力ヲ以テ入港ハ許容スルモ出港ハ之ヲ禁退スルヲ云ヒ差押トハ政府ノ命令ヲ以テ差押ユルコトヲ云フ此等ノ危險ハ保險法上ニ所謂非常海上危險ナルヲ以テ此危險ニ付キテハ特別ノ約束ヲ爲サスハ保險人ハ賠償ノ義務アルコトナシ

終リニ臨ミテ一言セン元來旅客運送賃ハ前拂ナルコトヲ以テ通例トスルカ故ニ之ヲ保險ニ付スルノ必要ナキカ如シ然レトモ旅客運業者ハ船舶カ海上危險ニ遭遇スルニ際シテハ或ハ旅客ヲ載セ換ヘ或ハ避難港ニ於テ旅客ニ給料ヲ與ヘ又ハ他船ヲ以テ旅客ヲ運送セサル可カラサルカ故ニ大ニ運送ノ費用ヲ増加スルコトアリ旅客運送賃ノ保險ハ實ニ此等ノ増加ノ賠償ヲ受クルコトヲ目的トスルモノナリ故ニ保險者ハ旅客ノ運送賃ノ保險ヲ爲シタルトキハ此等ノ賠償ヲモ爲スノ

保險料ノ増減

義務アリトス

第二款 保險料ノ増減

保險料ハ契約上ノ航海期間ヲ延長シタルトキハ其割合ニ應シテ之ヲ増加セサル可カラサルコトハ既成商法第九百六十二條ノ規定スル所ナリ抑モ海上保險契約ニハ航期保險時期保險及混同保險ノ三種アルコトハ前既ニ講述セル所ノ如シ然レトモ此三種ノ契約中第一種ノ契約ニ於テハ航期ヲ延長スルハ全シ別個ノ契約ナルヲ以テ保險者カ前ト同一ノ割合ヲ以テ延長ノ保險ヲ承諾スルト將タ承諾セサルトハ其自由ニシテ決シテ前ト同一ノ割合ヲ以テ保險料ヲ増加セハ保險人ニ於テ延長ノ保險ヲ承諾セサル可カラサルノ義務ナシ去レハ前既第九百六十二條ハ之ヲ第一種ノ保險契約ニ適用スルヲ得サルヤ明ナリ次ニ第二種ノ保險契約ニ付テハ如何ト云フニ之レ亦適用スルコトヲ得サルナリ何トナレハ同條ノ法文ニハ航海期間ヲ延長シタルトキハ云々トアリテ單ニ時期ヲ延長シタル場合ヲ規定セサレハナリ然ラハ第九百六十二條ノ規定ハ僅カニ第三種即チ混同保險ニノミ適用シ得ルモノト云ハサルヘカラス然レトモ是レ果シテ正鵠ヲ得タルモノナル

ヤ否ヤ大ニ疑ナキヲ得サルナリ請フ試ニ之ヲ論セン抑モ航海ノ危險ハ時期ニ依リテ其程度ヲ同ウセス春夏ハ一般ニ航海平穩ニシテ秋冬ハ一般ニ危險多シ然ルニ春夏ニ定メタル保險料ト同一ノ割合ヲ以テ秋冬ノ航海ヲモ保險セサル可カラストセハ保險者ハ大ニ迷惑ヲ感セサルヲ得ス然レトモ我既成商法ニ於テハ尙ホ保險人ハ同一ノ割合ヲ以テ之ヲ引受ケサル可カラサルモノト爲セリ之レ豈ニ法規ノ當ヲ得タルモノト云フ可ケンヤ起案者ハ説明シテ云ヘリ元來保險者ハ縱令保險料ヲ増加スルモ自己ノ意思ニ反シテ新ニ危險ヲ負擔ス可キノ義務ナキハ一般ノ原則ナリ然レトモ前航海ノ危險ヲ引受ケタル場合ニ於テハ保險者ハ同一ノ割合ヲ以テ更ニ危險ヲ負擔スルノ義務アリト其意蓋シ契約ノ主旨タル或ル港ヨリ或ル港マテニ達スル航海ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ其時期ヲ定メタルハ單ニ保險料ヲ算定スル爲メニ外ナラス故ニ未タ航海ハ終了ヲ告ケサルニ早クモ當事者カ定メタル時期經過シタルト意ハ其後ノ危險ニ付キテモ尙ホ同一ノ割合ヲ以テ負擔スルノ責任アリト云フニ在リ成程當事者ノ意思ニシテ起案者ノ想像セラルカ如クナラシメハ商法ノ規定其當ヲ得スト云フ可カラス然レトモ普通斯ノ如

キ意思ヲ以テ契約ヲ締結スル者ハ無カル可シ良シヤ被保險者ハ斯ノ如キ意思ナ  
 リトスルモ保險者ハ斯ノ如キ意思コアラサルコト普通ナラシ例ハ三週間ノ期  
 限ヲ定メタルハ或ハ其期限カ夫ノ危険多シト稱セラル、二百十日前ニ經過セル  
 カ爲メナルヤモ知ル可カラズ即チ時期ハ亦契約締結ノ一要項ト云フ可シ當事者  
 ノ意思ニシテ既ニ然リトセハ我商法ノ規定ノ當チ得サル致テ多言ヲ俟タサル可  
 シ

次ニ第九百六十二條ノ末段ニ然レトモ其期間ヲ短縮スル場合ニ於テハ之ヲ減ス  
 ルコトヲ得ストアリ然レトモラエスレル氏ノ言ヘル如ク期間ハ單ニ保險料ノ割  
 合ヲ定ムルノ標準タルニ過キストセハ期間ヲ短縮シタルトキモ同一ノ割合ヲ以  
 テ保險料ヲ減スルハ當然ナリト云ハサル可カラズ然ルニ期間ヲ延長シタルトキ  
 ハ保險料ヲ増シ期間ヲ短縮シタルトキハ之ヲ減スルヲ得スト爲スハ前後ノ規定  
 相矛盾スルニ非スヤ之ヲ要スルニ第九百六十二條ハ一考ヲ費ス可キノ法文ト云  
 フ可シ

委棄

第三章 委棄

委棄ノ性質

第一節 委棄ノ性質

委棄トハ被保險物ノ損害甚大ナル場合即チ全ク損失シタルカ若クハ全損ニ至  
 ラストモ之ヲ修復スルニハ非常ノ費用ヲ要スル場合ニ被保險者カ保險金額ノ全  
 部ヲ受取ルノ條件ヲ以テ被保險物並ニ之ニ附着スル諸般ノ權利ヲ保險者ニ委付  
 スルコトヲ云フ而シテ之ヲ委付スルニハ絶對ノ委付ヲ必要トシ被保險物ノ一部  
 又ハ他ノ條件ヲ附シテ之ヲ委付スルコトヲ得サルナリ抑モ被保險物カ全ク破損  
 シ最早從前ノ名稱ヲ付スルコトヲ得サルニ至リタルトキハ保險者ハ被保險者ニ  
 對シ保險金ノ金額ヲ支拂フ可キハ素ヨリ論ナシ此場合ハ保險法上之ヲ稱シテ實  
 際上ノ全損ト云フ又被保險物ノ損害ハ全部ニ至ラスト雖モ之ヲ原狀ニ回復スル  
 ニハ非常ノ費用ヲ要スル場合ハ之ヲ名ケテ法律上ノ全損ト云フ而シテ實際上ノ  
 全損タルト法律上ノ全損タルトハ問ハス何レノ場合ニ於テモ被保險者ハ被保險  
 物ヲ保險者ニ委付シテ保險金ノ全額ヲ請求スルコトヲ得ルナリ

委棄ノ權ハ素ヨリ被保險者ニ專屬スルモノナルヲ以テ被保險者カ其權利ヲ實行  
 スルト否トハ全ク其自由ニシテ保險者ヨリ其委付ヲ請求スルコトヲ得ス從ツテ

若シ被保險者ニシテ委棄ヲ欲セサルトキハ實際生シタル損害ノミチ保險者ニ要償スルコトヲ得然レトモ一旦委棄ノ通知ヲ爲シ保險者之ヲ承諾シタルトキハ被保險者ハ素ヨリ其委棄ヲ無効ト爲スコトヲ得ス但シ合意ニ依リテ委棄ノ取消ヲ爲シ得ヘキハ勿論ナリ

### 第二節 委棄ヲ爲シ得ヘキ場合

委棄ヲ爲シ得ヘキ場合

被保險者カ被保險物ノ委棄ヲ爲シ全被保險額ヲ請求シ得ルハ被保險物カ實際上若クハ法律上全損ニ歸シタル場合ナルコトハ前ニ一言シタル所ノ如シ尙ホ詳細ニ其場合ヲ列擧スレハ左ノ如シ

(第一) 船舶カ沈没シ破碎シ又ハ踪跡ヲ失ヒ又ハ使用ニ耐ヘサルトキ 沈没トハ船舶カ全ク海底ニ沈没シタルコトヲ云フ蓋シ船舶カ只ダ沈没シタルノミニテ少シモ損害ヲ受ケサルコトアラン然レトモ保險法上ニテハ斯ノ如キ場合ヲモ尙ホ全損ト看做スナリ何トナレハ船舶ニシテ一タヒ沈没スレハ之ヲ引揚ルハ非常ノ日數ト費用トヲ要スルヲ以テ通例ト爲セハナリ  
破碎トハ船舶ヲ組織スル所ノ諸種ノ材料カ挫折シテ最早船舶ナル名稱ヲ附

スコトヲ得サル場合ヲ以テ之レ亦實際上ノ全損ト云フ可シ

踪跡ヲ失フトハ船舶カ其居所ヲ分明ニセス永ク音信ヲ絶タル場合ヲ云フ此場合ニ於テモ保險法ハ全損ト看做スナリ然レトモ船舶カ踪跡ヲ失ヒタリト看做サル、ニハ左ニ掲グル二個ノ條件ヲ具備セサル可カラス

第一、船舶カ到達港ニ達セサルコト

第二、船舶發航ノトキ又ハ其船舶ニ付キ最後ノ通信アリタル時ヨリ沿岸

航海ニ在テハ六ヶ月然ラサル航海ニ在テハ一年ヲ經過シタルコト

右ノ二條件具備シテ始メテ船舶ハ踪跡ヲ失ヒタリト看做サレ被保險者ハ其委棄ヲ爲スコトヲ得ルナリ而シテ船舶カ再ヒ發見セラル、コトアルモ委棄ノ効力ニ少シモ影響ヲ及ホスモノニ非ス佛國法律ニ依レハ失踪ヲ推定スル期限ヲ遠航ト近航トニ區別シ遠航ヲ二ケ年近航ヲ一ケ年ト爲セリ然レトモ之レ今日ノ如ク船舶ノ速力迅快ナラス又通信ノ便利開ケサル時代ニ於ケル規定ナルヲ以テ我法律ハ之ヲ改メテ遠航ハ一ケ年近航ハ六ヶ月ト爲シタルモノナラン

有期保險ニ於テハ果シテ船舶カ期間ニ失踪シタルモノナルヤ否ヲ定ムルコト最モ必要ナリ而シテ保險法ニ於テハ期限滿了シタル後ハ船舶ハ保險期間ニ失踪シタルモノト推定スルモノトス然レトモ此推定タルヤ一應ノ推定ナルヲ以テ保險者ニ於テ反證ヲ舉ケタルトキハ直チニ打破セラル可キハ當然ナリ元來船舶失踪ノ場合ニ於テ果シテ船舶ハ保險期間ニ失踪シタルヤ否ヲ證明スルハ甚々難シ當事者ノ何レニ此責任ヲ負ハシムルモ均シク難事タルヲ免レス去レハ保險法ハ保險者ヲ保護スルヨリハ寧ロ被保險者ヲ保護スルヲ以テ妥當ト爲シ立證ノ責任ヲ保險者ニ負ハシメタリ

便用ニ耐ヘストハ實際修繕スルコトヲ得スシテ航海用ニ供スルコトヲ得サルカ若クハ修繕シ得サルニ非サルモ之ヲ修繕スルニハ非常ノ費用ヲ要スル場合ヲ云フ

右ノ委棄ノ場合ニ於テハ保險ニ附シタル危險即チ保險者カ擔保シタル危險ノ爲メニ船舶カ沈没シ破碎シ若クハ不耐用ト爲リタルコトヲ要ス若シ然ラサレハ委棄ヲ爲スコトヲ得サルナリ又保險ニ附シタル航路ニ就キテ而シテ後ニ失踪シタルコト明カナラサレハ保險法ニ於ケル委棄ノ場合タラス夫ノ全ク異ナリタル航海ヲ爲シ即チ航海ノ變更アリテ而シテ後失踪スルモ委棄ノ場合タルヲ得サルナリ

商法第九百六十八條ニハ積荷ニ關スル規定アリ然レトモ這ハ積荷自身カ使用ニ耐ヘサル場合ヲ規定シタルニ非ス使用ニ耐ヘサル船舶ニ積込ミタル荷物ニ關スル規定ナリ此場合ニハ他ノ船舶ヲ以テ積荷ヲ到達港ニ送達スルコトヲ得サル場合ニ限リ委棄ヲ爲スコトヲ得若シ船長カ他ノ船舶ヲ以テ積荷ヲ送達スルコトヲ得タルトキハ保險者ハ總テノ海損及運送賃ノ増額ト積荷ノ救助積換倉入其他ノ事由ニ因リテ生シタル總テノ費用ヲ負擔セサル可カラス

(第二) 船舶カ坐礁、膠沙ニ罹リ之ヲ引卸シ修繕ヲ加ヘテ到達港マテ航海ヲ繼續セシムルコトヲ得サルトキ及ヒ之ヲ引卸シ修繕ヲ加ヘテ到達港マテ航海ヲ繼續セシムルコトヲ得ルモ保險者カ此レカ爲メニ必要ナル費用ヲ前貸セサルトキ此場合ニ於テ被保險者ハ委棄ヲ申込スコトヲ得ルナリ

(第三) 船舶カ掠奪セラレ又ハ國ノ處分ニ因リテ抑留セラレタルトキ 此場合ニ



於テハ掠奪又ハ抑留ノ事實ヲ保險者ニ通知シ此通知ヨリ六ヶ月以内ニ於テ判決又ハ沒收ノ言渡ナキトキニ限り委棄ヲ申込ムコトヲ得ルナリ蓋シ掠奪又ハ抑留ノ有効ナルヤ否ヤハ掠奪裁判所ノ判決又ハ沒收ノ言渡ニ由リテ定マリ而シテ其判決及沒收ノ言渡アリタルトキハ固ヨリ船舶全損ノ場合ナルヲ以テ被保險者ハ委棄ノ申込ヲ爲スコトヲ得ルナリ然レトモ必スヤ掠奪裁判所ノ言渡ナカル可カラスト爲セハ太甚タ不都合ヲ感スルコトナキニ非サル可シ何トナレハ其言渡アルマテハ委棄ノ効力ハ空シク不確定ノ有様ニ在ラサル可カラサレハナリ於是法律ハ抑留及掠奪ノ事實ヲ通知シタル後六ヶ月ヲ經過セハ縱令掠奪裁判所ノ言渡ナクトモ全損アリタリト看做シ保險者ヲシテ委棄ノ申込ヲ爲スヲ得セシメタリ

佛蘭西商法第三百八十七條ニ依レハ外國ノ處分ニ因リ抑留セラレタルトキハ近海ト遠洋トヲ區別シ六ヶ月ト一ケ年トノ期限ヲ設ケタリ又腐敗滅盡シ易キ性質ノモノニ付テハ尙ホ近海ト遠海トヲ區別シ一ケ月半ト三ヶ月トノ期限ヲ設ケタリ獨逸商法第八百六十五條ニ依ルニ掠奪又ハ抑留セラレタルトキハ場所ニ從ヒテ六ヶ月九ヶ月十二ヶ月ノ期間ヲ設ケタリ

掠奪セラレタル場合ニ於テハ被保險者ハ止ムヲ得サル場合ニ限り豫メ保險者ニ通知ヲ爲サス又ハ保險者ノ委任ナクトモ保險者ニ代ハリテ船舶ヲ受戻スコトヲ得蓋シ急速ヲ要スル場合ニ於テハ到底保險者ニ通知ヲ爲シテ委任ヲ受クル機會ナキノミチラス元來受戻ノコトタル保險者ノ利益トナルヲ通例トスレハナリ然レトモ保險者タル者ハ必スシモ自己ノ計算ニテ之ヲ引受ケサル可カラサルニ非ス之ヲ引受クルモ將タ引受ケサルモ其隨意ナリ若シ之ヲ引受ケタルトキハ其受戻金ヲ償却シ且ツ終極マテノ危険ヲ負擔セサル可カラス若シ之ヲ引受ケサルトキハ無論船舶全損ノ場合ナルヲ以テ全被保險額ヲ支拂ハサル可カラス而シテ其受戻シタル被保險物ハ受戻シタル者即チ被保險者ニ屬スルハ勿論ナリトス

(第四) 喪失又ハ毀損カ價額ノ四分ノ三ヲ超ヘタルトキ 此場合ハ法律上ノ全損ノ場合タリ抑モ喪失又ハ毀損カ價額ノ四分ノ三ヲ超ユルカ如キハ最早被保險者ハ其目的ヲ達スルコトヲ得スシテ其結果タル全損ノ場合ト大ナル差異ナカ

ル可シ之レ法律カ斯ノ如キ場合ヲ全損ノ場合ト看做ス所以ナリ而シテ喪失若シハ毀損ハ或ハ數量ニ關スルコトアリ又ハ物質ニ關スルコトアリ何レノ場合ニ於テモ苟シモ價額ノ四分ノ三ヲ超ヘタルトキハ被保險者ハ委棄ノ申込ヲ爲スコトヲ得而シテ此場合ニ於テ價額ヲ算定スルニハ何レノ地ノ價額ヲ標準ト爲ス可キヤト云フニ船舶ニ付テハ發航ノトキ貨物ニ付テハ積入地ノ價額ニ依ル可キモノトス

以上ノ四場合ハ被保險者カ委棄ノ申込ヲ爲スコトヲ得ル場合ナリ然レトモ委棄ヲ爲スニ付キテ被保險者ハ法定ノ期間ヲ遵守セサル可カラス若シ此期間ヲ空過シタルトキハ被保險者ハ委棄ノ申込ヲ爲スノ權ヲ失フモノトス然ラハ其法定ノ期間ハ如何ト云フニ被保險者ハ委棄ノ申込ヲ爲スコトヲ得ヘキ事實ヲ知リタル後三日内ニ其委棄ノ理由トナル事實ヲ被保險者ニ通知シ且ツ六ヶ月内ニ其委棄ノ申込ヲ爲サ、ル可カラス若シ此期間ヲ怠リタルトキハ被保險者ハ保險契約ヨリ生スル通常ノ請求權ヲ主張シ得ルニ止マリ委棄ノ結果ヲ主張スルコトヲ得サルナリ

委棄ノ効果

第三節 委棄ノ効果

委棄ニ二種アリ即チ合意上ノ委棄及法律上ノ委棄是レナリ合意上ノ委棄ハ凡テ合意ニ依リテ定マリ凡テ合意ニ關スル法律ヲ以テ之ヲ支配セサル可カラス從ツテ此場合ニ於テハ條件ヲ附シテモ尙ホ委棄ヲ爲スコトヲ得ヘシ法律上ノ委棄ハ既ニ述ヘタル如ク法律カ限定シタル場合ニシテ被保險者カ承諾スルト否トハ毫モ委棄ノ効力ニ關係アルコトナシ又法律上ノ委棄ニ於テハ條件ヲ附シテ委棄ノ申込ヲ爲スコトヲ得ス又委棄ノ効力ハ一タヒ發生シタルトキハ後日ニ至リ船舶カ救助セラレ又ハ歸航スルトモ變更スルコトナシ然ラハ委棄ノ直接ノ効力ハ如何ト云フニ既ニ述ヘタル如ク委棄ハ被保險物讓渡ノ方法ナリ被保險物ハ委棄ニ由リテ被保險者ニ移轉シ而シテ被保險者ハ全被保險額ヲ受取ルノ權ヲ取得ス即チ斯ノ點ニ於テハ賣買ニ均シキモノト云フ可シ而シテ被保險物ハ何レノ日ノ現狀ニ於テ被保險者ニ移轉スルモノナルヤト云フニ委棄ノ申込又ハ承諾ヲ爲シタルトキニ非スシテ危險ノ發生シタルトキノ現狀ニ於テ移轉スルモノトス換言スレハ危險發生ノ當時ニ於ケル被保險物及之レニ附着スル權利義務ハ其遭難ノマ、保險

者ニ移轉スルモノトス而シテ夫ノ運送賃ノ如キハ積荷ヲ到達港ニ引渡シタルト  
 キニ非サレハ之ヲ請求スルコトヲ得サルモノナルヲ以テ保險者ハ運送賃ニ付キ  
 テモ尙ホ權利ヲ取得スルモノトス  
 我商法第九百七十二條ニヨルニ委棄シタル物ニ付テノ被保險者ノ權利ハ其委棄  
 ノ承諾又ハ有効ナリトノ判決ニ依リテ保險者ニ移ルトアリ然レトモ法律上ノ委  
 棄ハ承諾ヲ必要トスルモノニ非ス從ツテ承諾ナシトモ委棄ノ効力生ス可シ既ニ  
 生スル以上ハ被保險物ハ保險者ニ移轉ス可キハ當然ナリ又判決ナルモノハ只ダ  
 委棄カ有効ナルヤ否ニ付キテ爭アルトキニ之ヲ判定スルノ方法タルニ過キス從  
 ツテ有効ナル判決ニ依リテ始メテ保險者ニ移ルトノ規定ハ其當ヲ得タルモノニ  
 非スト信ス

保險者ハ別段ノ契約アルニ非サレハ委棄ノ申込ヲ受ケタル後三ヶ月内ニ被保險  
 額ヲ拂渡スコトヲ要ス然レトモ委棄ノ辯明ニ供スル證書ノ交付ヲ受ケス且總テ  
 委棄シタル物ニ係ル他ノ保險冒險貸借登記ヲ經タル債權其他ノ債權ノ通知ヲ受  
 ケサル以前ニ拂渡ヲ爲スノ義務ナシ

若シ被保險者カ詐偽ノ委棄ノ申込ヲ爲シタルトキハ其制裁トシテ保險上ノ權利  
 ナ失フノミナラス其委棄物ニ關スル債權ハ自ラ之ヲ支拂フノ義務アリトス

## 火災保險

### 總說

## 第二章 火災保險

### 第一節 總說

火災保險トハ當事者ノ一方カ一定ノ報償ヲ得テ他ノ一方カ火災ニ關リテ蒙ムリ  
 タル財産上ノ損害ヲ賠償スルコトヲ約束スル所ノ契約ヲ云フ

歐洲ニ於ケル火災保險ノ沿革ヲ案スルニ古代ニ於テハ不幸ニモ火災保險ハ冷遇  
 セラレタリ蓋シ之ヲ許ストキハ財産所有者ノ不注意ヲ惹起シ援ヒテ財産ノ増殖  
 并ニ一般ノ公益ヲ阻害スルヲ恐レタルモノ、如シ佛ノ法家ボナエー氏ハ保險論  
 ト題スル一書ヲ著ハシテ曰ク一千七百五十四年マテパリ市ハ未ダ火災保險ヲ  
 輸入セス全然之ヲ以テ無効ナリトシ同年ニ至リ始メテ海上保險會社カ火災ニ付  
 キテ保險ヲ爲スノ許可ヲ得タリト且ツ氏ハ此著ヲ世ニ公ケニスルトキ佛國ニ於  
 テ火災保險ノ契約ヲ取結フモノ極メテ僅少ナルコトヲ明言セリ然レトモ英國ニ  
 於テハ佛國ト異ナリ遙カニ其以前ニ於テ火災保險行ハレタルカ如シミストルマ

イシアル氏ノ保險論ヲ閱スルニ英國ニ於テハ一千八百二年ノ遙カ以前既ニ火災保險大ニ行ハレ而シテ當時ノ法律ハ火災保險ヲ獎勵セス寧ロ之ヲ制限スルノ精神ヲ以テ重稅ヲ賦課シタルニモ拘ハラズ尙ホ一般ニ行ハル、ニ至リタルコトヲ述ヘタリ翻ツテ今日歐米人ノ趨向ヲ看ルニ若シ火災保險ノ契約ヲ以テ自己ノ財產ヲ保護セサル者アルトキハ非常ニ不注意ナル人又ハ財產ノ保護ニ非常ニ冷淡ナル人トシテ一般ニ認メラル、モノ、如シ因是看之一時法律ハ過酷ノ重稅ヲ賦課シテ火災保險ノ盛大ナラサルコトヲ期シ又一般ノ人情ニ依ルニ火災保險ヲ獎勵スルトキハ全世界ハ火災ノ爲メニ財產ヲ全滅スルニ至ルヲ恐レタルニ拘ハラズ今日ニ於テハ火災保險ハ財產保護上最モ有益ナル機關ノ一トシテ若シ之ヲ欠クトキハ市町村ノ健全ナル發達及商業ノ發達ハ到底望ム可カラサルモノトシテ認メラル、ニ至リタリ古今思想ノ變遷豈ニ奇ナラスヤ實ニ歐米ノ今日ニ於テハ若シ火災保險ノ保護ナクンハ大製造場ヲ設立シ大器械ヲ使用スルモ爲メニ資金ヲ投スル者ナキノ有様ニシテ火災保險ハ特リ商工業ニ有益ナルノミナラス實ニ欠ク可カラサルモノトシテ一般ニ確認セラレ從ツテ法律ハ勿論裁判所モ亦之ヲ

好遇シ之ヲ獎勵スルニ至レルハ復タ文化ノ進歩ト云フ可シ  
抑モ不動産ハ個々ニ保險ニ附ス可キモノナルモ動産ニ至リテハ或ハ個々ニ或ハ包括シテ保險ニ附スルコトヲ得ヘシ然ラハ包括シタル動産トハ何ツト云フニ例ヘハ商店ノ商品、家屋内ニ在ル家具、財、牧場ノ群畜、書籍館ノ書籍又ハ美術館ノ美術品ノ如キ是レナリ而シテ斯ノ如キ包括動産ニ在リテハ保險契約ノ締結後其包括中ノ部分ヲ増加シ又ハ減少シ又ハ他物ヲ以テ之ニ代フルモ所謂包括部分ニ變更ヲ來タスニ止マリ包括財產其物ニ影響ナキモノト看做スヲ以テ從ツテ保險契約ニ何等ノ影響ヲ及ホスコトナシ  
又家屋内ニ備フル動産一切ヲ包括物トシテ之ヲ保險ニ附スルコトヲ得而シテ其一ヲ賣却シ又ハ他物ヲ買入レタルトキハ包括物ノ部分ニ變更アルモ被保險物ニ變更ナシ從ツテ保險契約ニハ何等ノ影響ヲ及ホスコトナシ只タ貨幣寶玉有價證券其他債權證書及著述ノ草案ノ如ク特別ニ貴重ノモノニシテ普通價額ヲ以テ論スルコトヲ得サル物ハ特別ノ契約ヲ取結フニ非サレハ所謂包括物中ニ包含セラレサルモノナリトス

包括物保險ノ場合ニ於テハ其目的物ハ終始増減シテ底止セサルモノアリ例ヘハ商店ニアル商品ノ如シ朝ニ賣却シテ夕ニ仕入ル、ナ以テ時ニ増加シテ二三倍ト爲ルコトアル可シ又時ニ減少シテ半部又ハ四半分ニ至ルコトアル可シ斯ノ如キ場合ニ於テハ保險者ハ幾何ノ賠償ヲ爲ス可キヤト云フニ其實際ニ生シタル損害ヲ程度トシテ賠償ス可キモノニシテ而カモ如何ナル場合ニ於テモ約束シタル保險額ヲ超過シテ賠償スルノ責ナキモノトス例ヘハ商品カ半部ニ減シタルトキ危険生シ損害ヲ生シタルトキハ其半部ノ蒙ムリタル損害ヲ賠償ス可シ若シ又二三倍ニ増加シタルトキハ危険生シ損害ヲ生シタルトキハ被保險者カ實際ニ蒙ムリタル損害ヲ賠償ス可シ然レトモ其約束シタル被保險額ヲ超過スルコトナキカ如シ

被保險者カ包括物ノ一部分ヲ他ニ賣却シタルトキハ買主ハ之レト共ニ其部分ニ關スル保險契約ノ權利ヲ併セテ取得シタルモノナルヲ以テ苟クモ被保險者ノ商店ニ存留スル以上ハ保險ノ利益ヲ主張スルコトヲ得ルモノトス

被保險利益

第二節 被保險利益

火災保險モ固ヨリ補償契約ノ一タリ故ニ被保險者ハ必ラス目的物上ニ利害ノ關係ヲ有セサル可カラズ換言スレハ被保險者ハ目的物上ニ損害ヲ生シタルトキハ金錢上ノ損失ヲ蒙ムル者ナラサル可ラス然リ而シテ被保險利益ハ之ヲ嚴格ニ解釋スルヤト耐ヌルニ古代ニ於テハ明瞭ナル現實ノ利益ニ非サレハ之ヲ被保險利益ト云ハス夫ノ將來取得ス可キ希望アル利益ノ如キハ被保險利益中ニ包含セシメサリシカ近世ニ至リテハ大ニ被保險利益ヲ寬大ニ解釋シ被保險物ト保險者トノ間ニ將來利益ヲ取得ス可キ相當ノ希望若シハ將來損失ヲ來タス可キ相當ノ理由存スルトキハ被保險利益ハ存在スルモノト爲セリ但シ他人ノ財産ヲ買取リタラシニハ莫大ナル利益ヲ得ヘシト云フカ如キ全然空想上ノ希望ニ屬スルモノハ被保險利益ト稱スルコトヲ得サルハ勿論ナリ而シテ被保險利益ハ契約ヲ取結ヒタルトキト損失ノ發生シタルトキトニ於テ存在セサル可カラズ我商法ニ依レハ保險契約ハ特別ノ事情存セサル限りハ被保險利益ト共ニ讓受人ニ移轉スト規定セルヲ以テ或ハ被保險利益ハ保險契約締結ノ當時ニ存在スレハ十分ナルカ如シト雖モ然レトモ我法律ハ被保險利益ヲ讓受ケタル者ハ讓渡人ノ承繼人ナリト認

ムルモノナリ既ニ讓受人ニシテ承繼人タル以上ハ結約ノ時ニ於テモ又損失ノ時ニ於テモ共ニ被保險利益ヲ有スルヲ以テ右ノ原則ニ牴觸シタル規定ヲ設ケタルニ非サルヤ明カナリ又財産ヲ包括シテ保險ニ附スル場合ニ於テハ保險ノ存續間其包括中ノ分子ヲ増減スルコトヲ得ヘシ然レトモ此増減タル前ニ述ヘタル如ク分子ノ増減ニ在リテ被保險物其物ノ變更ニ非ス從ツテ之カ爲メニ被保險者ハ保險結約ノトキト損失發生ノトキトニ於テ目的物ヲ有セサル可カラストノ原則ニ影響ヲ及ホスモノニ非サルナリ

然ラハ更ラニ一步ヲ進メテ何人カ被保險者タルコトヲ得ルヤト云フニ固ヨリ被保險利益ヲ有スル者ハ被保險者タルコトヲ得ルナリ換言スレハ被保險物ノ保存ノ爲メニ金錢上ノ利益ヲ取得ス可キ相當ノ希望ヲ有スル者ハ被保險者タルコトヲ得ルナリ例ヘハ質取主又ハ抵當取主ハ質物又ハ抵當物ニ對シ物權ヲ有ス從ツテ其目的物カ安全ニ保存セラルトキハ債權ノ辨償ヲ受クルノ利益アリ又質置主ハ自ラ其所有權ヲ有スルヲ以テ其物ノ保存ニ於テ金錢上ノ利益ヲ有スルハ勿論ナリ故ニ質取主及ヒ質置主共ニ被保險者タルコトヲ得又質借人用益者ノ如キ

モ或ハ使用シ或ハ收益スル權ヲ有スルヲ以テ財産上ノ利益ヲ有スルヤ論ヲ俟タス故ニ此等ノ者ハ其有スル利益ニ限リテ保險ニ附スルコトヲ得又運送人仲買人受託者又ハ宿主其他苟シモ他人ノ爲メニ財産ヲ監守シ又ハ保存スル責任ヲ有スル者又ハ其物ノ保存ニ由リ利益ヲ受ク可キ者ハ凡テ被保險者タルコトヲ得又質借人用益者若クハ受託者其他ノ資格ヲ以テ財産ヲ占有スル者又ハ保管スル者ハ自己ノ爲メニモ又ハ所有者ノ利益ノ爲メニモ保險契約ヲ取結フコトヲ得又自己及所有者ノ利益ノ爲メニモ保險ニ附スルコトヲ得今夫レ補償ノ精神ヨリ嚴格ニ論スルトキハ單ニ他人ノ爲メニ物ヲ保管スル者ノ如キハ天災其他不可抗力ノ爲メニ損失ヲ生スルモ何等ノ責任ヲ蒙ルモノニ非ス若シ全部損失シタルトキハ保管者ハ返還ノ義務ヲ免ル可シ而シテ自己ハ單ニ他人ノ爲メニ保管ヲ爲スノミナルヲ以テ其物ノ消滅ノ爲メニ自己カ損害ヲ蒙ルコトナシ從ツテ斯ノ如キ場合ニ於テハ保管者ハ自己ノ爲メニモ又ハ所有者ノ爲メニモ保險契約ヲ取結フコトヲ得スト云ハサル可カラサルモ法律ハ斯ノ如ク嚴格ニ補償ヲ解セス只タ賭博契約ヲ豫防スルヲ限度トシテ補償ノ主義ヲ適用スルヲ以テ斯ノ如キ保管者モ尙

ホ保險ノ利益ヲ有スルモノト爲セリ  
 現有者又ハ其他ノ者カ所有者ノ爲メニ保險契約ヲ取結ヒタルトキハ代人トシテ  
 之ヲ取結ヒタルニ過キサルヲ以テ其保險契約ノ利害ハ凡テ之ヲ所有者ニ歸セサ  
 ル可カラス而シテ若シ所有者カ之ヲ承諾スルコトヲ拒ミタルトキハ保險ハ無効  
 ニ歸セサル可カラス然レトモ之ニ反シテ自己ノ利益ノ爲メニ保險契約ヲ取結ヒ  
 タルトキハ自己カ有スル利益ヲ限度トシテ保險契約ノ利益ヲ受クルコトヲ得換  
 言スレハ自己ノ損害ニ充ツル部分ト所有者ニ對スル責任ニ充ツル部分トヲ限度  
 トシテ保險契約ノ利益ヲ主張スルコトヲ得而シテ自己ノ利益ノ爲メニ保險ニ附  
 シタルカ又ハ所有者ノ利益ノ爲メニ保險ニ附シタルヤニ付キ疑アルトキハ先ツ  
 自己ノ利益ノ爲メニ保險ニ附シタルモノト看做サ、ル可カラス何トナレハ依頼  
 ヲ受ケサル人ノ爲メニ之ヲ爲シタルト見ルヨリハ寧ロ自己ノ爲メニ之ヲ爲シタ  
 リト見ルコト正當ナレハナリ而シテ自己ノ利益ノ爲メニ保險ニ附シタル場合ニ  
 於テハ第一ニ被保險者自己ノ損害ニ充テ次ニ所有者ニ對スル自己ノ責任ニ充ツ  
 ル爲メニ保險シタルモノト看做ス可キモノトス從ツテ其所有者ニ對スル責任ニ

充テタル部分ニ付キテハ被保險者ノ債權者ハ凡テ請求權ヲ有セス即チ所有者ハ  
 其部分ニ付キテ優先權ヲ有スルモノトス

危險

第二節 危險

元來保險ナルモノハ一定ノ危險ニ付キテノミ効力ヲ有スルモノナルヲ以テ當事  
 者カ豫想セル場所ニ起リタル危險ニ非サレハ保險ノ効ナシトス蓋シ場所ニシテ  
 變更スルトキハ其危險モ亦從ツテ變更スルモノニシテ夫ノ海上保險ニ於テ航路  
 濫出ノ爲メニ生シタル損害ハ保險者ノ負擔ス可キモノニ非スト云フモ亦全ク此  
 理由ニ外ナラサルナリ然レトモ動産ナルモノハ性質上輾轉スルモノニシテ特ニ  
 或ル物ニ至リテハ地ヲ換ユルニ非サレハ使用ノ途ナキモノアリ例ハ貸本ノ如  
 シ他ニ持チ行クニ非サレハ殆ント使用ノ途ナシ又之ヲ保存スルニ付キテハ一時  
 之ヲ保險シタル場所以外ニ移スコトヲ必要トスル場合アリ今若シ保險契約ハ目  
 的物ノ場所ノ變更ニ由リ消滅シテ解除セラル、モノトセハ動産保險ノ効能ハ未  
 タ以テ多トスルニ足ラサルナリ是ヲ以テ法律ハ一時保險契約ノ場所ヲ移轉スル  
 モ爲メニ契約ハ解除セラル、モノニ非スト規定セリ然レトモ保險外ノ場所ニ於

テ危険發生シ爲メニ損害ヲ生シタルトキハ保險者ハ之ヲ賠償スルノ義務アルコトナシ之ヲ要スルニ保險ノ場所以外ニ在ルトキハ保險ノ効力ハ一時停止シ又原地ニ回復シタルトキハ保險ノ効力モ亦回復スルモノトス然レトモ永久ニ場所ヲ變更シタルトキハ固ヨリ契約ヲ解除スル効アルモノニシテ縱令後ニ至リ契約ノ場所ニ復歸スルモ効力ヲ回復スルモノニ非サルナリ

建物ハ或階級ノ人カ或目的ノ用ニ供スヘキコトヲ陳示シテ保險ニ付スルトキニ非ルモ右ノ使用方法ハ將來ニ於テモ必ラス繼續スヘキコトヲ擔保シタルニアラス故ニ其使用方法ヲ變更スルモ固ヨリ保險ヲ無効タラシムルモノニアラス又貸家ヲ保險ニ付シタルニ其當時ノ借屋人ハ最モ火災ニ注意ヲ用ユル人ナリシモ後ノ借屋人ハ頗ル疎忽者ニシテ深ク火災ニ注意ヲ用ユサル人ト爲スモ未ダ以テ保險者ハ其責任ヲ免カル、ヲ得ス何トナレハ被保險者ハ借屋人ノ性行ニ付キ擔保ノ責ヲ負フタルニ非ルノミナラス借屋人ノ變更スルカ如キハ普通ノコトニシテ特別ナル事情ノ變更ニ非ルヲ以テナリ然レトモ此等ノ場合ニ於テ著ク危険ヲ増加シタルコトノ明カナルトキハ保險人ハ其責任ヲ免カル可キナリ危険ニ變更ヲ

來シタルヤ否ヤヲ見ルニハ當事者カ契約當時豫期シタル所ノモノヲ考按スルヲ要ス

雷電ノ危険、火藥若クハ機關ノ破裂ノ危険、火藥若クハ機關ニ原因スル破裂ノ危険、震災其他之ニ類似スル危険ハ同時ニ火災ノ起ルト否トヲ問ハス法律ハ之ヲ火災ノ危険ト同一視スルヲ以テ火災保險ヲ取結ヒ別ニ反對ノ契約ヲ爲サ、ルトキハ當然此等ノ危険ヲモ保險ニ付シタルモノト見做スヘキナリ又單ニ雷電震災等ノ危険ニ付テノミ保險ヲ取結ヒタルトキハ火災保險ニ關スル規定ニ依リ權利關係ヲ定ムヘキモノトス

損失ノ賠償

第四節 損失ノ賠償

商法第六百六十一條第一項ノ規定ニ依ルニ不動産ヲ保險ニ附シタルトキハ法律命令其他ノ成規又ハ契約ニ依リテ被保險者ニ毀滅シ若クハ破損シタル物ノ再築若クハ修繕ヲ爲ス義務アルトキハ保險者ハ被保險者若クハ其權利承繼人ニ對シ此義務ヲ履行ス可キ期間ヲ定メシコトヲ裁判所ニ申立テ又其再築若クハ修繕ノ實地ヲ監視シ及ヒ其工事ノ捗ル割合ニ應シテ被保險額ヲ支拂フコトヲ得ルモノ



トス例ハ期間ヲ定メテ家屋ヲ貸與シタル者ハ其家屋カ破損シタルトキハ修繕シテ之ヲ貸與スルノ義務アリ又ハ特別ノ法律若クハ成規ニ依リテ防火線ニ當ル家屋ハ再築セサル可カラスト定ムルコトアリ斯ノ如キ場合ニ於テハ保險者ハ被保險者ニ對シテ此義務ヲ履行スヘキ期間ヲ定メソコトヲ裁判所ニ申立テ而シテ其工事ヲ監守シ其工事ノ進捗ニ應シテ保險金ヲ支拂フコトヲ得又保險者ハ被保險者ニ再築又ハ修繕ノ義務ナキト雖モ契約ニ依リテ被保險額ノ割合ニ應シテ自費ヲ以テ再築若クハ修繕ヲ爲スコトヲ得又第三者ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得是レ第六百六十一條第二項ノ規定スル所ナリ然レトモ之レ只タ特約ニ依リ斯ノ如キコトヲ爲シ得ルニ止マリ而シテ契約ナルモノハ苟クモ不法ニ非サル以上ハ有効ナルコト勿論ナルヲ以テ斯ル規定ヲ設クルハ畢竟蛇足タルニ過キサル可シ

自然ニ燃燒シ又ハ爆發スルノ危險アル物ヲ保險ニ附シタルトキハ若シ被保險者ニシテ契約上若クハ相當ノ豫防方法ヲ盡サ、ル爲メ損害ヲ來タシタルトキハ保險者ハ之ヲ賠償スルノ義務ナシ蓋シ斯ノ如キ物ハ所謂危險物ト稱スルモノニシテ相當ノ豫防處分ヲ施スニ非サレハ自ラ火氣ヲ發シテ燒失スルノ固有性ヲ帶ヘリ而シテ固有ノ性質ヨリ出シタル損害ハ保險者ニ於テ負擔ス可キモノニ非サルハ一般ノ通則ナリ故ニ保險者ハ斯ノ如キ賠償ヲ爲スノ義務アルナシ(第六百六十四條)

火災カ被保險物所在ノ場所ニ起リタルトキト其近傍ニ起リタルトキトヲ問ハス消防若クハ救濟處分ノ爲メニ生シタル損害及ヒ費用ハ保險者ノ負擔ニ歸ス可キモノトス又火災起リタルカ爲メニ竊盜ノ窺フ所トナリ竊取セラレ又ハ其他類似ノ事由ニ因リテ被保險者ニ生シタル損害モ亦我商法ハ火災ノ損害ト看做スヲ以テ保險者ニ於テ之ヲ賠償セサル可カラス然レトモ此等ノ規定ヲ適用スルニ當リテハ其消防若クハ救濟ハ果シテ相當ナルヤ否ヲ審査セサル可カラス若シ相當處分ニ非サレハ保險者ニ於テ之ヲ賠償ス可キノ義務ナシ例ヘハ十數町モ隔リタル遠方ニ火災起リ別ニ疾風ノ火勢ヲ助クルナキニ拘ハラス大早計ニモ家財ヲ運搬シ爲メニ多少ノ損害ヲ蒙フルモ保險者ニ對シテ賠償ヲ請求スルノ權ナキカ如シ又竊盜ノ災難ニ付キテモ須ラシク被保險者ニ過失ノ責ム可キモノアル乎否ヲ審査

セサル可カラス特ニ被保險者ニ過失アリタルカ爲メニ竊取セラレタルカ如キ場  
 合ニ於テハ保險者ハ固ヨリ之ヲ賠償ス可キノ義務ナシ之ヲ要スルニ保險者ハ第  
 一火災ノ爲メニ直接ニ生シタル損害第二火災ノ損害ヲ防止スル爲メニ生シタル  
 損害第三火災ヨリ間接ニ生シタル損害即チ竊盜其他類似ノ事由ニ因リ生シタル  
 損害ハ凡テ之ヲ賠償セサル可カラサルノ義務アリ是レ商法第六百六十五條ノ規  
 定スル所ナリ火災カ被保險者ノ方ニ起リタルトハ被保險物ノ所在ニ起リタルト  
 ノ意義ニ解セサル可カラサルナリ

我商法ニ於テハ震災ノ危険ハ之ヲ火災ノ危険ト同一視スルヲ以テ特別ノ契約ナ  
 キトキハ保險者ハ震災ノ危険ヨリ生シタル損害ノ賠償ヲモ負擔セサル可カラス

土地ノ產物ノ保險

第二章 土地ノ產物ノ保險

法律ニ所謂土地ノ產物ハ特リ穀類烟草野菜又ハ果實ノ如キ土地ノ收穫物ノミニ  
 止マラス人蠶又ハ天蠶ノ如キ天產物ヲモ包含スルモノトス故ニ寧ロ之ヲ農產物  
 ト稱スル方其實ヲ得ルニ近キカ如シ而シテ之レカ保險ハ強雨洪水旱魃暴風雨ノ  
 如キ人ノ力ト注意トヲ以テ防ク能ハサル非常ノ天災ニ對シテノミニ之ヲ爲スコト

ヲ得ルモノトス蓋シ農產物ノ豊凶ハ土地ノ肥瘠培養ノ厚薄農夫ノ勤惰通常ノ風  
 雨如何ニ因ルヘキハ勿論ナリ然レトモ此等ノ事タル固ヨリ保險法ノ原則上保護  
 ス可キ限リノモノニ非ス若シ之レカ保險ヲ許ストキハ農夫ノ怠慢ヲ來タシ天產  
 力ヲ減少シ援ヒテ公益ヲ阻害スルノ結果ヲ醸ス可シ去レハ法律ハ通常人力ト注  
 意トヲ以テ豫防スルコト能ハサル非常ノ天災ノミニ對シテ之ヲ保險ニ附スルコ  
 トヲ許シタリ而シテ此ノ土地ノ產物ノ保險ニ付キテハ保險ニ附シタル危険ハ洪  
 水ナルカ旱魃ナルカ又ハ強雨ナルカヲ約定シテ之ヲ保險證書ニ逐一明記ス可キ  
 コトヲ必要ト爲シタリ是故ニ漠然農產物ヲ保險ニ附スルコトヲ約束スルモ其危  
 險ニ付キ合意ヲ欠キタルモ未ダ完全ニ保險契約成立シタリト云フ可カラス必  
 ス其保險ニ附シタル危険ハ何ニナルカヲ約定セサル可カラス  
 農產物ノ保險ハ永クトモ一ケ年ニ限リ効力ヲ有ス但シ更ニ短キ期間ヲ約束スル  
 ハ當事者ノ自由ナリトス故ニ若シ一ケ年以上ノ契約ヲ結フトキハ法律上一ケ年ノ  
 効力ヲ有スルニ止マル可シ抑モ法律カ農產物ノ保險ヲ一ケ年ニ限リタルハ何故  
 ナルカ蓋シ通常農產物ハ一ケ年ヲ以テ收穫ヲ見ルカ爲メナル可シ然レトモ農產

物ニシテ尙ホ一ケ年ニシテ收穫ヲ見ル能ハサル物稀ニ之レ無キニ非ラズ例ハ人參ノ如キハ通例四ケ年ニ非サレハ成熟スルコト無キカ如シ從ツテ人參ノ如キ農産物ハ毎年之ヲ保險ニ附スルノ勞ヲ執ラサル可ラス惟フニ法律カ一ケ年ニ限リタルハ或ハ短キニ失スルナキカ

次ニ賠償ニ付キテ述フ可シ保險者ハ被保險物カ非常ノ天災ノ爲メニ損害ヲ受ケタルトキハ其成熟シタル現狀ニ於テ有シタル可キ價額ト天災後ニ有スル價額トノ差額ヲ賠償スルノ義務アリ例ハ災害ナク收穫シタルトキハ百圓ヲ得タル可キニ天災ノ爲メニ僅カニ五十圓ヲ得ルニ止マルトキハ其差額五十圓ヲ支拂フ可キカ如シ又若シ當事者カ豫メ被保險額ヲ定メタルトキハ其割合ニ應シテ之ヲ賠償セサル可カラス例ハ半部ノ收穫ヲ得サルトキハ保險者ハ豫メ定メタル保險額ノ半ヲ賠償ス可キカ如シ然レトモ被保險額カ成熟シタル現狀ニ於テ有ス可キ價額ヲ超過シタルトキハ此規定ヲ適用セス之ヲ適用スルハ超過セサル場合ニ限ルモノトス(第六百六十九條)

保險者ハ損害ノ額カ農産物ノ有ス可キ價額ノ少クトモ四分ノ一ニ滿タサルトキ

ハ其責ニ任セサルモノトス蓋シ四分ノ一以下ノ損害ハ果シテ非常ノ天災ノ爲メニ生シタルモノナルカ又ハ通常ノ災害ノ爲メニ生シタルモノナルカ換言スレハ被保險者ノ怠慢ニ因ルカ又ハ其培養宜シカラサルニ由ルカ將テ非常ノ天災ニ因ルカ容易ニ判別シ雖キヲ以テ法律ハ寧ロ之ヲ以テ通常ノ損害ト爲シ保險者ヲシテ之ヲ負擔セシメサルモノトス

運送ノ保險

第四章 運送ノ保險

我商法ニ所謂運送保險トハ陸上又ハ國內ノ水上ノ運送中ニ在ル物ヲ保險スルコトヲ云フモノトス諸國ノ法律ヲ看ルニ多クハ運送保險ニ付キテ特別ノ規定ヲ設ケス海上保險ノ原則ヲ適用スルモノトセリ然レトモ和蘭瑞西ノ法律ニ於テハ特別ニ規定ヲ設ケタリ蓋シ我法典ハ此等ノ法律ニ模倣セルモノナル可シ

元來運送人ハ運送品ヲ引受ケタルトキヨリ其運送品ノ喪失又ハ毀損及ヒ引渡ノ延滞ニ付キテ其責ニ當ラサル可カラズ從ツテ運送人ハ荷主ニ對シテ幾分カ保險ノ責任ヲ負擔シタルモノトシテ看ルニ得ン然レトモ運送人ノ責任ハ百般ノ損害ニ渡ルモノニ非ス特ニ不可抗力ニ因リ生シタル損害ニ付キテハ何等ノ責任

ナ有スルコトナシ去レハ荷主ハ固ヨリ保險契約ヲ取結フノ必要アリト云フ可シ  
 又翻ツテ運送人ヲ見ルニ運送人ハ差出人ノ過失運送品ノ性質又ハ不可抗力ニヨ  
 リ生シタル損害ノ以外ニ在リテハ運送品ヲ引受ケタルトキヨリ其喪失毀損及引  
 渡ノ延滞ニ付キテ責任ヲ有スルモノナリ去レハ運送人モ亦運送物ニ付キ利害ノ  
 關係アリ從ツテ被保險利益ヲ有スルモト云フ可シ即チ運送人ハ被保險人トナ  
 リテ契約ヲ取結フコトヲ得其他荷受人仲買人等ノ如キ荷シモ運送物ノ到着ニ付  
 キ利害ノ關係ヲ有スル者ハ其利益ノ全額ニ限リテ保險契約ヲ取結フコトヲ得可  
 シ

運送ノ期間中ニ於テ運送品ヲ他ニ讓渡シタルトキ即チ其所有權ヲ他人ニ移付シ  
 タルトキハ保險モ亦當然新取得者ニ移轉ス但シ第六百四十條ノ規定ヲ遵守セサ  
 ル可カラサルハ勿論ナリ

運送保險ハ火災保險或ハ土地ノ產物ノ保險トハ異ナリ震災火災若クハ洪水暴風  
 雨ノ如キ一定ノ危険ヲ目的トスルモノニ非ス全ク海上保險ト同シ凡テ運送中  
 ニ生スル百般ノ危険ヲ目的トスルモノトス從ツテ天災ハ勿論盜賊火災敵ノ威力

又ハ國ノ處分ノ何レタルヲ問ハス荷シモ其運送中ニ生スル不慮ノ危険ニ付キテ  
 ハ保險者タル者之ヲ擔保スルノ責任アリ但當事者カ特約ヲ以テ特ニ取除キタル  
 危険ハ此ノ限ニ在ラサルコト勿論ナリ

又此ノ危険ハ運送ノ全キ期間ニ渉ルモノトス從ツテ荷シモ運送ノ期間中ニ生シ  
 タル損害ハ保險人之ヲ賠償セサル可カラス而シテ運送期間ハ何時ニ始マリ何時  
 ニ終ルカト云フニ今之ヲ概言スレハ運送ノ始マリタル時ニ始マリ運送ノ終ルト  
 キニ終ルモノトス然ラハ運送ハ何時ニ始マルモノナルカト云フニ運送人カ自ラ  
 又ハ代人ヲ以テ差出人ヨリ物品ヲ受取リタルトキニ始マルモノニシテ到達地ニ  
 向ヒテ發送シタルトキニ始マルニ非ス又運送ノ終ルモ之レト同シク到達地ニ送  
 達シタルトキニ終ルニ非ス荷受人ニ引渡スカ又ハ荷受人ノ處分ニ附シタルトキ  
 ニ終ルモノトス例ハ鐵道運送ヲ以テ業トスル者ニ荷物ヲ托シ其荷物未ダ停車  
 場ニ在リテ發送セサル間ニ危険ニ罹ルモ保險者ハ其損害ヲ負擔セサル可カラス  
 又一時其運送ヲ中止シテ其物ヲ倉庫中ニ入レ置キタル際ニ危険生スルモ亦然リ  
 然レトモ已チ得サルニ非スシテ永ク運送ヲ延滞シ爲メニ特ニ危険ヲ増加シタル